

SONY

ビデオ Hi8

# Handycam

はじめに  
4ページ

撮影の前に  
11ページ

基本編  
22ページ

応用編  
36ページ

ご注意など  
70ページ

ビデオカメラレコーダー Hi8

## CCD-TR2

### 取扱説明書



video Hi8

©1993 by Sony Corporation

# 目次

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前に、この取扱説明書をお読みください。

お読みになったあとは、後日お役に立つこともありますので、必ず保存してください。

## 本書で使われているマークについて

- :とにかく早く撮影したい場合は、このマークのついた項目をお読みください。
- :海外へ旅行するときにお読みください。
- :正しく安全にお使いいただくためのご注意です。
- :知っていると便利な操作や解説です。
- :ミニ目次です。

撮影の前	必ずお読みください..... 4	
	主な特長..... 5	付属品..... 4
	各部のなまえ..... 6	
		本体..... 6
		チケットリモコン..... 9
	撮影の準備..... 11	
	準備1 バッテリーパック NP-500を用意する..... 12	充電のしかたと、充電時間、使用可能時間..... 12
		ACパワーアダプターに取り付けて充電する..... 14
		バッテリーパックを本体に入れる..... 15
		本体に入れて充電する..... 16
	バッテリーパックNP-500の上手な使いかた..... 17	
準備2 カセットを入れる..... 18		
準備3 ファインダーを調節する..... 19		
うまく撮る姿勢..... 20		
撮影する..... 22		
	ズームング..... 24	
	手振れの少ない画面にする..... 25	
	撮影日時をテープに記録する..... 26	
	ピントを固定する - フォーカス固定..... 27	
	撮影内容を確認する..... 28	
	撮影が終わったら..... 30	
テレビで見る..... 31		
	ハンディカムステーションHSA-V500に 取り付ける..... 31	
	映像/音声入力端子付きテレビやビデオにつなぐ..... 32	
	映像/音声入力端子のないテレビにつなぐ..... 33	
	テレビで見る..... 34	

## 基本編

バッテリーパックNP-500以外で使う..... 36	
	コンセントにつないで使う..... 36
	自動車の電源で使う..... 37
	NP-500以外のバッテリーパックで使う..... 38
自動調節と手動調節..... 39	
手動ピント合わせ..... 40	
画像の明るさを調節する..... 42	
目的に合わせて撮る—プログラムAE..... 44	
フェードイン・フェードアウトする..... 46	
ある部分だけ撮り直す..... 47	
デジタルピクチャー(おもしろ画面)について..... 48	
横長の画面にする—ワイドモード..... 50	
場面転換を工夫する—シーンチェンジ..... 52	
20倍ズームする—20×ズーム..... 55	
画像におもしろ効果を加える—エフェクト..... 56	
メニューによる各種設定..... 58	
	海外の現地時間に合わせる..... 60
	世界時差表..... 62
他のビデオへ録画する..... 64	
ビデオやテレビの画像を録画する..... 66	
見たい場面に戻す—ゼロメモリー機能..... 68	
記録済みテープに新しく画像を挿入する..... 69	
使えるビデオカセットテープ..... 70	記録するとき
と記録・再生方式について..... 71	再生するとき
リチウム電池を交換する..... 72	
日付・時刻を合わせ直す..... 74	
結露について/お手入れについて..... 76/77	
気をつけてください/海外で使うとき..... 79/80	
仕な仕様/保証書とアフターサービス..... 81/82	
故障?と思ったら/用語解説..... 83/85	
ファインダーと表示窓の表示..... 86	
	警告表示..... 86
	撮影・再生などのときの表示..... 87
索引..... 裏表紙	

## 応用編

## ご注意など

# 必ずお読みください

# 主な特長

## 別売りのアクセサリキットについて

本機をお使いになるには、別売りのアクセサリキットが必要です。お持ちでないときは、お買い求めください。詳しい内容については、アクセサリキットの取扱説明書をご覧ください。

## ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

## 録画内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラレコーダーやテープなどの不具合により録画や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

## 著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

## 本書内の写真について

ファインダー内の映像を説明するのにカラー写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。

ハンディカムCCD-TR2は、コンパクトサイズのHi8（ハイエイト）方式8ミリビデオカメラレコーダーです。ポディーは、手にピタッとフィットする使いやすさ重視のデザイン。加えて、簡単操作で撮影と再生がこなせる便利さ。ハンディカムで「撮って見る」感動をお楽しみください。

## 優れた特性

- 高画質  
Hi8（ハイエイト）方式（70ページ）
- 臨場感あふれる収録が可能  
Hi-Fiステレオ AFM Hi-Fi ステレオ

## 優れた操作性

- 実際の色で確認しながら撮れる  
カラービューファインダー
- 初めてのかたでも簡単に撮影できる  
オートロックスイッチ（39ページ）
- レンズ手前から無限大まで自動ですばやくピントが合う  
リアマツハオートフォーカス
- 撮影チャンスを逃がさない  
マツハスタート
- 電源スイッチと連動で開閉される  
本体収納型レンズカバー
- ハンディカムステーションにワンタッチ接続し、簡単に再生できる  
ハンディカムステーション対応
- 離れた所から基本的な操作ができる  
チケットリモコン付属（9ページ）
- バッテリーを本体内に入れたまま充電可能な  
本体充電機能（16ページ）

## 優れた機能

- 高速でズームができる  
マツハズーム（24ページ）
- 迫力ある映像が撮れる  
20倍デジタルズーム（55ページ）
- 手振れの少ない安定した撮影ができる  
手振れ補正機能（25ページ）
- デジタル処理で遊び感覚の画像が楽しめる  
デジタルピクチャー（おもしろ画面）機能（48ページ）
- バッテリーとテープの残量がひと目でわかる  
バッテリー/テープ残量表示（86ページ）
- 目的に応じて最適な撮影ができる  
プログラムAE（44ページ）
- お好みの明るさで撮影ができる  
明るさ調節機能（42ページ）
- 世界中どこへ行っても簡単に現地時間に合わせられる  
世界時計機能（サマータイム対応）（60ページ）
- 画面の切り換えなどにソフトな演出効果が得られる  
モザイクフェーダー/ホワイトフェーダー機能（46ページ）
- Hi8（ハイエイト）方式高画質を活かす  
S映像入出力端子（32ページ）
- 再生時 見たい場面を簡単に探せる  
ピクチャーサーチ、高速アクセス（35ページ）
- ビューファインダーに出ている文字情報を画面に映せる  
画面表示機能（35ページ）
- 編集時の画質劣化を低減できる  
エディット機能（64ページ）
- 撮りたい被写体からピントをはずさない  
フォーカス固定機能（27ページ）
- 撮影している人の声ハッキリ録音できる  
ナレーション機能（23ページ）

## 付属品

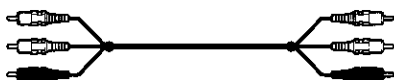
本機をお使いになる前にお確かめください。詳しい説明は、( )のページにあります。

### リチウム電池 CR2025

(本体、リモコンに装着済) (2個)  
(72ページ)



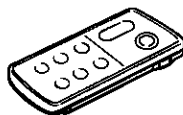
AV接続ケーブル(ピンプラグ×3・ピンプラグ×3)  
(1本) (32ページ)



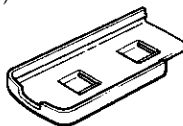
S映像ケーブル(4ピンS端子・4ピンS端子) (1本)  
(32ページ)



チケットリモコン(1個)  
(9ページ)



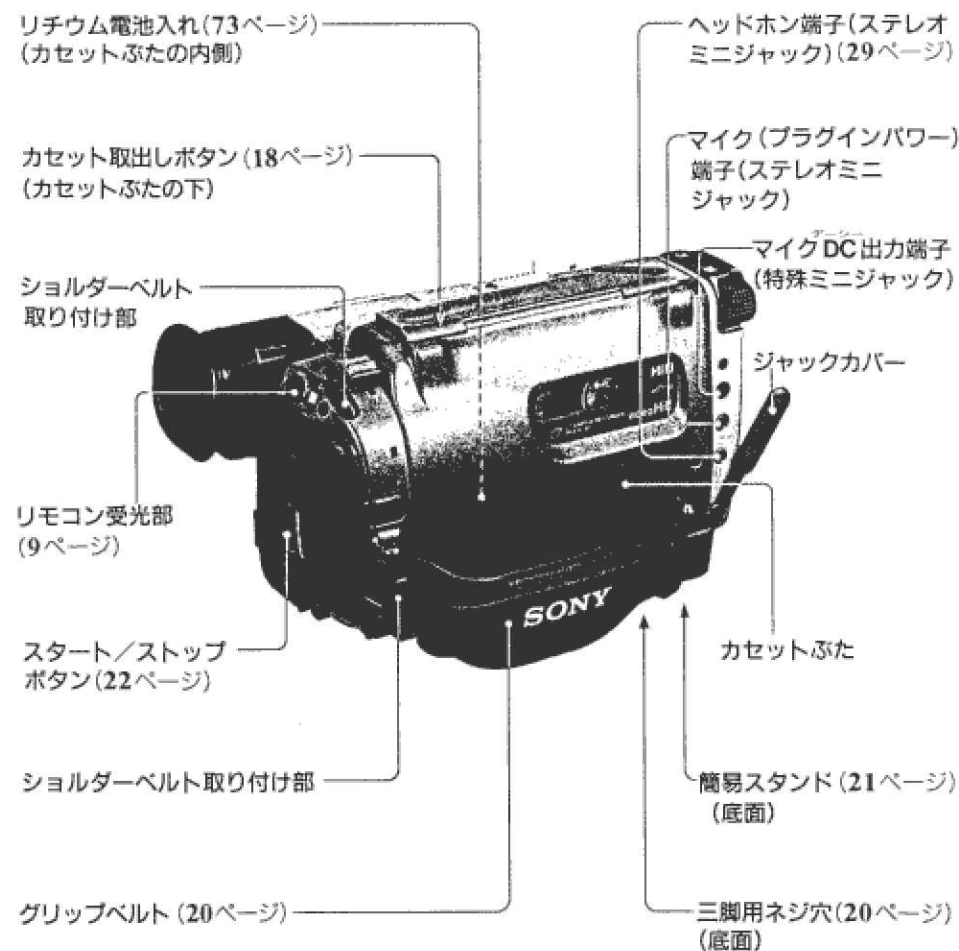
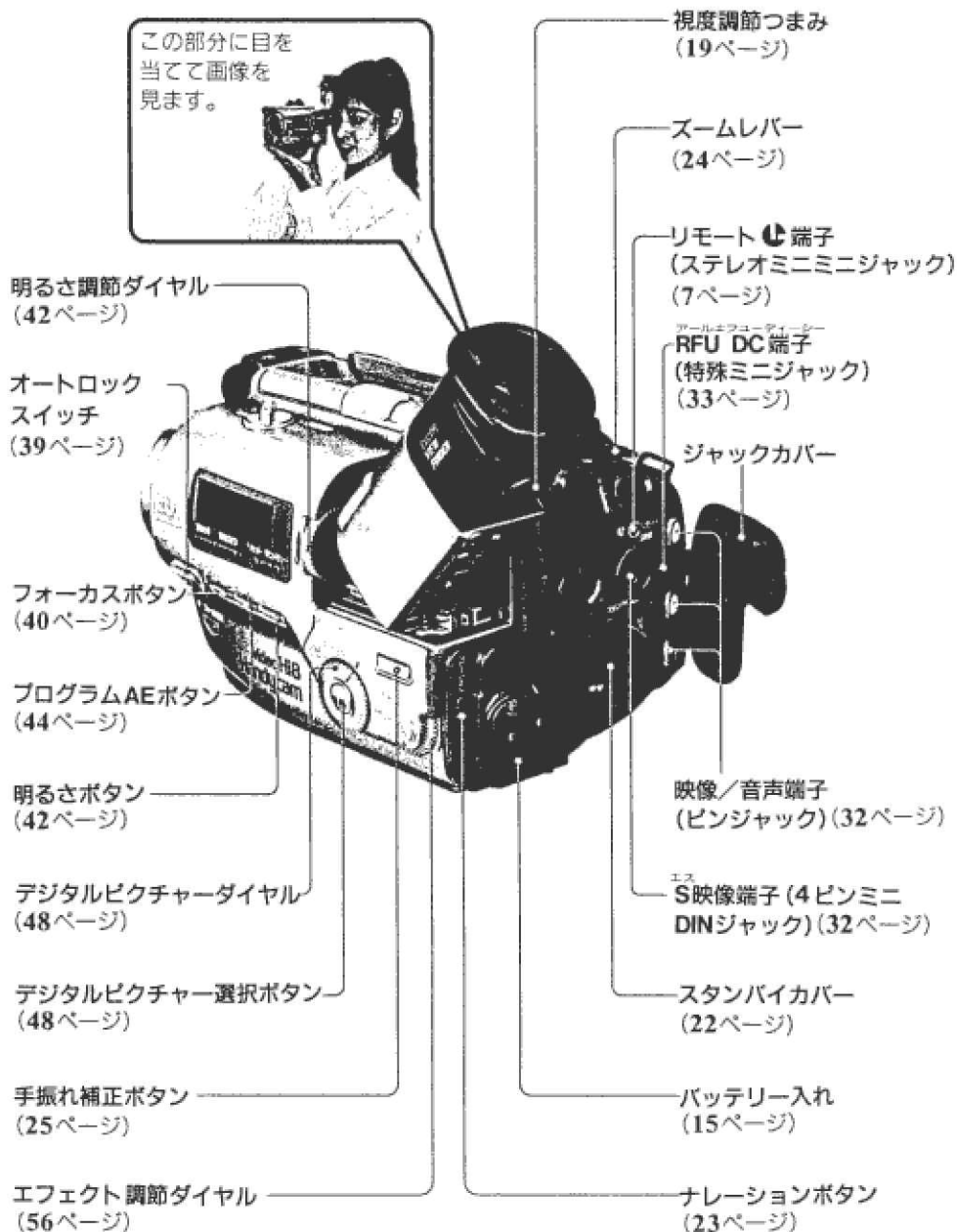
リモコンホルダー(1個)  
(10ページ)



保証書(1部)  
サービス窓口・ご相談窓口のご案内(1部)  
取扱説明書(1部)  
ハンディマニュアル(1部)  
使用上のご注意(1部)

# 各部のなまえ

使いかたの説明は、( )内のページにあります。



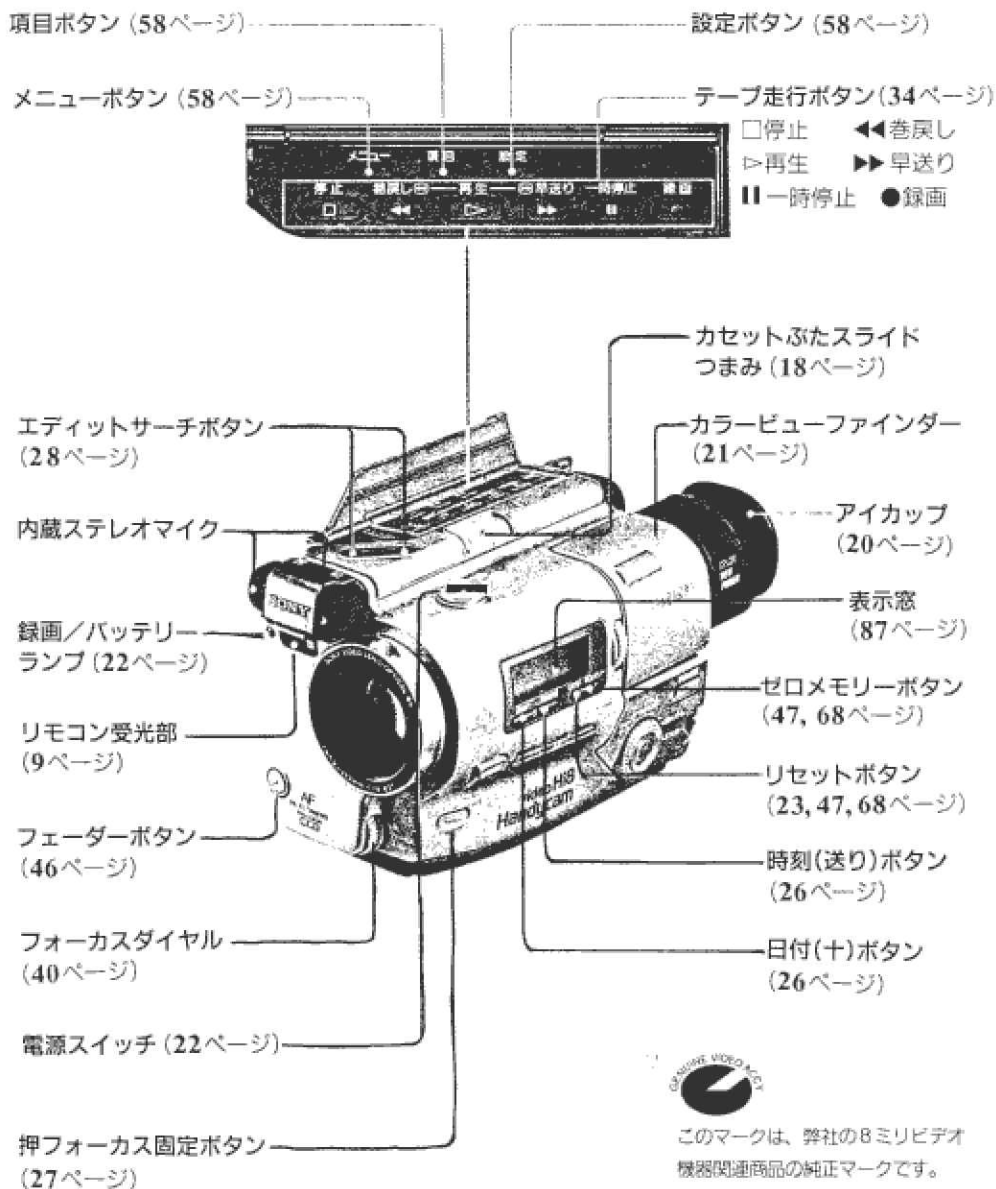
(ランク)マーク (6ページ) について  
 は、LANC 端子のマークです。LANC 端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

別売りの外部マイクを使う場合  
 マイク端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。2端子のマイクを使う場合は、DC出力端子を外部マイク用電源端子としてお使いください。

各部のなまえ



## 各部のなまえ(つづき)使いかたの説明は、( )内のページにあります。



このマークは、弊社の8ミリビデオ機器関連商品の純正マークです。このマークについている8ミリビデオ機器をお求めの際は同じマークもしくは弊社のロゴマークがついている8ミリビデオ関連商品をおすすめします。

## チケッリモコン

**説明** 離れた場所から本機を操作できます。リモコンのボタンは、本体の同名のボタンと同じ働きをします。

- 使う?** 自分も画面に入って撮影したいときや、テレビにつないで見るとき。
- 注意** メニューで、リモコン「●入」に設定します(お買い上げ時は設定済み)。(58ページ)

スタート/ストップボタン (22ページ)

撮影スタンバイまたは撮影中に使います。

ズームボタン (24ページ)

画面表示ボタン (35ページ)

リチウム電池ふた(裏面) (72ページ)



ホールドスイッチ

矢印の方向にしておく、どのボタンも働きません。持ち運びのときなどに誤ってボタンが押されても安心です。(お買い上げ時は矢印の方向にしています。)

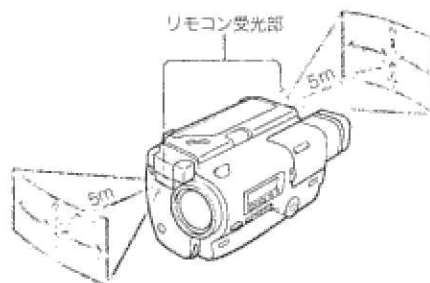
テープ走行ボタン (34ページ)

- ◀◀: 巻戻し  
▶▶: 早送り  
□: 停止  
▶: 再生  
||: 一時停止

リモコンについて

- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。
- リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がないようにご注意ください。
- 左の図の操作範囲は室内で使用したときの値です。

### 操作範囲

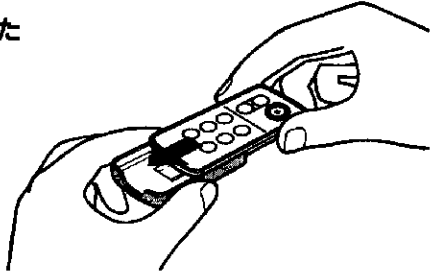


# 各部のなまえ(つづき)

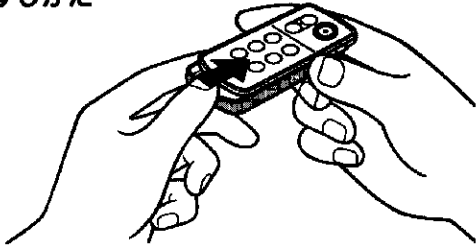
## リモコンホルダーについて

ショルダーベルトに取り付けて使うことができます。

入れかた



はずしかた



ショルダーベルトの取り付けかた

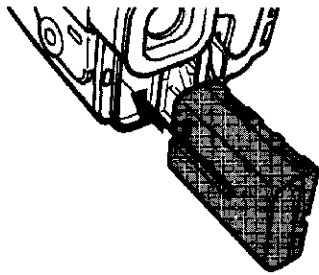


- 撮影の準備 → 11
- 主な特長 → 5

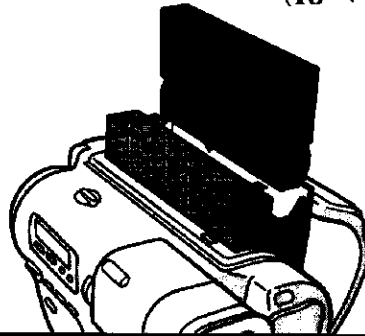
# 撮影の準備

**説明** 撮影を始める前に、以下の準備を行なってください。詳しくは、次ページから、順にご覧ください。

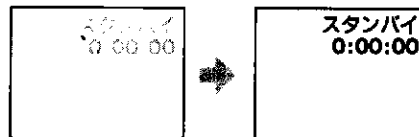
**準備 1** バッテリーパック NP-500 を用意する。  
(12 ページ)



**準備 2** カセットを入れる。  
(18 ページ)



**準備 3** ファインダーを調節する。  
(19 ページ)



各部のなまえ(つづき)／撮影の準備

# 準備 1 バッテリーパックNP-500を用意する

**説明** バッテリーパックは必ず充電してからお使いください。充電完了まで待たなくても、充電時間に応じて使えます。2~3個用意しておく  
と安心です。

**準備** 別売りのバッテリーパックNP-500と、ACパワーアダプターAC-V500などの充電器が必要です。

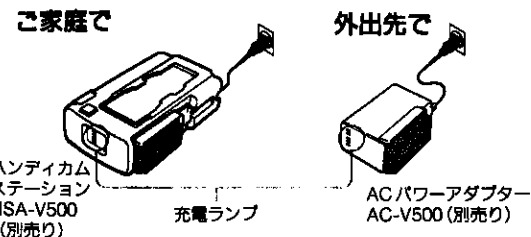
## 充電のしかたと、充電時間、使用可能時間

充電のしかたは、3通りあります。

表中の「充電時間」は使いきったバッテリーパックをACパワーアダプターで充電したときの時間、「使用可能時間」は常温で連続撮影したときの時間です。

### ACパワーアダプターに取り付けて充電する(14ページ) — 急いで充電したいとき

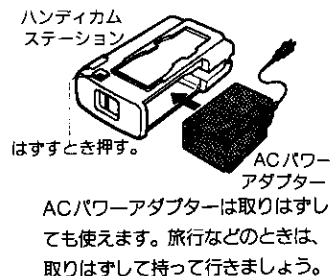
ACパワーアダプターの充電ランプが点灯して、充電量をお知らせします。



ACパワーアダプター の充電ランプ	充電時間	使用可能時間
	充電開始	———
	約30分	約20分
	約50分	約35分
*	約1時間30分	約45分

\*3個の充電ランプは点灯後約1時間で消えます。

ハンディカムステーションはACパワーアダプターを取り付けて使います。



お買い上げ時には若干量の充電がされています。ためし撮りなどの動作確認にお使いください。

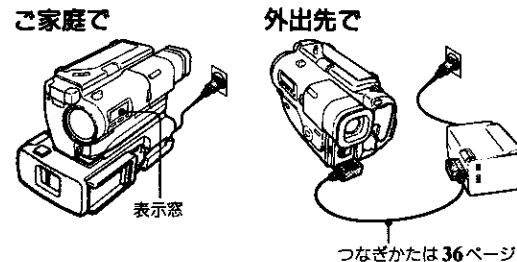
**バッテリーの寿命は?**  
常温で使用した場合、約500回以上繰り返して使えます。十分に充電したバッテリーパックを使っても、すぐに マークが点滅を始めるようなときは寿命です。新しいものをお買い求めください。

**バッテリー残量を知りたいとき**  
ACパワーアダプターに取り付けると、充電ランプが点灯します。使用可能時間は左の表をご覧ください。

### 本体に入れて充電する(16ページ)

#### 一本体内充電

撮影のあとなどに、本機の電源スイッチを「切」にして、ハンディカムステーションに取り付けておけば、いつでも使えるようにしておけます。表示窓の が消えると充電完了です。

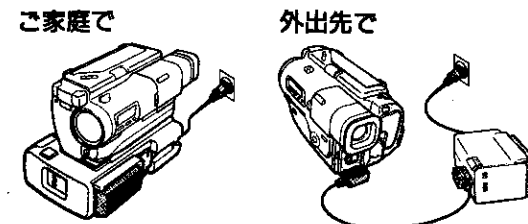


充電時間	使用可能時間
約5時間30分	約45分

ACパワーアダプターのランプは点灯しません。

### 2個連続で充電する — 2個連続充電

1個はACパワーアダプターに取り付けて(14ページ)、もう1個は本体に入れて(16ページ)充電します。ACパワーアダプターの3個の充電ランプと表示窓の が消えると充電完了です。



合計充電時間	使用可能時間
約8時間	各約45分ずつ

バッテリーパックを分解したり加熱したり、ショートさせたり、火中に投げたりしないでください。破裂するなど、たいへん危険です。捨てるときは「不燃物」として適宜処理してください。

室温(10~30°C)で充電しましょう。周囲の温度が低くなるほど、充電に時間がかかります。

**本体内充電について**  
充電が終わったあとにも入れたままにしておくと自然に放電します。充電量が少なくなると、自動的にもう1度充電を始めます。

**2個連続充電は**  
まず、ACパワーアダプターに取り付けたバッテリーパックが充電されます。この充電が終わると、ACパワーアダプターの充電ランプが消えて、本体の表示窓の が点灯し、本体内のバッテリーパックが充電されます。表示窓の が消えれば、充電完了です。本機の電源スイッチは「切」にしてください。「カメラ」や「ビデオ」にすると、どちらも充電されません。

**バッテリーパックNP-500は次の充電器で充電できます。**  
・ACパワーアダプター AC-V500  
・DCパワーアダプター DC-V500



- ・バッテリーパックNP-500の上手な使いかた → 17
- ・バッテリーパックNP-500以外で使う → 36

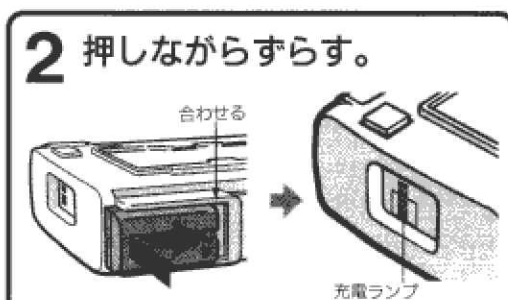
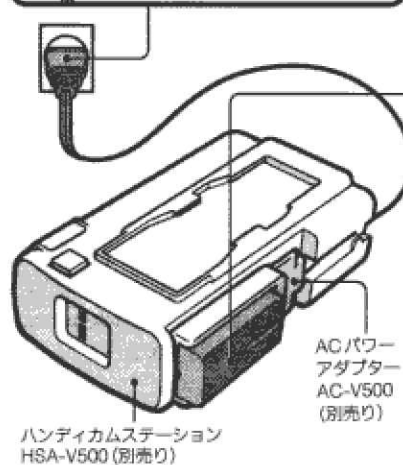
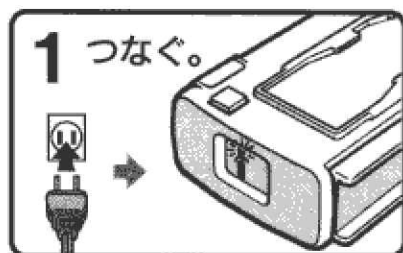
## 準備 1 バッテリーパックNP-500を用意する(つづき)

### ACパワーアダプターに取り付けて充電する

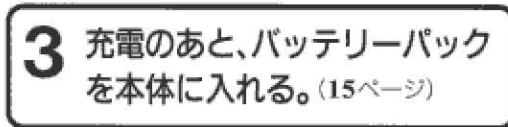
**説明** ACパワーアダプターAC-V500に直接取り付けて充電できます。本体に入れて充電するよりも、早く充電できます。

**いつ使う?**

- ・時間がないときや、とにかく急いで充電したいときなど。
- ・旅先へACパワーアダプターだけを持っていったときなど。

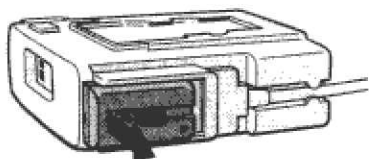


充電した量にしたがって、充電ランプが点灯する。(12ページ)



### 取りはずす

ずらして、はずす。

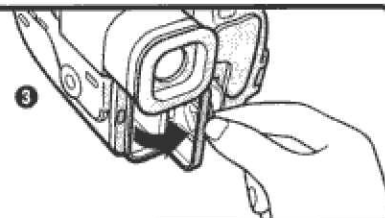


### バッテリーパックを本体に入れる

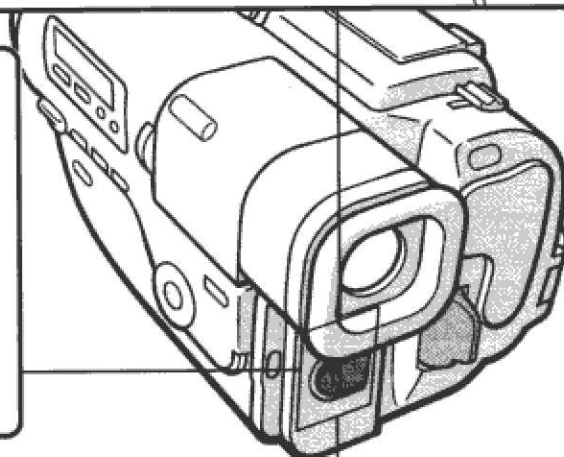
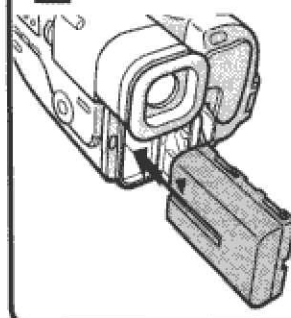
#### 1 開ける。

① 起こす。

② 回す。

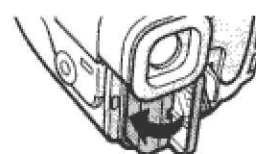


#### 2 入れる。



#### 3 閉める。

①



② 押しながらずらす。

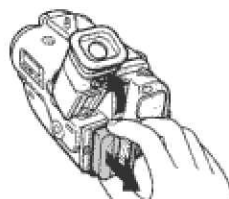


③ 倒す。



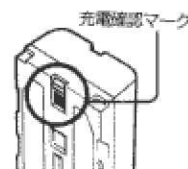
### 取り出すとき

ビューファインダーを持ち上げて取り出す。



④ 充電確認マークが付いています。

本体のバッテリー入れから取り出すと「無印」の状態になっています。これをACパワーアダプターに1度取り付けて、はずすと「■」マークが出ます。充電してあるかどうかの目安になります。



④ ACパワーアダプターをハンディカムステーションに取り付けなくても充電できます。(12ページ)

④ 充電ランプが3個とも点滅したときは

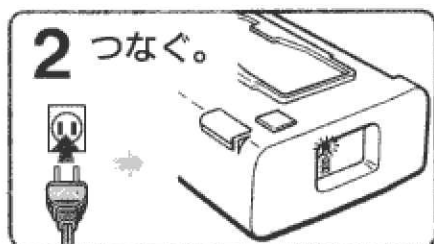
もう1度、バッテリーパックを取り付け直してください。それでも点滅するときは、異常があると思われます。ACパワーアダプターの取扱説明書をご覧ください。

## 本体に入れて充電する—本体内充電

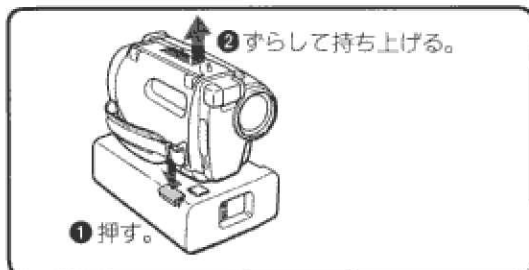
**説明** バッテリーパックを本体に入れたまま、充電できます。

**いつ使う?** 本機をいつでも使える状態にしておきたいとき(撮影終了後など)。

**準備** バッテリーパックを本体に入れておきます。(15ページ)



### 取りはずす



④ 電源スイッチを「カメラ」や「ビデオ」にすると充電されません。

本体に入れて充電すると、本体があたかくなります。  
危険ではありません。

ACパワーアダプターに接続コードでつないでも充電できます。  
つなぎかたは「コンセントにつないで使う」(36ページ)をご覧ください。

## バッテリーパックNP-500の上手な使いかた

### 充電について

いつ充電してもかまいません。

このバッテリーパックは、充電の前に放電したり、使いきったりする必要はありません。ただし、充電後は使わずに保存していても、自然に放電しますので、使う前に充電することをおすすめします。

### 使用可能時間について

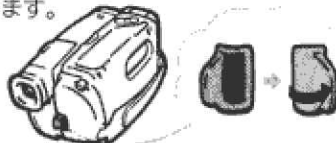
撮影予定時間の2~3倍分のバッテリーパックを用意すれば安心です。

取扱説明書やカタログにある「使用可能時間」は、十分に充電したバッテリーパックを使って、室内で固定して連続撮影したときの時間です。次のようなときにもバッテリーは消耗するため、実際の撮影で記録できる時間は「使用可能時間」の半分以下になることがあります。

- ・カセットを入れたり、取り出したりするとき
- ・電源スイッチを「カメラ」にして、スタンバイカバーを開いているとき(撮影スタンバイ)
- ・ビューファインダーから被写体を見て、構図やアングルを考えているとき
- ・電源スイッチを「ビデオ」にしているとき

スタンバイカバーをこまめに閉めるとバッテリーが長持ちします。

画像は乱れることなく、きれいにつなぎ撮りできます。



⑤ 閉めきった自動車内や炎天下など、高温になる場所には置かないでください。

### 交換時期について

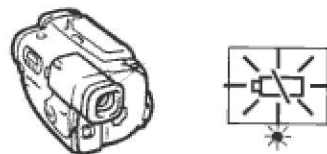
ファインダー内や表示窓のバッテリー残量表示を見て、余裕を持って交換しましょう。

電源スイッチを「切」にしてから交換してください。きれいなつなぎ撮りができます。

バッテリー残量表示  
ファインダー



バッテリー残量がわずかになると△マークが出て、遅い点滅から速い点滅に変わります。



寒冷地では、バッテリーパックの使用時間が短くなります。

温度が低い(10°C以下)と、バッテリーパックの性能が低下するためです。より長い時間で使用するのために、次のことをおすすめします。また、十分に充電したバッテリーパックを入れても、バッテリー残量表示が●にならないことがあります。

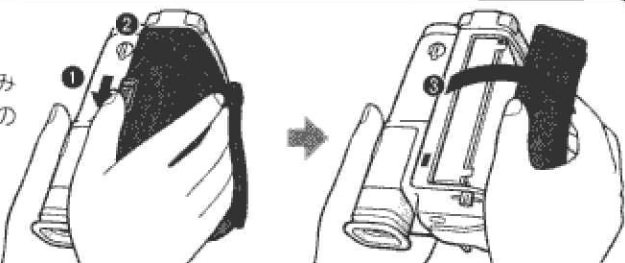
- ・バッテリーパックをポケットなどに入れて暖かくしておき、撮影の直前に本体へ入れる。カイロをお使いの場合は、直接バッテリーパックに触れないように、ご注意ください。
- ・室温(10~30°C)で、ACアダプターに取り付けて十分に充電する。

## 準備 2 カセットを入れる

**説明** Hi8 (ハイエイト)方式で記録するときには、Hi8 (ハイエイト) テープ **Hi8** を使います。

### 1 開ける。

ふたのスライドつまみをずらしながら、図の **①** 部分を少し上に持ちあげて、パカッと開ける。



### 2 押す。

カセット入れが自動的に上がって開く。

▲ カセット  
取出し  
ボタン



### 3 入れる。

テープ窓を外側にして入れる。



### 4 押す。

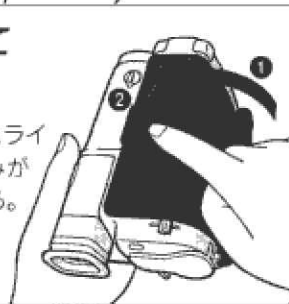
押マークを押して、カセット入れを閉める。カセット入れが自動的に下がる。

押マーク



### 5 閉めて押す。

ふたのスライドつまみが元に戻る。



### 取り出しかた

「カセットを入れる」と同じ様に行い、手順3でカセットを取り出す。

● カセット入れに指をはさまないようにご注意ください。  
はさまれたときは、約2秒後に自動的にカセット入れが開きます。

## 準備 3 ファインダーを調節する

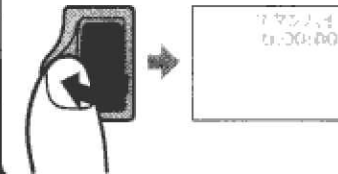
**説明** 自分の視力に合わせて、ファインダー内の画像がはっきり見えるように調節します。(視度調節)

**いつ使う?** ファインダーの画像がはっきり見えないとき、はじめて撮影するとき、撮影する人が変わったときなど。

### 1 「カメラ」にする。



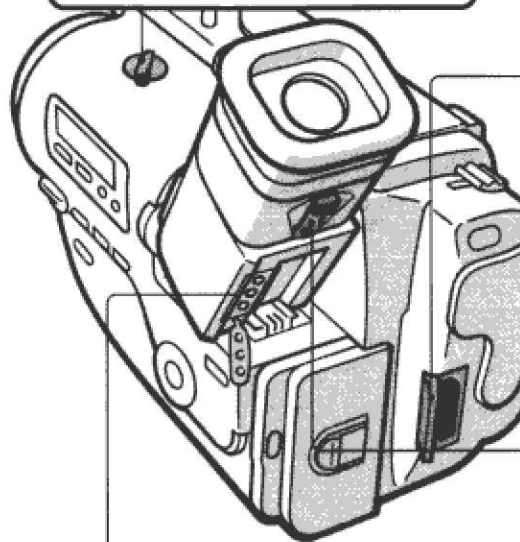
### 2 開ける。



### 3 動かす。

ファインダーの文字がはっきり見えるようにする。

スタンバイ  
0:00:00



● カラービューファインダーの調節  
カラービューファインダーの色あい、色の濃さ、明るさは標準に調節されていますが、お好みによりマイナスドライバーで調節することができます。



	左に回す	右に回す
色あい	肌の色が赤みがる	肌の色が緑がる
色のこさ	色が薄くなる	色が濃くなる
明るさ	画面が暗くなる	画面が明るくなる



- うまく撮る姿勢 → 20
- 撮影する → 22
- 記録・再生方式 → 70



# うまく撮る姿勢

**説明** 見やすい画像に撮るコツは、ハンディカムを動かすすぎないことと、ふらつかないような安定した姿勢で撮影することです。

①がファインダーに出ているときは手振れ補正機能が働いていません。手振れの少ない安定した画面で撮れます。



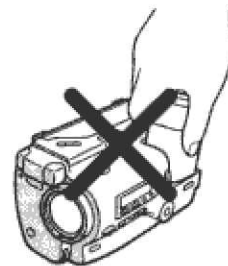
体がふらつかないように、足を少し開く。

## 安定した見やすい画面にするコツ

- ・壁によりかかるなど安定した姿勢をとる。
- ・水平、垂直の線をファインダーの枠に合わせる。
- ・カメラはゆっくり動かす。撮り始めと終わりで数秒止め、撮っている画面を説明できるくらいゆっくりと動かす。
- ・三脚を使う（ネジの長さが6.5mm未満のものをお使いください）。

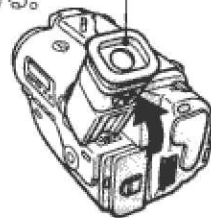
## 低い位置で撮る姿勢（ローアングル）

②ビューファインダーをつかんで、本機を持ち上げないでください。

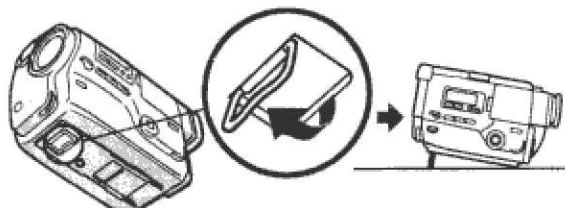


うまく撮る姿勢

ビューファインダーを持ち上げる。



本体の底面にある金具を起こすと、簡易スタンドになります。



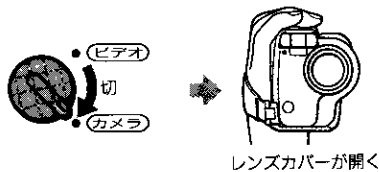
- ・撮影する → 22
- ・手振れの少ない画面にする → 25

# 撮影する

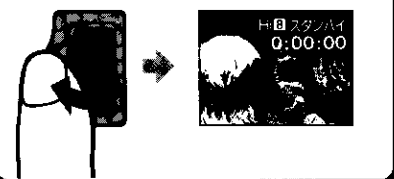
**説明** ピント合わせも自動で、簡単に撮影が楽しめます。撮影の前に必ずためし撮りをし、正常に記録されていることを確認しましょう。

**準備** 撮影の準備(11ページ)をしておきます。オートロックスイッチが上がっていることを確認します。

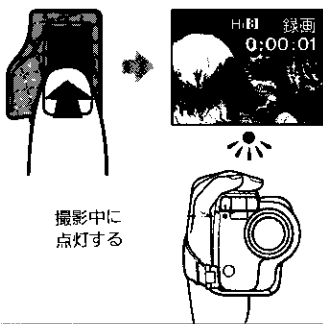
## 1 「カメラ」にする。



## 2 開ける。



## 3 押す。



### 撮影中の表示

これらの表示はテープに記録されません。



ハイエイト表示: Hi8 (ハイエイト)方式のときに出る。  
テープカウンター  
テープ残量表示 (86ページ)  
カセットを入れて、しばらくテープを走行させると出る。

バッテリー残量表示 (17,86ページ)

録画/バッテリーランプ

ズームレバー

撮影中に点灯する。

### ちょっとだけ止める

押す。



再び撮影するときは、もう1度押す。

### 撮影を止めて画面も消す

閉じる。



### 撮っている人の声をはっきり記録する(ナレーション機能)

押し続ける。

撮っている人の声が大きく記録される。  
音声はステレオではありません。



④ テープが入っていて、撮影スタンバイが5分以上続くと自動的に電源が切れます。

バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するためです。撮影スタンバイに戻すにはスタンバイカバーを1度閉じ、再び開きます。

⑤ 近くのものにピントがうまく合わない場合、ズームレバーをW側に押し、広角側にします。

⑥ ファインダーを太陽に向けたままにしないでください。

⑦ レンズにゴミや指紋が付いたときは柔らかい布で拭き取ってください。

⑧ テープの最初から撮影するときには15秒ほど撮影してから、本番の撮影をします。再生時に、始めが欠けるのを防げます。

⑨ テープカウンターについて  
表示窓とファインダー内に、テープ走行時間が「時:分:秒」と出ます。表示窓に日付が出ているときは日付(+)ボタンを、時刻が出ているときは時刻(送り)ボタンを押すと、カウンターに戻ります。

⑩ テープカウンターを「0:00:00」にするときはリセットボタンを押す。  
表示窓の下にあるリセットボタンを押します。

⑪ つなぎ撮りは  
カセットを取り出さない限り、電源を切っても、場面がきれいにつながります。ただし、バッテリーの交換はスタンバイカバーを閉じてから行ってください。



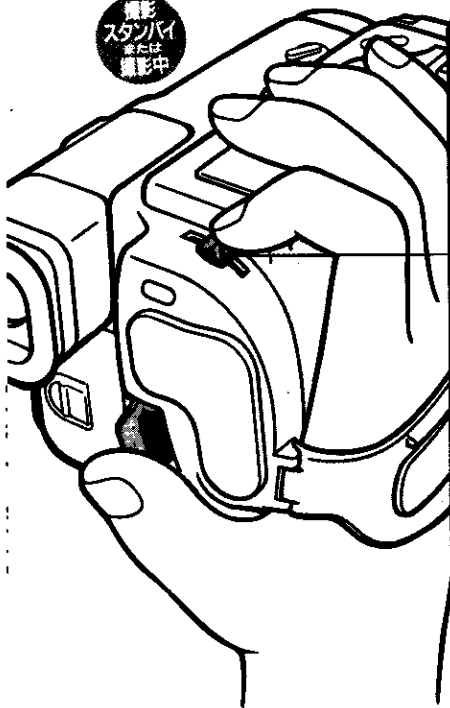
- 撮影が終わったら → 30
- ズーミング → 24
- 撮影日時を記録する → 26
- 手動調節 → 39

## ズームング

**説明** ビデオカメラの位置はそのまま、被写体を大きく写したり、小さく写したりできます。使いすぎると見づらい作品になります。

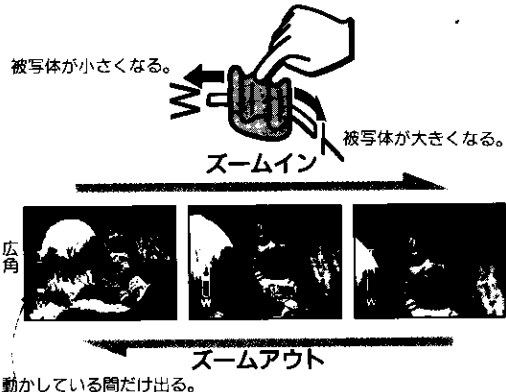
**使う?** 被写体に注目させたいとき(望遠:T側)や、まわりの状況を表現したいとき(広角:W側)。

撮影  
スタンバイ  
または  
撮影中



### 左右に動かす。

ちょっと動かすとゆっくりズームし、さらに動かすと速くズームする。リモコンでは速くなりません。



- 手動ピント合わせ → 40
- 20×ズーム → 55
- エキスパンド → 57
- 本機のズーム機能について → 85

### 「T」と「W」って?

「T」はTelephoto (テレフォト: 望遠) の、「W」はWide(ワイド: 広角) の略です。

### 「ピントが合うのに必要な被写体との距離は?

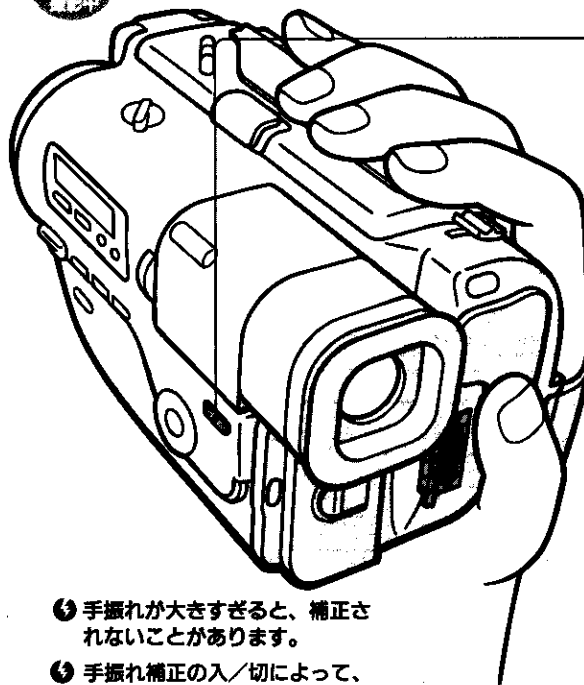
W側では約1cm以上、T側では約90cm以上です。

## 手振れの少ない画面にする

**説明** 手振れ補正機能で、手振れの少ない安定した画面を撮ることができます。お買い上げ時には、手振れ補正が働くようになっています。

**使う?** ズームングして望遠で撮るときや、車や電車などから風景を撮るとき、または動きながら撮るときなど。

撮影  
スタンバイ  
または  
撮影中



押す。



### 手振れ補正を解除する

もう1度押す。



- ④ 手振れが大きすぎると、補正されないことがあります。
- ④ 手振れ補正の入/切によって、画像の明るさが変わることがあります。
- ④ コンバージョンレンズ(別売り)を取り付けると、手振れ補正がききにくくなります。
- ④ ☺ が点滅しているときは 手振れ補正機能は働きません。デジタルピクチャーダイヤルで手振れ補正が働かない項目を選んだときです。
- ④ 三脚を使って撮るときは、手振れ補正を解除してください。



- うまく撮る姿勢 → 20
- 撮影が終わったら → 30
- デジタルピクチャーについて → 48

## 撮影日時をテープに記録する

**説明** 撮影時、ファインダー内に日付や時刻を出すと、白い文字でテープに記録できます。日付と時刻は同時には入りません。

**注意** 海外旅行のときは世界時計機能を使って、現地時間にしておきます。

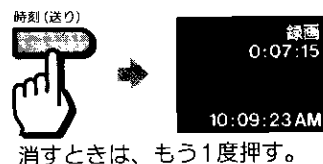
### 日付を入れるとき

押す。



### 時刻を入れるとき

押す。



- 撮影が終わったら → 30
- 海外の現地時間に合わせる → 60
- 日付・時刻を合わせ直す → 74

## ピントを固定する——フォーカス固定

**説明** 撮影している被写体にピントを固定しておくことができます。

**いつ使う?** 観光地などで撮影している前を人が行き来して、撮りたいものにピントが安定しないときなど。



押し続ける。

押ししている間、ピントが固定される。

押 フォーカス固定



### 通常の撮影に戻す

離す。 押 フォーカス固定



- 撮影が終わったら → 30
- 手動ピント合わせ → 40
- 手動調節 → 39

# 撮影する(つづき)

## 撮影内容を確認する

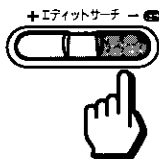
### 簡単に確認する

**説明** 撮影した内容や場面を、ファインダーで簡単に確認できます。撮り直しの開始点を決めることもできます。

**注意** 最後に撮った場面が気になるときや、もう1度途中から撮り直すときなど。

### 最後の場面を確認する (レックレビュー)

チョンと1回押す。



最後に撮影した場面が数秒間出て、再び撮影スタンバイに戻る。

撮影スタンバイ中

### 逆方向に再生する (エディットサーチ)

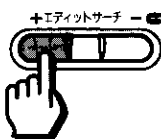
押し続ける。



指を離したところが、次の撮影開始点になる。音は出ません。

### 正方向に再生する (エディットサーチ)

押し続ける。



指を離したところが、次の撮影開始点になる。音は出ません。

途中から撮り直すと、その部分に記録されていた映像と音声は消え、新たに記録し直されます。

## 音を聞きながら撮影内容を確認する

**説明** 撮影内容をファインダーで確認できます。早送りや巻き戻しもでき、ミニプラグ付きヘッドホンを使えば音声も確認できます。

**注意** ちょっと長い内容を確認したいときや、テレビにつなぐ前に再生したいときなど。

1 「ビデオ」にする。

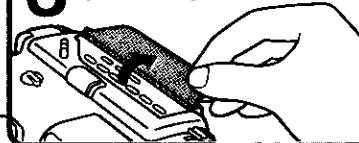


2 ヘッドホンをつなぐ。



音量は調節できません。

3 開ける。



4 押す。

テープを巻き戻す。



### 再生を止める

押す。



5 押す。

再生

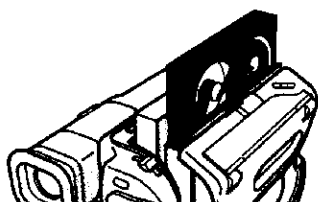


撮影する(つづき)

## 撮影が終わったら

**説明** 思いがけない誤動作や故障を防ぐため、以下の操作を行きましょう。

### 1 カセットを取り出す。 (18ページ)



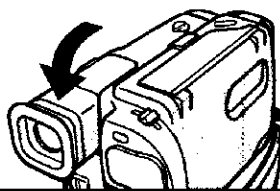
### 2 「切」にする。



レンズカバーが閉まる。

### 3 元に戻す。

ビューファインダーを元の位置に戻す。



- 本体に入れて充電する → 16
- テレビで見る → 31
- お手入れについて → 77

Ⓢ 長期間使わないときは、バッテリーパックを本体から取り出しておきましょう。

# テレビで見る

**説明**

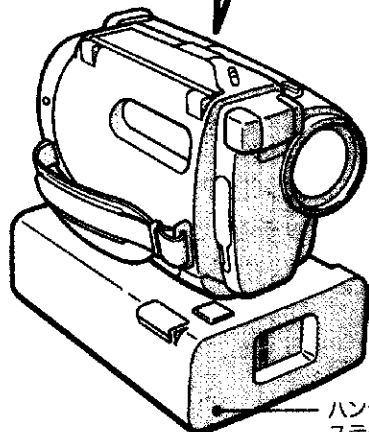
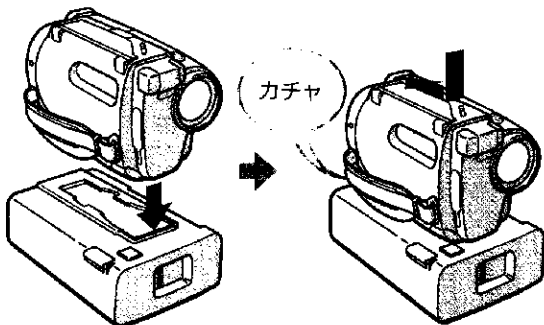
ハンディカムステーションをつないでおけば、撮影したテープなどを簡単にテレビで見ることができます。テレビやビデオに直接つなぐこともできます。(32ページ)

**準備**

ハンディカムステーションHSA-V500に取り付けて見るときは、ビデオアクセサリキットの取扱説明書の「ハンディカムステーションの準備をする」をしておきます。

## ハンディカムステーションHSA-V500に取り付ける

置いてずらす。

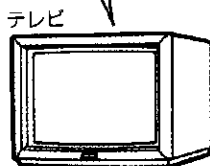


ハンディカムステーションとテレビまたはビデオとの接続については、ビデオアクセサリキットの取扱説明書の「ハンディカムステーションの準備をする」をご覧ください。

ハンディカムステーション HSA-V500

：信号の流れ

テレビ/ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。



テレビ

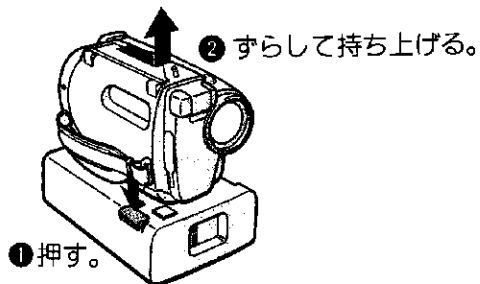
または



ビデオ

入力切り換えスイッチを「外部入力(ライン)」にする。

取りはずす



撮影機(ハンディカム)をテレビで見る



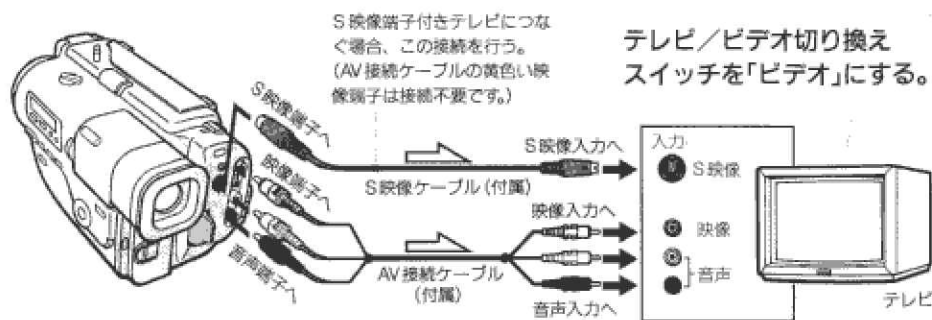
## 映像/音声入力端子付きテレビやビデオにつなぐ

**説明** 付属のAV接続ケーブルでつなぎます。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。電源はコンセントからとること(36ページ)をおすすめします。テープを再生すると、本機から映像と音声は自動的に出力されます。

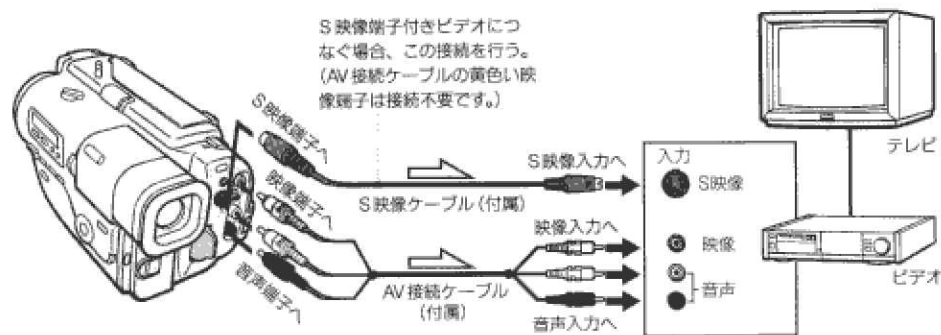
**④** テレビやビデオの音声入力端子がひとつの場合  
AV接続ケーブル(付属)の黄色のプラグを映像入力へ、白いプラグを音声入力へつなぐ。(赤いプラグはどちらにもつなぎません。音声はモノラルです。)

- 映像
- 音声

### 映像/音声入力端子付きテレビにつなぐ



### ビデオにつなぐ



→ : 信号の流れ

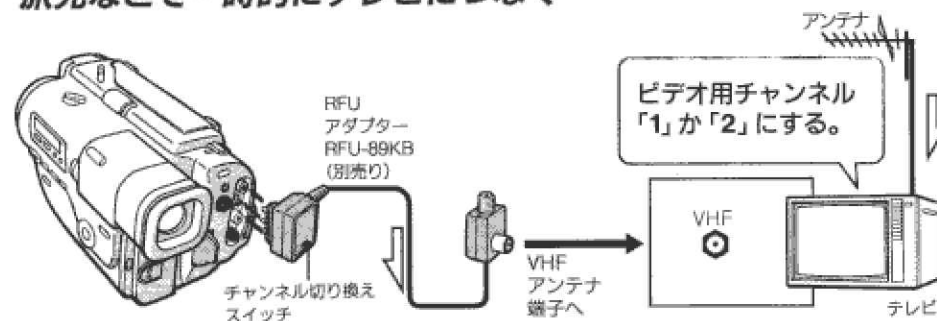
入力切り換えスイッチを「外部入力(ライン)」にする。

## 映像/音声入力端子のないテレビにつなぐ

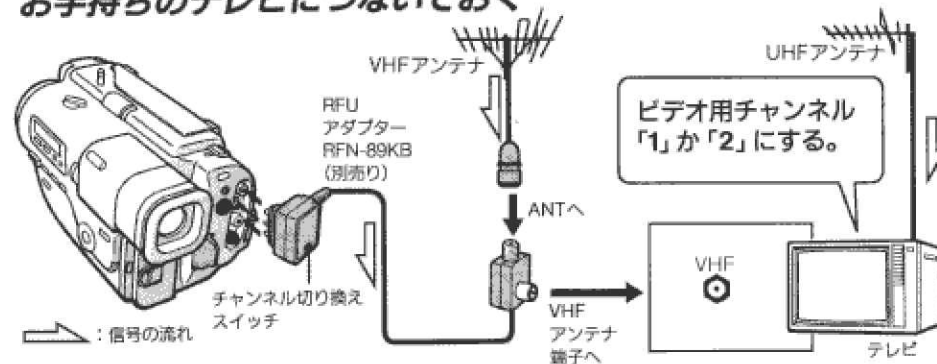
**説明** 別売りのRFUアダプターRFU-89KBでつなぎます。テレビとRFUアダプターの取扱説明書もご覧ください。電源はコンセントからとること(36ページ)をおすすめします。音声はモノラルです。

**いつ使う?** AV接続ケーブルでテレビにつなげないとき。

### 旅先などで一時的にテレビにつなぐ



### お手持ちのテレビにつないでおく



**④** RFUアダプターのチャンネル切り換えスイッチについて  
チャンネル切り換えスイッチを放送のないチャンネル(1か2)にしてから、テレビで同じチャンネルを選びます。



- テレビで見る → 34
- 他のビデオへ録画する → 64

## テレビで見る

**説明** リモコンを使って操作すると便利です。

**準備** 本機をテレビやビデオなどにつなぎ、ビデオからの画像がテレビに映るようにしておきます。  
(31ページ)

**1 「ビデオ」にする。**

**2 カセットを入れる。**  
(18ページ)

**3 開ける。**

**4 押す。**

巻き戻しが始まる。

**5 押す。**

画像が映る。

止める    巻き戻す    早送りする    静止画を見る

<p><b>再生中</b> 押す。</p> <p>停止</p>	<p><b>再生中</b> 押す。</p> <p>停止 → 巻き戻し</p>	<p><b>再生中</b> 押す。</p> <p>停止 → 早送り</p>	<p><b>一時停止</b> 押す。</p> <p>一時停止</p> <p>ふつうの再生に戻るときは、もう1度押すか、▷再生ボタンを押す。</p>
-------------------------------------	--	---	---

見たい場面をさがす。  
—ピクチャーサーチ(音声は出ません。)

**画像を見ながら早送りする**

**再生中** 押し続ける。

早送り

離すと、ふつうの再生に戻る。

---

**画像を見ながら巻き戻す**

**再生中** 押し続ける。

巻き戻し

離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り・巻き戻し中に、画像を見る  
—高速アクセス(音声は出ません。)

**早送り中に画像を見る**

**再生中** もう1度押し続ける。

早送り

▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

---

**巻き戻し中に画像を見る**

**巻き戻し中** もう1度押し続ける。

巻き戻し

▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

▶ テレビ画面にカウンターなどの表示を出す(画面表示機能)  
リモコンでのみ操作できます。



ファインダー内に出る文字が、テレビ画面に出る。  
消すときは、もう1度押す。  
電源スイッチを「カメラ」にしたときも出せます。

一時停止(静止画)について

- ・画像にノイズが出ますが、故障ではありません。
- ・5分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、もう1度▷再生ボタンを押します。

音声多重放送テープを再生するとき  
71ページをご覧ください。

- ▶ 見たい場面に戻す(ゼロメモリー) → 68
- ▶ 他のビデオへ録画する → 64
- ▶ 充電する → 12
- ▶ バッテリーバックNP-500以外で使う → 36
- ▶ 記録・再生方式 → 70

# バッテリーパックNP-500以外で使う

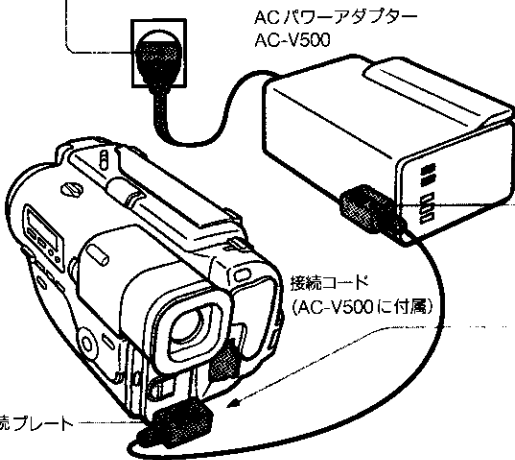
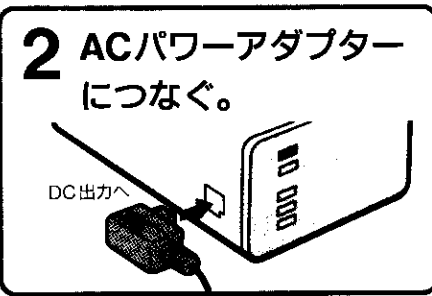
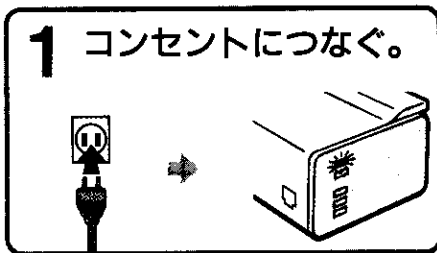
**説明** バッテリーパックNP-500の他に、家庭のコンセントや自動車からの電源、NP-500以外のバッテリーパックを使うことができます。

## コンセントにつないで使う

ハンディカムステーションHSA-V500をお持ちの方は、ビデオアクセサリキットの取扱説明書の「ハンディカムをコンセントにつないで使う」をご覧ください。

**説明** 屋内の電源コンセントから電源をとります。別売りのACパワーアダプターAC-V500を使います。

**注意** テープを再生するときや、長時間ハンディカムを使うとき。

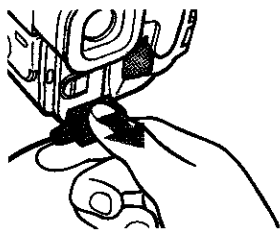


① 本体底面のカバー内にある端子には触れないでください。

② 接続コードをつないでいるときは、簡易スタンド(21ページ)は使わないでください。

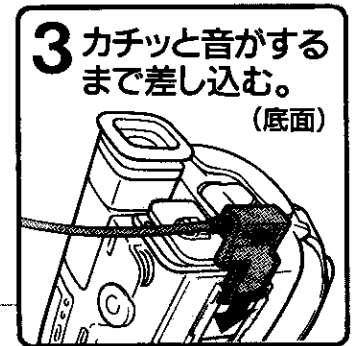
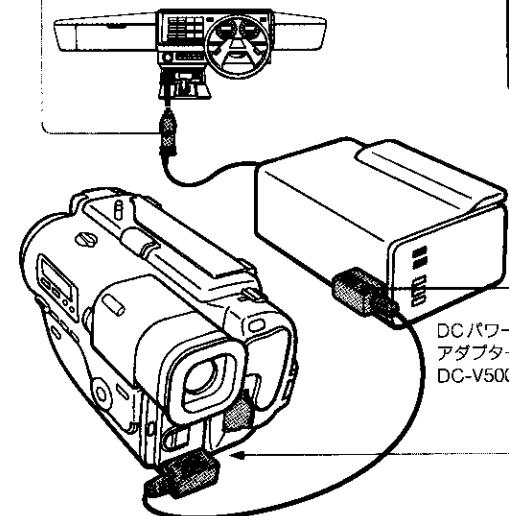
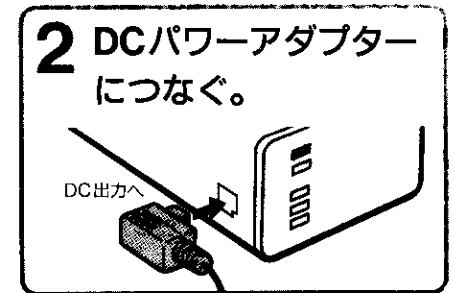
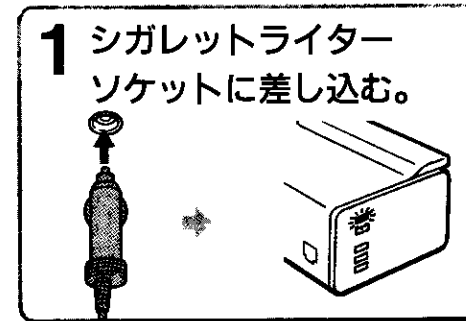
接続プレートに負担がかかり、故障の原因となることがあります。また、不安定になり、ハンディカムが倒れやすくなります。

③ 接続コードをはずすときは、接続プレートを持って抜いてください。



## 自動車の電源で使う

**説明** 自動車のシガレットライターソケットから電源をとります。別売りのDCパワーアダプターDC-V500を使います。



- バッテリーパックNP-500で使う → 12
- カセットを入れる → 18
- NP-500以外のバッテリーパックで使う → 38

バッテリーパックNP-500以外で使う

# バッテリーパックNP-500以外で使う(つづき)

## NP-500以外のバッテリーパックで使う

**説明** 従来のハンディカム(CCD-TR705やTR900など)のバッテリーパック(NP-77HやNP-S88など)も使えます。別売りのバッテリーアダプターNPA-77Xが必要です。

**準備** バッテリーパックを専用の充電器で充電し、バッテリーアダプターに取り付けておきます。バッテリーアダプターの取扱説明書もあわせてご覧ください。

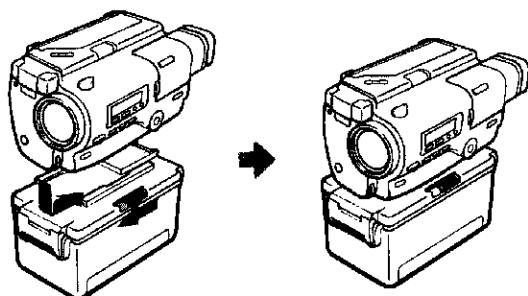
### 使用可能時間について

右の表は、ACパワーアダプターAC-S10でリフレッシュしてから充電し、常温で連続撮影したときの時間です。

バッテリーパック	使用可能時間	バッテリーパック	使用可能時間
NP-55	約45分	NP-77H/77HD	約2時間
NP-55H	約50分	NP-S88	約2時間05分
NP-S55A	約1時間10分	NP-S88A	約2時間25分
NP-77	約1時間30分		

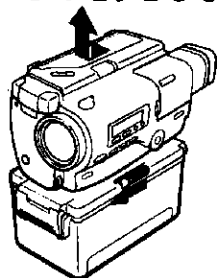
### バッテリーアダプターNPA-77Xを取り付ける

取りはずしつまみをずらしながら、確実に取り付ける。



### 取りはずす

取りはずしつまみをずらしながら、はずす。



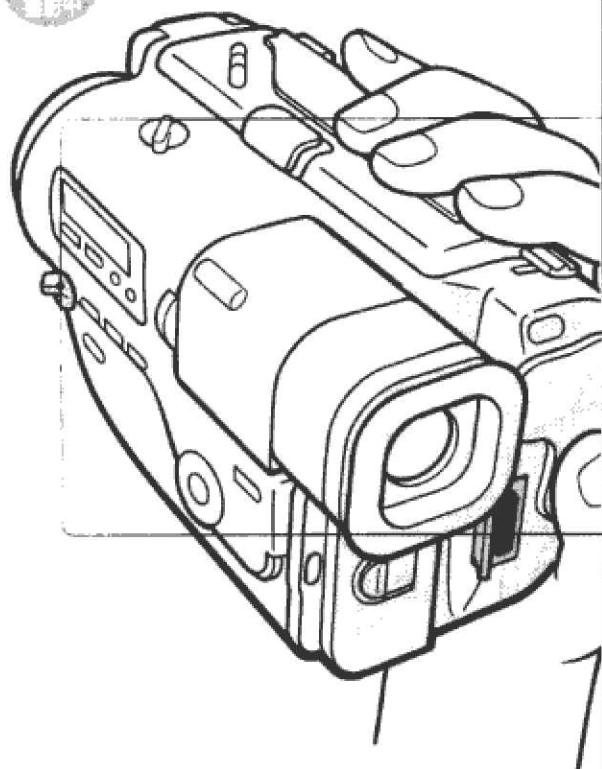
④ 本機やACパワーアダプターAC-V500では充電できません。別売りのACパワーアダプターAC-S10など専用の充電器をお使いください。また、充電方法については、専用の充電器の取扱説明書をご覧ください。

④ 本体に入れたバッテリーパックを使うときは、バッテリーアダプターを取りはずしてください。

# 自動調節と手動調節

**説明** ピント合わせと画像の明るさ調節を、自動と手動に切り換えられます。また、目的にあった撮影モードを選ぶこともできます。

撮影  
スタンバイ  
中



## 自動調節にする

上げる。

「オートロック」にする。



ピント合わせ・明るさ調節が自動になる。通常は上げておきます。

## 手動調節にする

下げる。



ピント合わせ・明るさ調節が手動でできる。また、目的にあった撮影モードが選べる(プログラムAE機能)。ボタンを押して手動調節にしたもの以外は、自動調節される。

ボタンを押して手動調節を選んだものは次のようなときも保持されています。

- 1度オートロックスイッチを上げて自動調節に戻した後、再び手動調節にしたとき
- 電源スイッチを「切」にしたとき
- 電源をはずしてから5分以内



- 手動ピント合わせ → 40
- 明るさを調節する → 42
- プログラムAE → 44

バッテリーバックNP-F500以外で使う(つづき) / 自動調節と手動調節

# 手動ピント合わせ

**説明** 手動でピントを合わせられます。オートロックスイッチを上げているときは、自動的にピントが合います。

**注意** 右ページのように、夜景や花火など画面が暗いときや、被写体に明暗の差がないときなど。

## 手動でピントを合わせるほうがいい場合

- 被写体やそのまわりが暗いとき  
画面全体が暗いとき
- 壁や空など明暗の差がないとき
- 被写体の背景が明るいときや明暗の差がはっきりしすぎているとき
- 被写体が横じまなど細かい模様  
の繰り返しするとき
- 被写体が汚れや水滴などのついた窓越しにあるとき
- 被写体の前にフェンスがあるとき
- 被写体が輝いていたり、強い光を発していたり、反射していたりするとき
- 三脚を使って、静止した被写体を撮るとき

1 フォーカスダイヤルは途中で止まらないで、回転します。

2 暗い室内で撮るとき  
手動ピント合わせした後、なるべく広角側(W側)で撮ります。

3 明るい野外で動きの激しいものを撮るとき  
広角側(W側)いっぱい撮ります。

4 近づいて大きく撮る(マクロ)とき  
ズームを広角側(W側)いっぱいにして、ピントを合わせます。  
自動ピント合わせでもマクロ撮影できます。

## 自動調節に戻す

上げる。



または  
押す。



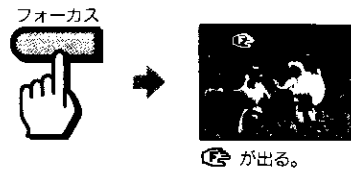
- ズーミング → 24
- 明るさを調節する → 42
- 目的に合わせて撮る (プログラムAE) → 44
- ピントを固定する (フォーカス固定) → 27

撮影  
スタンバイ  
または  
撮影中

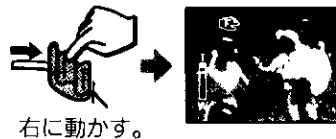
1 下げる。



2 押す。

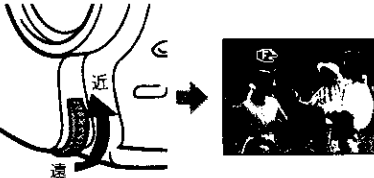


3 望遠(T側)いっぱいにする。

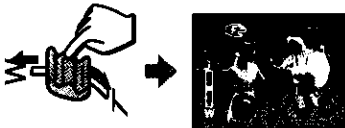


4 回す。

被写体にピントを合わせる。



5 撮りたい大きさにする。



# 画像の明るさを調節する

**説明** 画像をお好みの明るさに手動調節し、固定することができます。自動では被写体をはっきり写るように調節するため、実際よりも明るく写ることがあります。

**使い方** 右ページのように、逆光のときや照明が少ないとき、夜景を撮りたいときなど。

**撮影スタンバイ中は撮影中**

**1 下げる。**

オートロック

**2 押す。**

明るさ

明るさ表示が出る。  
現在の画像の明るさに固定される。

**3 回す。**

画像の明るさを調節する。

明るさが、新たに固定される。

**自動調節に戻す**

**上げる。**

オートロック

明るさ表示が消える。

**または 押す。**

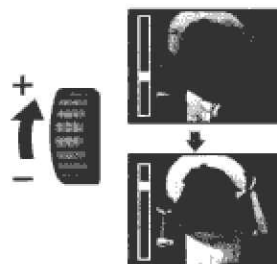
明るさ

明るさ表示が消える。

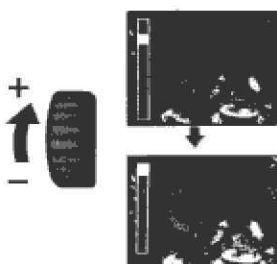
## 手動で明るさを調節するほうが良い場合

撮影条件 明るさ調節ダイヤルを回す方向と調節された画像

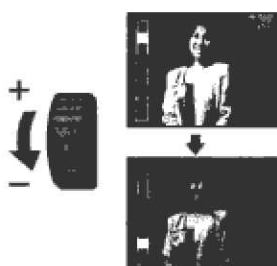
背景が明るすぎて、被写体が暗くなる(逆光)とき



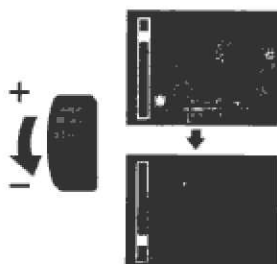
照明が少なく画面全体が暗いとき



背景に比べて、被写体が明るすぎる時



暗い場面を忠実に撮影したいとき



暗い場所で撮影しているときは急に明るいのを撮ると、画像が出ない場合があります。

きれいな画像にするために太陽を背に、被写体の正面に光が当たるようにして、逆光を避けましょう。暗いところではライトを使いましょう。

場面の途中で逆光など明るさが変わるときは

一番いいと思う明るさで明るさボタンを押して、画像の明るさを固定します。晴れた日に山頂や海辺で、カメラを動かして周囲の景色を撮るときに、画面の明るさを変えずに撮影できます。また、部屋の中の人を撮るときは、壁側の人に明るさを固定すれば、逆光で窓際の人々が暗く写らないように撮影できます。

次のようなときは逆光と同じ状態になります。

- ・スキー場や雪山
- ・真夏の晴れた海岸
- ・画面の中に照明など光るものや、光を反射している鏡などがあるとき
- ・白い服を着た被写体が白い壁の前にいるとき。とくに、絹・化繊などの光りやすい布地を着た場合、顔が暗く写ります。

画像の明るさを調節する



- ・手動ピント合わせ → 40
- ・目的に合わせて撮る(プログラムAE) → 44



# 目的に合わせて撮る — プログラムAE

**説明** プログラムAEの3つの機能(モード)を使って、被写体や撮影状況に、より適した撮影ができます。

**使う?** 右ページのように、被写体を引き立てて撮りたいときや、運動会やゴルフ、車内から外の風景を撮りたいときなど。

## プログラムAEモードを使うとき

### 被写体を引き立てて撮る (ポートレートモード)

- 動きの少ない被写体(人物や花など)を撮るとき
- 被写体の前に気になる前景があるとき
- 望遠で被写体を大きく撮るとき



### 躍動感のあるシーンを撮る (スポーツモード)

- 運動会、テニス、ゴルフ、スキーなどのシーンを撮るとき
- 自動車や電車などから外の風景を撮るとき



### 速い動きをくっきり撮る (高速シャッターモード)

- ゴルフのスイングやテニスボールをはっきり捉えたいとき
- 速い動きをくっきりとシャープな画像で撮りたいとき



### ポートレートモードは

被写体だけにピントを合わせ、前景や背景をぼかします。被写体だけが浮き上がったように写ります。シャッター速度が1/60から1/2000の間で自動的に変わり、画像は適切な明るさに保たれます。

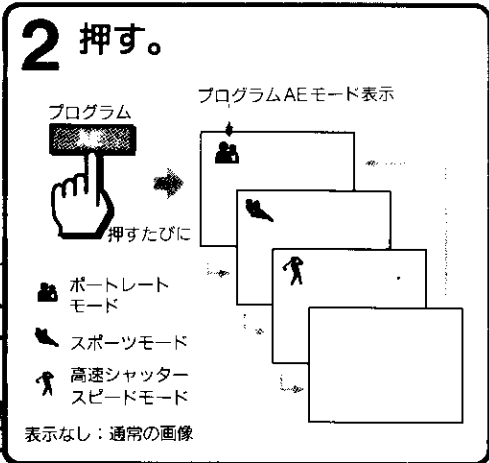
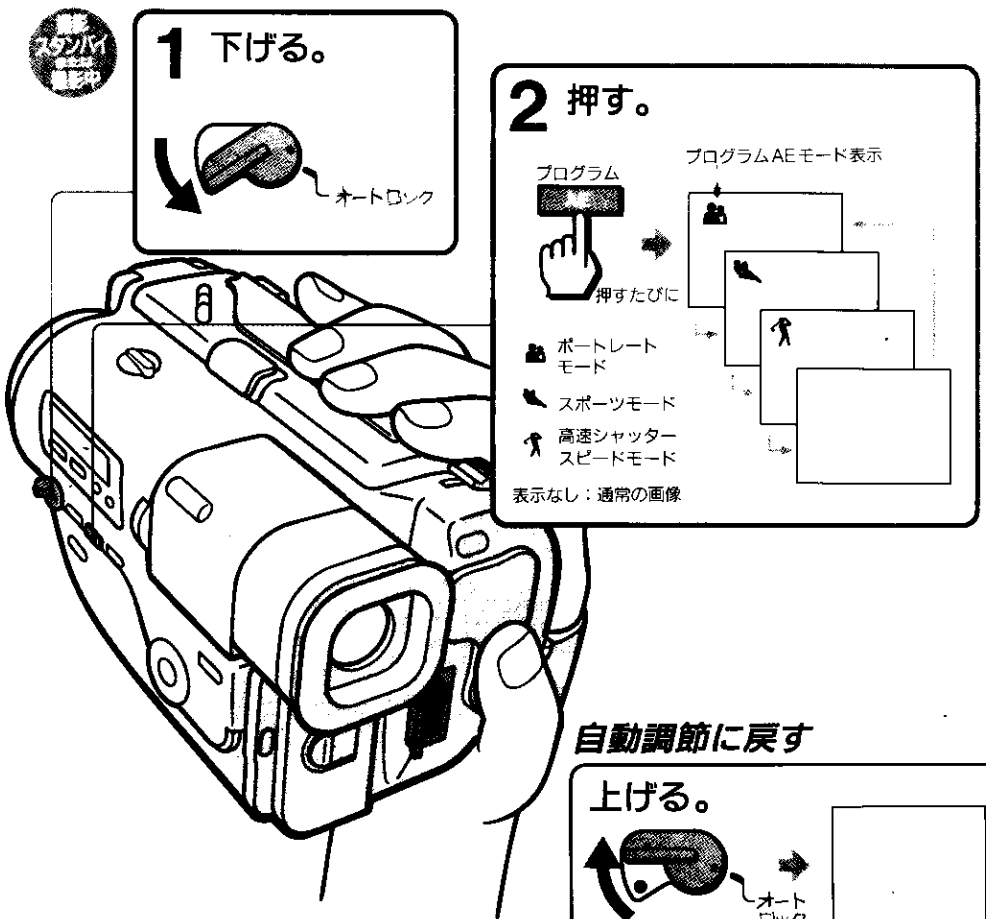
### スポーツモードは

動きの速い被写体のぶれを少なくします。シャッター速度が1/60から1/500の間で自動的に変わり、画像は適切な明るさに保たれます。

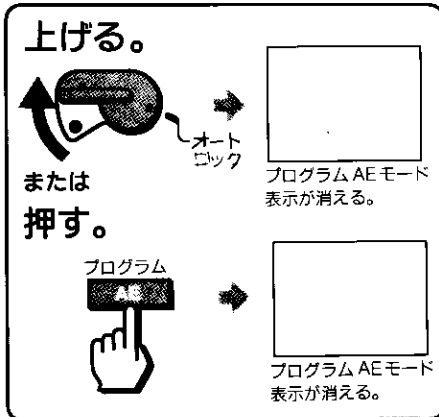
### 高速シャッターモードは

動きの速い被写体のぶれをさらに少なく写します。明るい光源が必要です。シャッター速度は1/4000に固定されます(通常時は1/60)。ノイズやぶれのない静止画で再生するには、クリーンシチルが可能な8ミリビデオデッキが必要です。

目的に合わせて撮る



### 自動調節に戻す



- 手動ピント合わせ → 40
- 明るさを調節する → 42

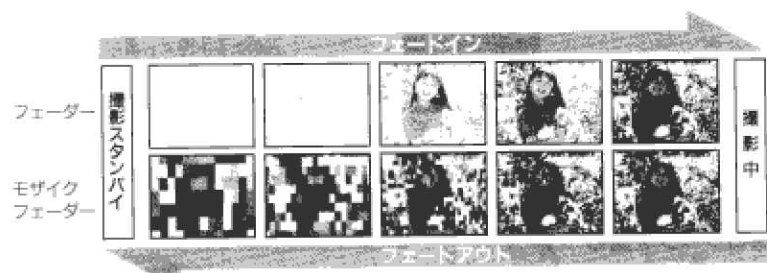
# フェードイン・フェードアウトする

# ある部分だけ撮り直す

**説明** 白またはモザイクの画面から段々と画像と音を出したり（フェードイン）、消したり（フェードアウト）することができます。

**使う?** 場面の始めや終わりなど、場面転換にちょっとした演出効果を楽しみたいとき。

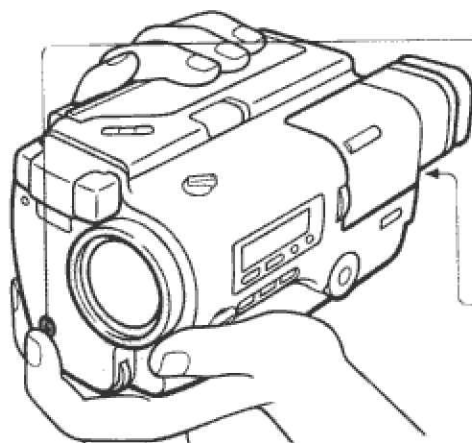
**説明** 撮影スタンバイ中に、撮り直したい部分の始めと終わりを決めて、その部分だけ新しく撮り直すことができます。



フェードインのとき



フェードアウトのとき



**1 押す。**

フェーダー

フェーダー表示

フェーダー

モザイクフェーダー

押すたびに

フェーダー表示が点滅する。

**2 押す。**

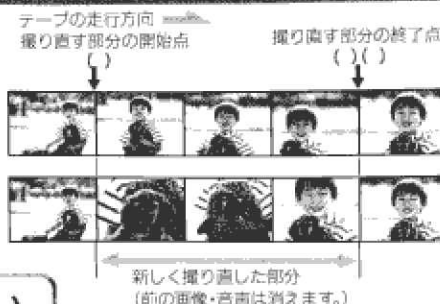
モザイクフェーダー

フェーダー表示が点灯になり、フェードインまたはフェードアウト後に消える。



- 場面転換を工夫する (シーンチェンジ) → 52
- 画像におもしろ効果を加える (エフェクト) → 56

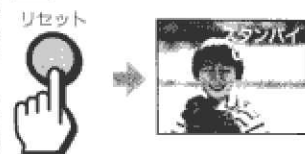
- ④ フェードイン・フェードアウトは行われるたびに解除されます。
- ⑤ 行う前に解除するときはフェーダーボタンを押して、フェーダー表示を消します。



**1 押し続け、撮り直したい部分の終了点( )で離す。**



**2 押す。**



**3 押し続け、撮り直したい部分の開始点( )で離す。**



**4 押す。**



**5 本機を被写体に向けてから押す。**



新しく撮り直される。終了点( ) (0:00:00付近)で再び撮影スタンバイになる。

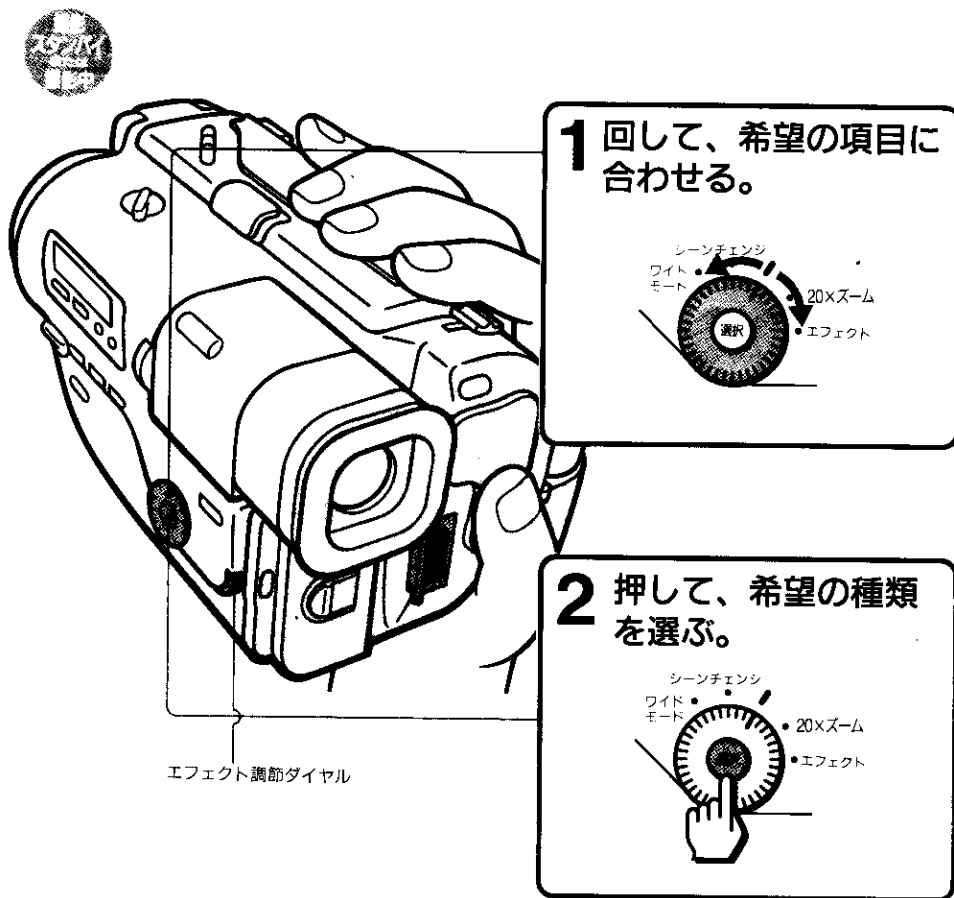


- 撮影内容を確認する → 28
- 見たい場面に戻す (ゼロメモリ) → 68
- インサート編集 → 69

フェードイン・フェードアウトする／ある部分だけ撮り直す

# デジタルピクチャー(おもしろ画面)について

**説明** デジタルピクチャー機能でおもしろい画像を作ったり、テレビのような場面転換をしたりすることができます。右ページの表をご覧ください。



項目 デジタルピクチャー ダイヤルで選ぶ	種類 デジタルピクチャー 選択ボタンで選ぶ	おもしろ画面 の例	参照ページ
ワイドモード	シネマ フル	 	「横長の画面にする」 50ページ
シーンチェンジ	オーバーラップ センターワイブ フルスライド ステップスライド ブラインド	 	「場面転換を工夫する」 52ページ
20×ズーム			「20倍ズームする」 55ページ
エフェクト*	スタイル エキスパンド フラッシュ モザイク スローシャッター ソラリ	 	「画像におもしろ効果 を加える」 56ページ

\*エフェクトでは、デジタルピクチャー選択ボタンで項目を選んだ後、エフェクト調節ダイヤルで効果の度合いを調節できます。(56ページ)

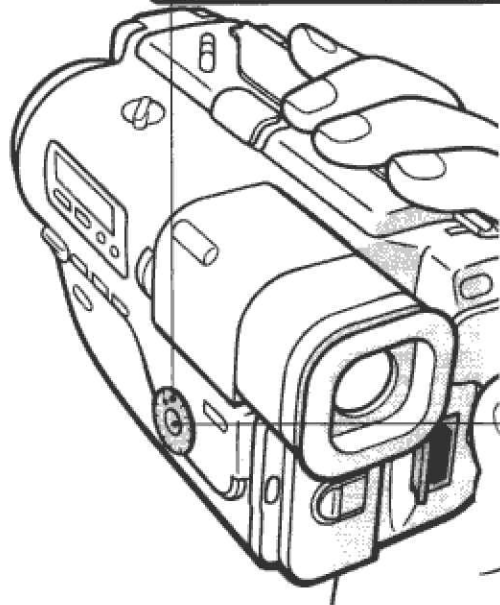
デジタルピクチャー(おもしろ画面)について

# 横長の画面にする—ワイドモード

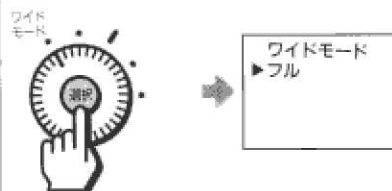
**説明** 映画のように横長の画面で記録したり、撮影後に横長(ワイド)テレビで画面いっぱいに見えるように記録したりできます。



## 1 「ワイドモード」に合わせる。



## 2 押す。

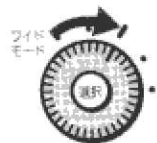


押すたびに、次のように表示と画像が変わる。







→シネマ → フル→

## ワイドモードを解除する

緑色の  マークに合わせる。




## ワイドモードの種類

ワイドモード表示	説明	画像例 撮影時の画像	再生時の画像
シネマ	画面の上下に黒い帯が出る。	ファインダー シネマ 	テレビ  横長テレビ  テレビをズームモードに切り換えれば、画面いっぱいに見られます。
フル	撮影時の画像が縦長に圧縮される。ハイビジョンテレビなど横縦比16:9の横長テレビで再生すると、画面いっぱいに画像が映るように記録される。	ファインダー フル 	テレビ  横長テレビ  テレビをフルモードに切り換える。

横長の画面にする—ワイドモード

⑥ 「フル」で記録したテープを横長テレビで見るときは画面の横縦比が16:9のモード(フルモード)に、テレビの画面モードを切り換えてください。通常の4:3のモード(ノーマルモード)では、縦長に圧縮された画像になります。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

⑦ 「フル」を選ぶと手振れ補正は働きません。手振れ補正が働いているときに「フル」を選ぶと  が点滅します。

⑧ 日付・時刻表示は「フル」で記録すると、横長テレビで見るとは横長の字になります。「シネマ」で記録すると、上下の黒い帯のところに記録されます。横長テレビのズームモードでは見られないことがあります。

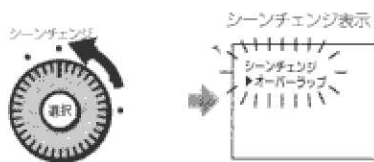
⑨ 電源をはずさない限り、デジタルピクチャーダイヤルを動かしても、前に選んだワイドモードの種類が記憶されています。電源をはずして5分以上たつと、「シネマ」になります。

# 場面転換を工夫する——シーンチェンジ

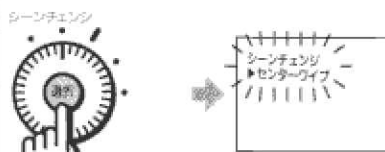
**説明** テレビや映画のように、次の画像を重ねて出したり、端から流れるように出したりして効果的な場面転換を工夫することができます。種類は54ページをご覧ください。

撮影中

## 1 「シーンチェンジ」に合わせる。



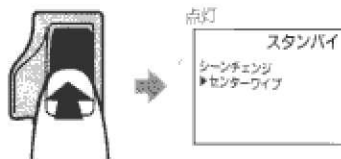
## 2 押して、シーンチェンジの種類を選ぶ。



押すたびに次のように表示が変わる。  
(54ページ)  
オーバーラップ → センターワイブ → フルスライド  
ブラインド ← ステップスライド ←

## 3 押す。

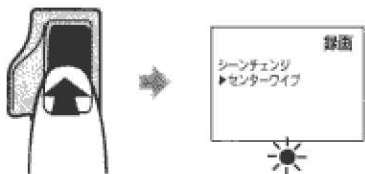
最後に撮った場面が記憶されて撮影スタンバイになる。



④ 次の場面を撮影するまで、次のことはしないでください。シーンチェンジができません。

- ・スタンバイカバーを開める。
- ・電源スイッチを動かす。
- ・電源を取りはずす。
- ・デジタルピクチャーダイヤルを回す。
- ・エディットサーチボタンを押す。

## 4 5分以内に押して、次の場面の撮影を始める。



シーンチェンジが行われる。

## シーンチェンジのしくみ

テープの走行方向



記憶されている場面にデジタル処理をしながら、次の場面の撮影が始まります。音声は、シーンチェンジの開始時から次の場面の音声が入ります。

## シーンチェンジを解除する

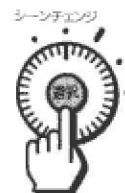
緑色の / マークに合わせる。



⑤ シーンチェンジ中はシーンチェンジの種類を変えられません。

## シーンチェンジの種類を変える

シーンチェンジ表示が点灯中または点滅中に押す。



最後に撮った場面を記憶させて、撮影スタンバイになっているときは変えられない。

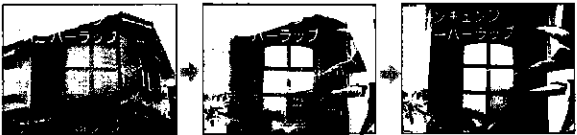






- ・シーンチェンジの種類 → 54
- ・デジタルピクチャーについて → 48

場面転換を工夫する——シーンチェンジ

# 場面転換を工夫するーシーンチェンジ(つづき)

## シーンチェンジの種類

シーンチェンジ表示	説明	画像例
オーバーラップ	最後の場面から、次の撮影の場面がだんだんと浮き上がってくる。	
センターワイプ	最後の場面が2つに分かれて、両はしに消えていくにつれ、次の撮影の場面が見えてくる。	
フルスライド	最後の場面が右に動いていくにつれ、次の撮影の場面が見えてくる。	
ステップスライド	最後の場面が、上から1/3ずつ右・左・右…と動いていくにつれ、次の撮影の場面が見えてくる。	
ブラインド	画面の両はしから、棒が組み合わされるように、次の撮影の場面が出てくる。	

# 20倍ズームする——20×ズーム

**説明** レンズで8倍にズームした画像を、さらにデジタル処理して最高20倍までズームできます。

④ 8倍を超えると、デジタル処理をするため望遠(T)側にするほど画質が低下します。  
ピントが合うのに必要な被写体との距離は？  
W側で約1cm以上、T側で約90cm以上です。

## 1 「20×ズーム」に合わせる。



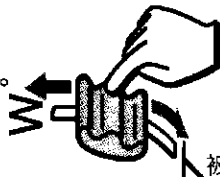
20×ズーム表示



## 2 左右に動かす。

ちょっと動かすとゆっくりズームし、さらに動かすと速くズームする。リモコンでは速くなりません。

被写体が小さくなる。



被写体が大きくなる。

広角

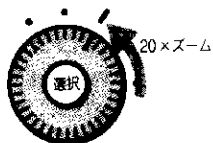


望遠

動かしている間だけ出る。

## 20×ズームを解除する

緑色のIマークに合わせる。



- ズーム ——→ 24
- エキスパン ——→ 57
- 本機のズーム機能について ——→ 85
- 手動ピント合わせ ——→ 40

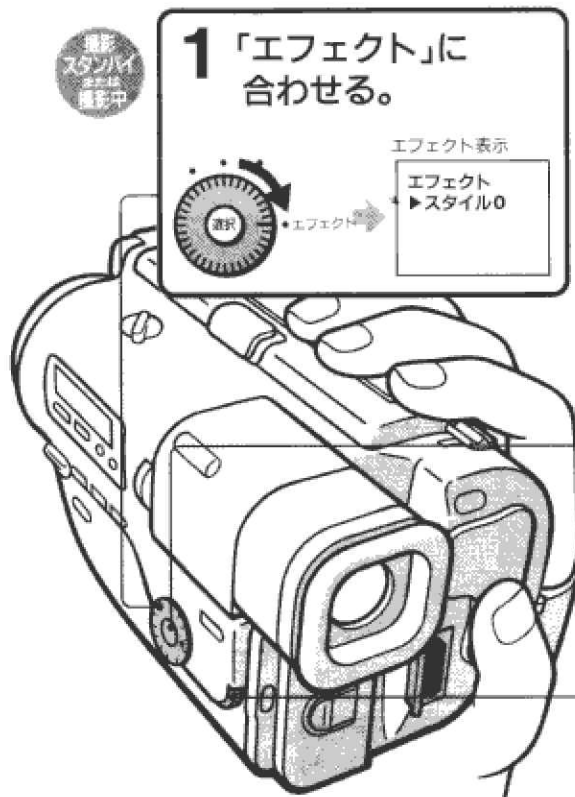
場面転換を工夫する シーンチェンジ(つづき) / 20倍ズームする / 20×ズーム



# 画像におもしろ効果を加える—エフェクト

**説明** 画像にデジタル処理をして、右ページのようなおもしろい画像を作ることができます。

④「エフェクト」ではデジタル処理をするため、画質が低下します。



## 1 「エフェクト」に合わせる。

エフェクト表示

エフェクト  
▶スタイル0

## 2 押し続けて、希望のエフェクト表示が出たら離す。

選んだエフェクトの画像になる。繰り返し押したときは、押すたびにエフェクト表示と画像が変わる。



エフェクト  
▶モザイク0

エフェクト表示は、次のように変わる。

◀スタイル→エクスパンド→フラッシュ→ソラリ→スローシャッター→モザイク

## 3 回す。

効果の度合いを調節する。



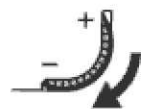
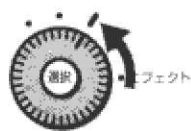
エフェクト  
▶モザイク1

効果の度合いを大きくするほど、画質が低下します。

## エフェクトを解除する

緑色のマークに合わせる。

または  
「0」にする。



④ 電源をはずさない限り、デジタルピクチャー選択ボタンを押したり、デジタルピクチャーダイヤルを動かしたりしても、前に選んだエフェクトの種類が記憶されています。電源をはずして5分以上たつと、「スタイル0」になります。

## エフェクトの種類

エフェクト表示	説明	画像例
スタイル ↔4~0~↔4	画像を横長(⇨)や縦長(⇩)に拡大する。大きい数ほど拡大する。	
エクスパンド 0~6	画像の中央部分をデジタル処理して最大64倍まで拡大できる。手振れを防ぐために、三脚または手振れ補正機能の使用をおすすめします。	
フラッシュ0~4	コマ送りのように、静止画を連続して記録する。大きい数ほど静止画と静止画との間隔が長くなる。	
モザイク0~4	タイルを組み合わせたようなモザイク画像にする。大きい数ほどモザイクが大きくなる。	
スローシャッター 0~4	暗い被写体を明るく撮りたいときや、残像画像のようにしたいときに使う。大きい数ほど明るくなり、長い影を引く。	
ソラリ0~3	明暗をはっきりさせたイラストのような画像にする。大きい数ほど、のっぺりした感じになる。	

### スローシャッターについて

- ・自動的に④が出て、手動ピント合わせになります。(40ページ)
- ・画面に白点が出る場合がありますが、故障ではありません。

### 「フラッシュ」・「モザイク」・「スローシャッター」を選ぶと手振れ補正は働きます。

手振れ補正が働いているときに「フラッシュ」・「モザイク」・「スローシャッター」を選ぶと④が点滅します。

画像におもしろ効果を加える エフェクト

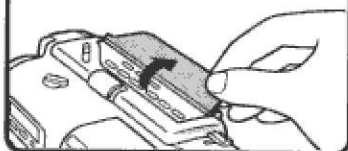
# メニューによる各種設定

**説明** 海外での時計合わせ、リモコンを使わないなどの設定の確認や変更を、一覧形式で行えます。

**使う?** 右ページのように、海外旅行などで現地の時刻に合わせてときや、ビデオ編集のときなど。

標準スタンバイまたはビデオのとき

## 1 開ける。



## 2 押す。



ファインダー内

メニュー		トウキョウ
▶エリア		入
サマータイム	● 切	入
Hi8	● オート	切
リモコン	● 入	切
エディット	● 切	入
バイリンガル	● 切	メイン サブ
[メニュー]で終了		

印の項目は、電源スイッチが「ビデオ」のときにだけ出ます。

## 3 押して▶を希望の項目に合わせる。



項目

メニュー		トウキョウ
▶エリア	●	入
サマータイム	●	切
Hi8	●	オート
リモコン	●	入
エディット	●	切
バイリンガル	●	メイン サブ
[メニュー]で終了		

押すたびに

## 4 押して●を希望の設定に合わせる。



押すたびに

メニュー		トウキョウ
▶エリア	●	入
サマータイム	●	切
Hi8	●	オート
リモコン	●	入
エディット	●	切
バイリンガル	●	メイン サブ
[メニュー]で終了		

## 5 必要なだけ手順3, 4を繰り返す。

メニューをテレビ画面に出して設定できます。

- 1 本機の画像をテレビで見られる状態にする。(31ページ)
- 2 リモコンの画面表示ボタンを押す。
- 3 あとの手順は図の通り。

### メニューを消す

押す。



## 各設定項目の説明

お買い上げ時は●側に設定されています。

項目 項目 で選ぶ	設定 設定 で選ぶ	意味	どんなとき
エリア	都市表示 (お買い上げ時は「トウキョウ」)	その都市がある時差帯(62-63ページ)の時刻になる。	海外旅行で、現地の時刻に合わせてときなど。 合わせたい時差帯の都市表示を選びます。
サマータイム	●切 入	通常時刻を表示する。 通常時刻より1時間進んだ時刻(サマータイム)を表示する。	国内で使うときや、海外でサマータイムでないとき。 サマータイムを実施しているとき。
Hi8	●オート 切	Hi8(ハイエイト)テープはHi8方式でスタンダード8ミリテープはスタンダード方式で記録する。 Hi8(ハイエイト)テープもスタンダード方式で記録する。	通常はこの位置へ。 Hi8(ハイエイト)テープを、スタンダード方式のビデオデッキで再生するつもりで記録するとき。
リモコン	●入 切	付属のチケットリモコンがはたらく。●端子も、はたらく。 リモコンがはたらくない。●端子は、はたらく。	通常はこの位置へ。 他機のリモコンによって誤動作するときなど。
エディット	●切 入	編集時の画質劣化を低減する。	通常は必ずこの位置へ。 ダビング・編集で本機を再生機として使うとき。
バイリンガル	●切 メイン サブ	ステレオ音声または主+副音声で再生する。 モノラル音声または主音声で再生する。 副音声で再生する。	→詳しくは71ページ

- 以前に設定した内容について
- リチウム電池が入っていれば、電源をはずしても次のように保持されます。
  - 「エリア」と「サマータイム」は設定を変えるまで
  - それ以外の項目は5分以内



● 海外の現地時間に合わせる → 60

## 海外の現地時間に合わせる

**説明** メニューの「エリア」で都市名を選ぶだけで、簡単に海外の現地時間に合わせることができます。

**UD 使う?** 海外旅行に本機を持っていくときなど。



### 1 メニューを出す。



### 2 都市表示を選ぶ。

都市表示は、62ページの地図中の「」で囲まれた都市名です。



### 3 現地がサマータイムのとき

サマータイムでないときは手順4に進む。サマータイムの実施については旅行代理店などでおたすねください。

1 押して「サマータイム」にする。



2 押して「入」にする。

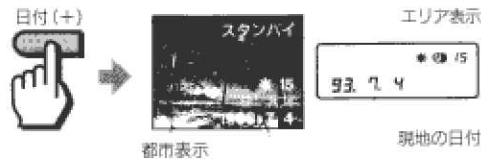


### 4 メニューを消す。



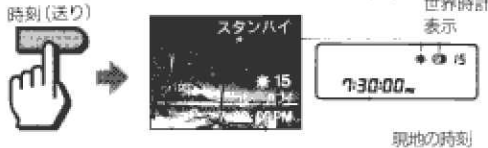
### 日付を確認する

押す。



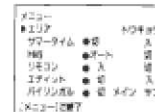
### 時刻を確認する

押す。



### 日本時間に戻す

メニューで、「エリア」を「トウキョウ」に、「サマータイム」を「●切」にする。



- 海外旅行から戻ってきたら忘れずに日本時間に戻しましょう。サマータイムも解除してください。
- エリア表示、都市表示はテープに記録されません。
- サマータイムについて「サマータイム」は一部の国で「Daylight Savings Time(D.S.T.)」と呼ばれています。



● 世界時差表(都市表示) → 62

# メニューによる各種設定(つづき)

## 世界時差表

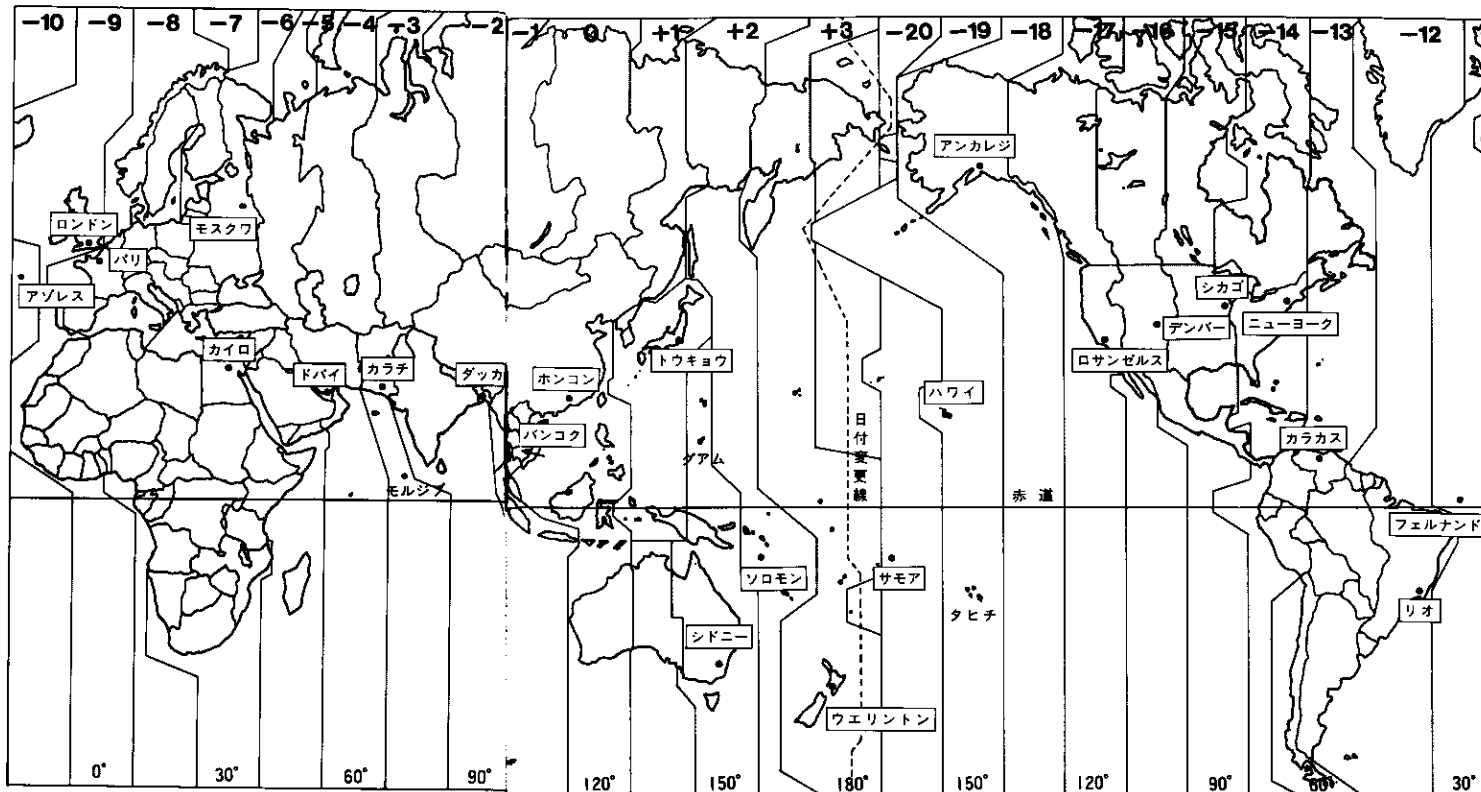
旅行先のエリア表示や都市表示を選ぶときにお使いください。エリア表示は、地図の下にある1~24の番号です。都市表示は、地図中の□で囲まれた都市名です。

例：日本→ロサンゼルス→グアム→  
日本と旅行するとき

ロサンゼルスで「17 ロサンゼルス」表示を出す。

グアムで「11 シドニー」表示を出す(グアムとシドニーは同じ時差帯)。

日本に戻ったら「10 トウキョウ」に戻す。



エリア表示	24	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23							
日本との時差	-10	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	-20	-19	-18	-17	-16	-15	-14	-13	-12	-11							
代表的な国名(略称。一部、地名・標準時名。)	アソレス諸島(ポルトガル)	グリニッジ標準時(GMT)・イギリス	ポルトガル	中央ヨーロッパ標準時(CET)・イタリア	オーストリア・オランダ・スイス・フランス	スウェーデン・スペイン・ドイツ・フランス	イスラエル・エジプト・ギリシャ・トルコ	イラク・ケニア・サウジアラビア	旧ソビエト西部(モスクワ)	アラブ首長国連邦	パキスタン・モルジブ	インド・バングラデシュ・ミャンマー	台湾・中国・フィリピン・香港・マレーシア	オーストラリア(西部)・インドネシア(バリ島・ポルトネオ島)	カンボジア・タイ・ベトナム	インドネシア(ジャカルタ)	日本・大韓民国	オーストラリア(東部)・シンガポール	ニュージーランド・フィジー	ニウカレドニア	ゴールドコースト・グアム・サイパン	西サモア	米国ハワイ標準時(HST)(ハワイ)・タヒチ	米国アラスカ標準時(AST)	(サンフランシスコ・ロサンゼルス) 米国太平洋標準時(PST)・カナダ西海岸	(サンフランシスコ) 米国山地標準時(MST)・デンバー	メキシコ	米国中部標準時(CST)・シカゴ・ダラス	チリ・ペネズエラ	アルゼンチン・ブラジル	フェルナンドデノロニャ島(ブラジル)

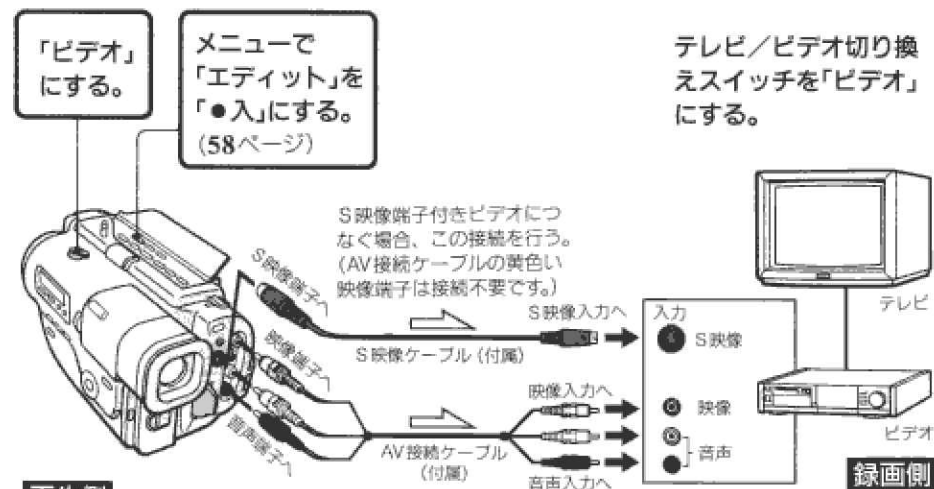
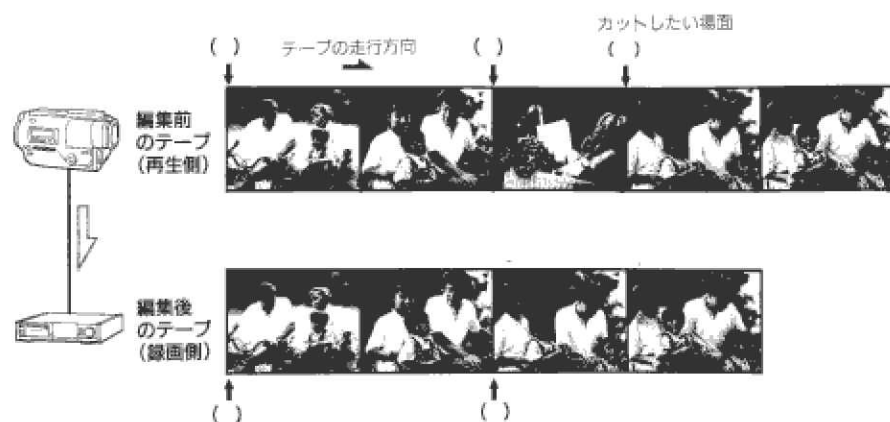
メニューによる各種設定(つづき)

# 他のビデオへ録画する

別売りのハンディカムステーションHSA-V500をお持ちの方は、ビデオアクセサリキットの取扱説明書の「他のビデオへ録画する」をご覧ください。

**説明** 本機を再生機、他のビデオを録画機として使い、ダビングしたり、不要な場面を取り去ったりなど、ビデオ編集ができます。テープを再生すると、本機から映像と音声自動的に出力されます。録画側のビデオは、**B・Hi8**方式だけでなく、**ED Beta**・**Hi8**・**VHS**・**VHS-C**・**SVHS**・**SVHS-C**方式のどのビデオでも使えます。

**準備** 下の接続と準備をします（接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください）。



「ビデオ」にする。  
メニューで「エディット」を「●入」にする。  
(58ページ)

テレビ/ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。

再生側

録画側

→ : 信号の流れ

入力切り換えスイッチを「外部入力(ライン)」にする。

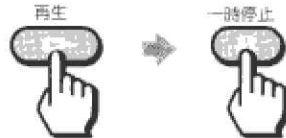
※ ビデオの音声入力端子がひとつの場合

AV接続ケーブル(付属)の黄色のプラグを映像入力へ、白いプラグを音声入力へつなぐ。(赤いプラグはどちらにもつなぎません。音声はモノラルです。)



**1** 本機に撮影済みのカセットを、他のビデオ(録画側)に録画用のカセットを入れる。

**2** 本機に入れたカセットを再生し、ビデオ(録画側)に録画したい場面でII一時停止ボタンを押す( )。



**3** ビデオ(録画側)を録画一時停止状態にする( )。

**4** 両方の一時停止状態を同時に解除する。



本機で再生している映像・音声はビデオ(録画側)に録画される。

**5** カットしたい場面があれば、ビデオ(録画側)を録画一時停止状態にし( )、手順2と4を繰り返す。

① 他のビデオへのダビング・編集が終わったら  
必ずメニューで「エディット」を「●切」にしてください。

② 画面表示(33ページ)は消してください。  
表示内容がテープに記録されています。出ているときは、リモコンの画面表示ボタンを押して消します。

逆方向再生もできます。  
本機は、再生一時停止のときに、エディットサーチボタンを押し続けると、正方向・逆方向再生ができます。また、チョンチョンと押せば、コマ送りのように再生できます。音声は出ません。



- メニューによる各種設定 → 58
- ビデオやテレビの画像を録画する → 66
- 記録・再生方式について → 70

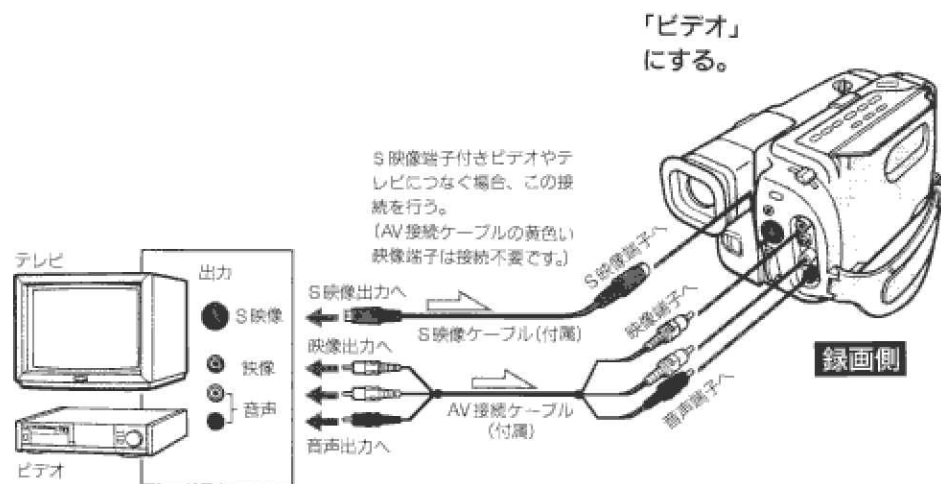
# ビデオやテレビの画像を録画する

**説明** 本機を録画機として使い、他のビデオの画像やテレビ番組を録画・編集できます。

本機で録画を始めると、ビデオやテレビの映像と音声自動的に入力されて記録されます。

再生側のビデオは、**B・Hi8**方式だけでなく、**ED Beta**・**B**・**MHS**・**MISQ**・**SVHS**・**SWISO**方式のどのビデオでも使えます。

**注意** 下の接続と準備をします（接続する機器の取扱説明書もあわせてご覧ください）。



## 受信/再生側

→ : 信号の流れ

④ テレビやビデオにS映像端子がない場合  
本機にもS映像ケーブルはつながないでください。

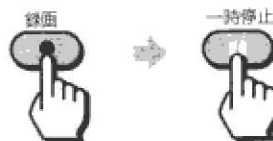
ビデオやテレビの音声出力端子がひとつの場合

AV接続ケーブル(付属)の黄色のプラグを映像出力へ、白いプラグを音声出力へつなぐ。(赤いプラグはどちらにもつなぎません。音声はモノラルです。)

- 映像
- 音声

**1** 本機に録画用のカセットを入れる。

**2** 録画ボタンを押し、すぐに一時停止ボタンを押す。



録画一時停止状態になる。

**3** ビデオやテレビの画像をファインダーで確認する。

**4** 録画したい場面でもう1度一時停止ボタンを押す。



録画が始まる。

録画される画像は録画一時停止中または録画中にのみ、ファインダーに出ます。

ファインシクロエディット対応

ファインシクロエディット機能を持つビデオデッキと本機のリモート端子(6ページ)をLANCケーブルでつなげば、より精度の高い編集ができます。

ビデオやテレビの画像を録画する

録画を止める

録画一時停止する



- メニューによる各種設定 → 58
- 他のビデオへ録画する → 64
- 記録・再生方式について → 70

# 見たい場面に戻す—ゼロメモリー機能

**説明** カウンター値「0:00:00」(ゼロ地点)まで巻き戻しや早送りをして、自動的に停止するようにできます。

**いつ使う?** 再生中に、後でもう1度見たいと思う場面があったときなど。

**再生中**

**1** 後でもう1度見たいと思う場面で押す。

リセット

**2** 再生し終わったら押す。

停止

**3** 押す。

ゼロメモリー

**4** 押す。

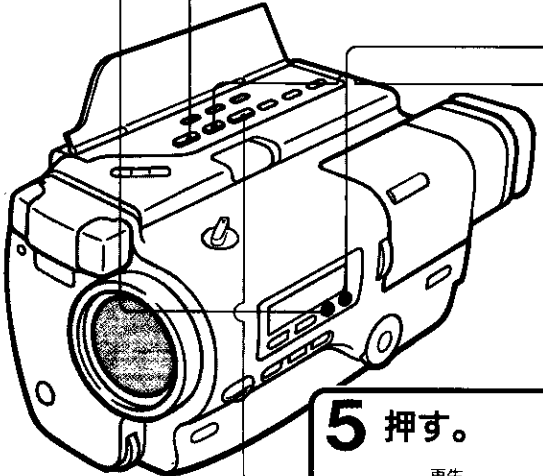
巻戻し

テープが「0:00:00」付近で停止する。

**5** 押す。

再生

見たい場面から再生される。



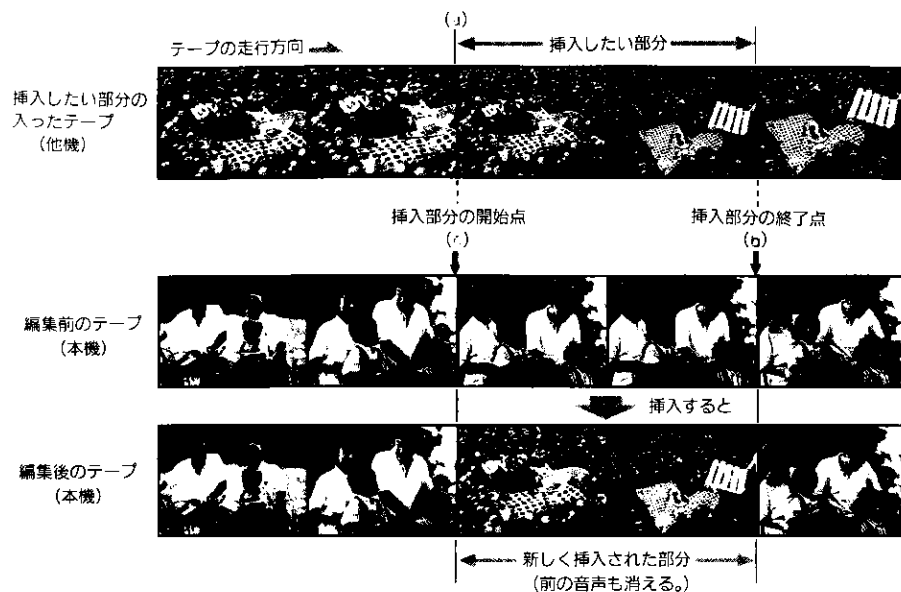
**⑥ 実行する前に取り消す場合**  
巻戻しボタンを押す前に、もう1度ゼロメモリーボタンを押し、「ゼロメモリー」表示を消します。

**⑦ カウンター値と実際の時間について**  
多少の誤差が出ます。早送りや巻き戻しの繰り返し、SP・LPモードが混ざって記録されたテープ、無記録部分が混じったテープの場合、数秒の誤差が出る場合があります。

# 記録済みテープに新しく画像を挿入する

**説明** 撮影、録画済みテープの指定した部分に、他のビデオからの映像・音声を挿入(インサート編集)できます。

**準備** 66ページの接続と準備をし、他機に挿入したい部分の入ったテープを入れておきます。



- 1** 他機(再生側)で、挿入したい部分の始め (a) を探し、再生一時停止状態にする。
- 2** 本機で、挿入部分の終了点 (b) を探し、再生一時停止状態にする。ピクチャーサーチ(35ページ)を使うと便利です。
- 3** 本機のカウンターリセットボタンを押す。  
カウンター値が、「0:00:00」になる。
- 4** 本機で、挿入部分の開始点 (a) を探し、録画一時停止状態にする。
- 5** ゼロメモリーボタンを押す。  
「ゼロメモリー」がファインダーと表示窓に点滅し、挿入部分の位置が記憶される。
- 6** ビデオと本機の一時停止状態を同時に解除する。  
本機の挿入部分に、新たにビデオ(再生側)の映像・音声が録画され始める。カウンター値「0:00:00」付近で、本機は自動的に録画一時停止になり、インサート編集が終わる。

**終了点の位置を変える**

手順5のあとでゼロメモリーボタンをもう1度押し、「ゼロメモリー」表示を消して、手順2からやり直す。

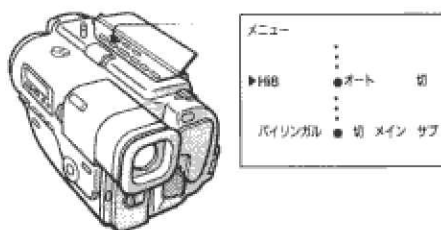
新しく挿入された部分を再生すると、終了点の画像が乱れることがありますが、故障ではありません。

見たい場面に戻す—機能/記録済みテープに新しく画像を挿入する





# 使えるビデオカセットテープと記録・再生方式について

**説明** 本機では、Hi8(ハイエイト)テープ **Hi8** とスタンダード8ミリテープ **8** が使えます。Hi8(ハイエイト)方式で記録するときは、Hi8(ハイエイト)テープ **Hi8** をお使いください。  
Hi8(ハイエイト)方式は、スタンダード8ミリ方式を元に、さらに高画質・高解像度を追求するために開発された方式です。



## 記録するとき

お買い上げ時は、Hi8(ハイエイト)テープ **Hi8** はHi8(ハイエイト)方式で、スタンダード8ミリテープ **8** はスタンダード8ミリ方式で記録されるように設定されています。

テープの種類	記録したい方式	メニューの「Hi8」の設定
Hi8(ハイエイト)テープ 	<b>Hi8</b> Hi8(ハイエイト)方式	「●オート」にする。
	<b>8</b> スタンダード8ミリ方式	「●切」にする。
スタンダード8ミリテープ 	<b>8</b> スタンダード8ミリ方式	どちらでもよい。

① 本機で撮影した画像は、通常のHi8方式より、水平解像度が10%ほど低下します。

② Hi8(ハイエイト)方式で記録したときは、スタンダード方式8ミリビデオで正常に再生できません。

③ スタンダード8ミリテープについて  
Hi8(ハイエイト)方式の記録・再生はできません。

④ 間違っても消さないために  
カセットの背にあるつまみを横にずらして「赤」にする。



録画できない (誤消去防止状態)      録画できる

・カセットは裏返して使えません。  
・カセット裏面の穴に物を入れないでください。

⑤ Hi8(ハイエイト)テープを、スタンダード8ミリ方式で記録するとき  
メニューの「Hi8」を「●切」にしてください。(58ページ)



⑥ 本機では、LPモードで記録できません。

## 再生するとき

Hi8の高解像度を得るために、S映像ケーブルを使って接続することをおすすめします。

メニューの「Hi8」の設定に関係なく、記録済みテープの記録方式を自動的に判別して再生します。また、SPモードで記録したテープも、LPモードで記録したテープも、自動的に判別されて再生します。

ただし、LPモードの画質はSPモードより劣ります。

テープの種類	記録時の方式	再生方式
Hi8(ハイエイト)テープ 	<b>Hi8</b> Hi8(ハイエイト)方式	<b>Hi8</b> Hi8(ハイエイト)方式
	<b>8</b> スタンダード8ミリ方式	<b>8</b> スタンダード8ミリ方式
スタンダード8ミリテープ 	<b>8</b> スタンダード8ミリ方式	<b>8</b> スタンダード8ミリ方式

## 音声多重放送テープを再生するとき

AFM Hi-Fiステレオ方式で二重音声放送を記録したテープを再生するときは、下の表のように、必要に応じてメニューの「バイリンガル」を設定してください(58ページ)。本機でステレオ放送は記録できますが、二重音声放送は記録できません。

メニューの「バイリンガル」の設定	テレビのスピーカーから聞こえる音声	
	ステレオ放送を記録したテープ	二重音声放送を記録したテープ
「●切」にする。	ステレオ音声	主音声+副音声
「●メイン」にする。	モノラル音声	主音声
「●サブ」にする。	不自然な音声になります。	副音声

⑦ 外国製のビデオソフトについて  
カラーテレビ方式が異なるため、本機で再生できないものがあります。

⑧ 次の場合、音声はモノラルです。  
・本機のAFM Hi-Fiステレオ方式で記録したテープをモノラル方式の8ミリビデオで再生する場合  
・モノラル方式の8ミリビデオで記録したテープを本機で再生する場合

⑨ LPモードで記録したテープを再生すると  
ファインダーと表示窓に、LPモード表示が出ます。

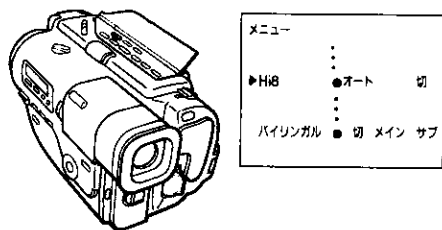


- メニューによる各種設定 → 58
- 撮影する → 22
- テレビで見る → 31
- 映像/音声入力端子付きテレビやビデオにつなぐ → 32





# 使えるビデオカセットテープと記録・再生方式について

**説明** 本機では、Hi8(ハイエイト)テープ **Hi8** とスタンダード8ミリテープ **8** が使えます。Hi8(ハイエイト)方式で記録するときは、Hi8(ハイエイト)テープ **Hi8** をお使いください。  
Hi8(ハイエイト)方式は、スタンダード8ミリ方式を元に、さらに高画質・高解像度を追求するために開発された方式です。



## 記録するとき

お買い上げ時は、Hi8(ハイエイト)テープ **Hi8** はHi8(ハイエイト)方式で、スタンダード8ミリテープ **8** はスタンダード8ミリ方式で記録されるように設定されています。

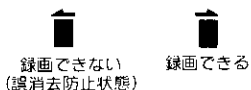
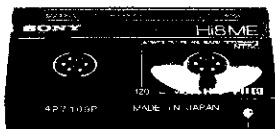
テープの種類	記録したい方式	メニューの「Hi8」の設定
Hi8(ハイエイト)テープ 	<b>Hi8</b> Hi8(ハイエイト)方式	「●オート」にする。
	<b>8</b> スタンダード8ミリ方式	「●切」にする。
スタンダード8ミリテープ 	<b>8</b> スタンダード8ミリ方式	どちらでもよい。

④ 本機で撮影した画像は、通常のHi8方式より、水平解像度が15%ほど低下します。(水平解像度約380本)

⑤ Hi8(ハイエイト)方式で記録したときは、スタンダード方式8ミリビデオで正常に再生できません。

⑥ スタンダード8ミリテープについて  
Hi8(ハイエイト)方式の記録・再生はできません。

⑦ 間違っても消さないために  
カセットの背にあるつまみを横にずらして「赤」にする。



- ・カセットは裏返して使えません。
- ・カセット裏面の穴に物を入れないでください。

Hi8(ハイエイト)テープを、スタンダード8ミリ方式で記録するとき  
メニューの「Hi8」を「●切」にしてください。(58ページ)

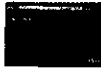

本機では、LPモードで記録できません。

## 再生するとき

Hi8の高解像度を得るために、S映像ケーブルを使って接続することをおすすめします。

メニューの「Hi8」の設定に関係なく、記録済みテープの記録方式を自動的に判別して再生します。また、SPモードで記録したテープも、LPモードで記録したテープも、自動的に判別されて再生します。

ただし、LPモードの画質はSPモードより劣ります。

テープの種類	記録時の方式	再生方式
Hi8(ハイエイト)テープ 	<b>Hi8</b> Hi8(ハイエイト)方式	<b>Hi8</b> Hi8(ハイエイト)方式
	<b>8</b> スタンダード8ミリ方式	<b>8</b> スタンダード8ミリ方式
スタンダード8ミリテープ 	<b>8</b> スタンダード8ミリ方式	<b>8</b> スタンダード8ミリ方式

## 音声多重放送テープを再生するとき

AFM Hi-Fiステレオ方式で二重音声放送を記録したテープを再生するときは、下の表のように、必要に応じてメニューの「バイリンガル」を設定してください(58ページ)。本機でステレオ放送は記録できますが、二重音声放送は記録できません。

メニューの「バイリンガル」の設定	テレビのスピーカーから聞こえる音声	
	ステレオ放送を記録したテープ	二重音声放送を記録したテープ
「●切」にする。	ステレオ音声	主音声+副音声
「●メイン」にする。	モノラル音声	主音声
「●サブ」にする。	不自然な音声になります。	副音声

⑧ 外国製のビデオソフトについて  
カラーテレビ方式が異なるため、本機で再生できないものがあります。

⑨ 次の場合、音声はモノラルです。  
・本機のAFM Hi-Fiステレオ方式で記録したテープをモノラル方式の8ミリビデオで再生する場合  
・モノラル方式の8ミリビデオで記録したテープを本機で再生する場合

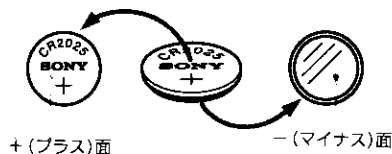
LPモードで記録したテープを再生すると  
ファインダーと表示窓に、LPモード表示が出ます。



- ・メニューによる各種設定 → 58
- ・撮影する → 22
- ・テレビで見る → 31
- ・映像/音声入力端子付きテレビやビデオにつなぐ → 32

# リチウム電池を交換する

**説明** リチウム電池の寿命は約1年です。リチウム電池は、⊕と⊖の向きを正しく入れてください。



## リモコンのリチウム電池を交換する

**説明** 裏面のネジをはずして交換します。

**準備** 市販のリチウム電池CR2025とプラスドライバーを用意します。

- 1 開ける。** リモコン裏面

ねじを回して、ふたを開ける。
- 2 取り出す。**
- 3 入れる。**

新しいリチウム電池CR2025を、⊕(プラス)面が見えるように入れる。
- 4 閉める。**

### ④ リチウム電池について

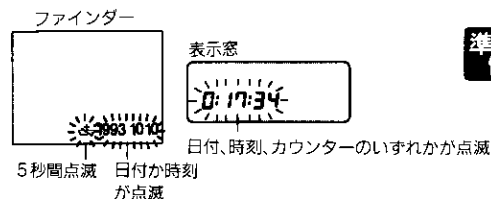
- ・ボタン型電池を誤って飲み込むことのないよう、本機および電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- ・万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。真夜中など、お近くの医師に相談できない場合には、下記に電話して指示を受けてください。  
(毒性などに関するお問い合わせ先)  
(財)日本中毒情報センター  
(24時間受け付け)  
大阪中毒 110番  
電話 06-871-9999  
つくば中毒 110番  
電話 0298-52-9999
- ・接触不良を防ぐため、使用前に電池を乾いた布でよくふいてください。
- ・分解や加熱をしたり、ショートさせたり、火の中に入れてたりしないでください。破裂するなどの危険があります。また、捨てるときは燃えないゴミとして適宜、処理してください。

## 本体のリチウム電池を交換する

**説明** 電源をつけたまま、カセットぶた内側のリチウム電池を交換します。

**使う?** 電源スイッチを「カメラ」にするとリチウム電池消耗表示が点滅するとき。

### リチウム電池消耗表示



**準備** 市販のリチウム電池CR2025を用意します。

- 1 グリップベルトをゆるめる。**  
(20ページ)
- 2 開ける。**

ふたのスライドつまみをずらしながら、開ける。
- 3 取り出す。**

押し下げながら、引き出す。
- 4 入れる。**

新しいリチウム電池CR2025を、⊕(プラス)面が見えるように、はめ込む。
- 5 閉めて、押す。**

ふたのスライドつまみが元に戻る。

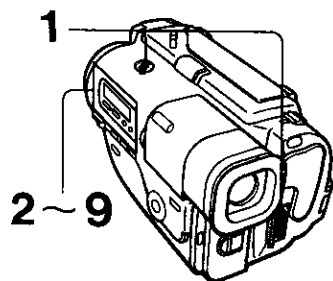
日付・時刻を合わせ直す → 74

リチウム電池と交換する

# 日付・時刻を合わせ直す

**説明** お買い上げ時には、あらかじめ日付・時刻は設定されています。リチウム電池の交換は、電源を取り付けたまま行えば、日付、時刻を合わせ直す必要はありません。

**使う?** 電源を取り付けずにリチウム電池を交換したときや、電源を取り付けていないときにリチウム電池が消耗したときなど。



途中で間違えたときは  
手順2からやり直してください。

例：日本時間の1993年7月4日午前10:30に合わせる。  
年→月→日→時→分の順で合わせます。

**1** 電源スイッチを「カメラ」にして、スタンバイカバーを開ける。

**2** ファインダー内に「1993 1 1」「10 トウキョウ」が出るまで、日付(+)ボタンと時刻(送り)ボタンを同時に2秒以上押す。

**3** 時刻(送り)ボタンを押す。  
この手順以降は、表示窓を見ながら合わせてください。  
「切」の点滅は「サマータイムにしない」という意味です。

**4** 時刻(送り)ボタンを押す。

**5** 「年」を合わせる。  
日付(+)ボタンを押して「年」を合わせ、時刻(送り)ボタンを押す。日付(+)ボタンを押すごとに1年ずつ進む。1993年に合わせるときは、時刻(送り)ボタンだけを押す。

## 日付・時刻を確認する

日付(+)ボタンを押せば日付が、時刻(送り)ボタンを押せば時刻がファインダーと表示窓に出ます。もう1度押すと消えます。

## 日付・時刻表示は次のようになります。

年： 93 94 00 22  
月： 1 2 3 12  
日： 1 2 3 31  
時： 12AM 1AM 2AM 11AM  
11PM 2PM 1PM 12PM  
分： 00 01 02 59

## 海外に長期滞在する場合などは

日本時間に合わせる代わりに、現地時間で合わせても構いません。以下の操作を行います。

- 1 日付(+)・時刻(送り)ボタンを「1993 1 1」「10 トウキョウ」が点滅するまで、同時に2秒以上押す。
- 2 日付(+)ボタンを押して、自分の滞在先のエリア表示(62ページ)を出す。
- 3 時刻(送り)ボタンを押す。
- 4 滞在地がサマータイムのときは、日付(+)ボタンを押す。表示窓に「入」が点滅する。滞在先がサマータイムでないときは、この操作をとばす。
- 5 時刻(送り)ボタンを押す。
- 6 現地時間で日付・時刻を合わせる(74ページの手順5以降と同じ)。

日付・時刻を合わせ直す

**6** 「月」を合わせる。  
日付(+)ボタンを押して「月」を合わせ、時刻(送り)ボタンを押す。日付(+)ボタンを押すごとに1つずつ進み、押し続けると早く進む。行きすぎたら、そのまま押し続ければ元に戻る。

**7** 手順6と同様に、「日」を合わせる。

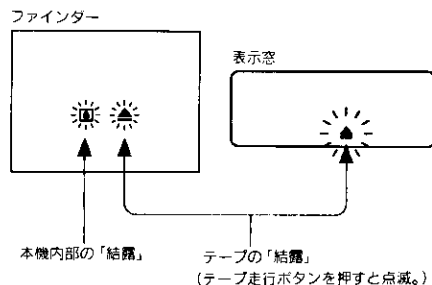
**8** 手順6と同様に、「時」を合わせる。  
真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PM。

**9** 「分」と「秒」を合わせる。  
日付(+)ボタンを押して「分」を合わせ、時報(電話117番)と同時に時刻(送り)ボタンを押す。時計が動き始める。もう1度、時刻(送り)ボタンを押すと、カウンタ表示に戻る。

**説明** 結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドや、テープ、レンズに水滴が付くことです。

テープがヘッドに貼りついて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。

結露が起きると、ファインダーと表示窓に下のよう  
に警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では出  
ません。



## 結露が起きたときは

カセットが入っているときは、直ちに取り出してください（警告表示が出ている間は、カセット取り出しボタン以外は働きません）。

電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。

電源を入れても $\odot$ が点灯せず、またカセットを入れ、テープ走行ボタンを押しても $\blacktriangle$ が点滅しなければ大丈夫です。

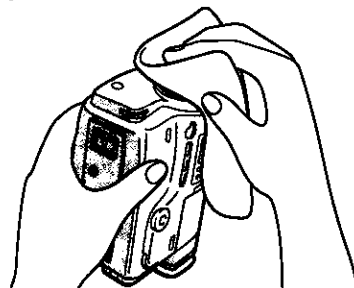
## 本体をきれいにする

**説明** 本機に汚れがついたときは、柔らかい布やティッシュペーパーなどで、きれいに拭き取りましょう。

## 本体表面のお手入れ

本体表面が汚れたときは、乾いた柔らかい布で軽く拭き取ってください。汚れがひどいときは、うすめた中性洗剤を布に含ませて拭き取ってから、からぶきします。

- ・化学ぞうきんを使うときは、その注意書きにしたがってください。
- ・アルコール、シンナー、ベンジンなどは使わないでください。本体表面が変質したり、塗装がはげたりすることがあります。



## 結露はこんなときに起こります。

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の多い場所で起こります。

- ・スキー場のゲレンデから暖房のきいた部屋へ持ち込んだとき
- ・冷房のきいた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- ・暖房を入れ始めた部屋
- ・エアコンなどの冷風が直接あたる場所
- ・スコールや夏の夕立の後
- ・温泉など高温多湿の場所

## 結露を起こりにくくする

本機を温度差の激しい暖かい場所へ持ち込むときは、本機をビニール袋に入れて、空気が入らないように密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

## レンズ表面などのお手入れ

レンズ表面やビューファインダーのほこりは、フローワーブラシか、柔らかい刷毛などでとります。汚れがひどいときは、市販のレンズクリーニングペーパーなどで拭き取ってください。

## ヘッドをきれいにする

**説明** 別売りの8ミリ用クリーニングカセットV8-25CLHなど、乾式のクリーニングカセットを使います。お買い上げ店またはソニーショップでお求めください。

- いつ使う?**
- ファインダー内に ⊗ が点滅しているとき。
  - 画面がザラついているとき。
  - 画面が不鮮明なとき。
  - 画像が出ないとき。

**準備** クリーニングカセットの取扱説明書をよく読んでください。



ビデオヘッドが汚れているときの画像



初期 → 末期  
このような画像になったらクリーニングカセットをお使いください!!

ヘッドは長期間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドが摩耗していることがあります。このときは、ヘッドの交換が必要です。お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

### 点検のおすすめ

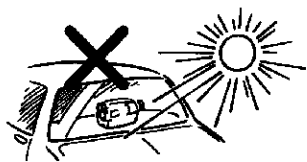
本機はビデオカメラやカラーテレビからの画像を磁気テープに記録・再生するため、非常に高い精度を必要とする機械です。特にヘッドや、ビデオテープを動かす機械部分は、長期間のご使用の間に汚れたり、摩耗したりします。いつまでも鮮明な画像をお楽しみいただくために、ご使用約1000時間を目安に点検（清掃・注油・一部の部品交換）をおすすめします。詳しくは、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

# 気をつけてください!

**説明** 楽しく正しく安全にお使いいただくために次のことに気をつけてください。別紙の「使用上のご注意」もあわせて必ずお読みください。

## 夏場の自動車内に放置しないでください。

炎天下や、夏場の閉めきった車内は、特に高温になり、キャビネットの変形や故障の原因になります。このほか、高温になる場所には置かないでください。本機の動作温度は0°C~+40°C、保存温度は-20°C~+60°Cです。



## 砂が、かからないようにしてください。

砂は、本機の大敵です。海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因となるばかりか、修理できなくなることもあります。



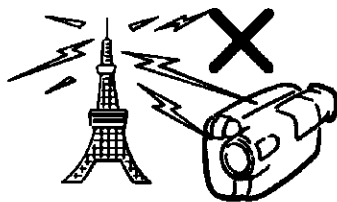
## 水に濡らさないようにしてください。

雨や海水などに濡らさないようにしてください。故障の原因となるばかりか、修理できなくなることもあります。別売りのスポーツパックと一緒に使うことをおすすめします。



## 強力な電波を出すところでは、正常な記録ができないことがあります。

電波塔など強力な電波を出すところ（強電界地域）では、画像や音声に電波の妨害を受けて、正常な撮影・録音ができないことがあります。



## 殺虫剤などをかけないでください。

本体表面に、殺虫剤やヘアスプレーをかけたり、防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品を長時間接触させないでください。本体表面が変質・変形したり、塗装がはげたりすることがあります。

お手入れについて(つづき)／気をつけてください／

# 海外で使うとき

## 本機は外国でもお使いになれます。

別売りのACパワーアダプターAC-V500は、AC100V~240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。また、バッテリーパックも充電できます。ただし、電源コンセントの形状が異なる国では、使用先の国の電源コンセントに合った変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねのうえ、ご用意ください。

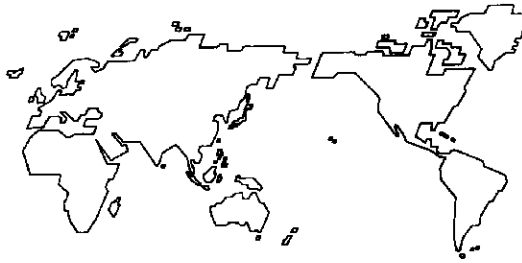
海外の電源コンセントの種類	壁のコンセントの形状例						
	使用する変換アダプター	不要です。 ACパワーアダプターのプラグを直接、差し込みます。  主に北米、南米などの場合。					

- このビデオカメラレコーダーは国内仕様です。付属している保証書は、国内のみ有効です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。（「保証書とアフターサービス」参照）
- 再生画像を見るには日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像／音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

### 日本と同じカラーテレビ方式(NTSC)を採用している国です。

(五十音順)

- アメリカ合衆国
  - エクアドル
  - エルサルバドル
  - カナダ
  - キューバ
  - グアテマラ
  - グアム
  - コスタリカ
  - コロンビア
  - スリナム
  - セントルシア
  - 大韓民国
  - 台湾
  - チリ
  - ドミニカ
  - トリニダード・トバゴ
  - ニカラグア
  - ハイチ
  - パナマ
  - バミューダ
  - バルバドス
  - フィリピン
  - プエルトリコ
  - ベネズエラ
  - ペルー
  - 米領サモア
  - ポリビア
  - ホンジュラス
  - ミクロネシア
  - ミャンマー
  - メキシコ
- (NHK 文研月報による)



# 主な仕様

## システム

録画方式	回転4ヘッドヘリカルスキャンFM、 カラーアンダー方式
録音方式	回転ヘッドFM方式
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	8ミリビデオ方式のビデオカセットテープ
テープ速度	SP 約1.43cm/秒 LP 約0.72cm/秒 (再生のみ)
録画時間	SPモード：2時間 (E6/P6-120使用時)
再生時間	SPモード：2時間 LPモード：4時間 (E6/P6-120使用時)
早送り、巻き戻し時間	約8分 (E6/P6-120使用時)
撮像素子	CCD固体撮像素子
ビューファインダー	電子ビューファインダー (カラー)
レンズ	8倍ズームレンズ f=5.9~47.2mm F1.4~2.2 (35mmカメラ換算では42~336mm) 撮影時 f=7~56mm 相当 (35mmカメラ換算では50~400mm) フィルター径 37mm TTLオートフォーカス機構付き インナーフォーカスマクロ付き
色温度切り換え	自動追尾
最低被写体照度	7ルクス (F1.4)
被写体照度範囲	7~100,000ルクス
推奨被写体照度	100ルクス以上

## 入・出力端子

S映像端子	入力/出力自動切り換え 4ピンミニDIN (1) 輝度信号：1Vp-p、75Ω不平衡、同期負 色信号：0.286Vp-p、75Ω不平衡
映像端子	入力/出力自動切り換え ピンジャック (1) 1Vp-p、75Ω 75Ω不平衡、同期負
音声端子	入力/出力自動切り換え ピンジャック (2：L、R) 入力時：-7.5dBs、 インピーダンス47kΩ以上 出力時：-7.5dBs、(47kΩ負荷時) インピーダンス2.2kΩ以下
RFU/DC出力端子	特殊ミニジャック DC5V (1)
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック (φ3.5) (1)
リモート端子	ステレオミニミニジャック (φ2.5) (1)
マイク端子	ステレオミニジャック (1)、-66dBs、 低インピーダンスマイク用 DC2.5~3V、 出力インピーダンス6.8kΩ (φ3.5)
マイクDC出力端子	特殊ミニジャック DC5V (1)
ハンディカムステーション端子	20ピン特殊コネクター

## 電源部、その他

電源電圧	バッテリー挿入口入力 7.2V ハンディカムステーション端子入力 6.5V
消費電力	カメラ録画時 6.8W
動作姿勢	水平、垂直
動作温度	0°C~+40°C
保存温度	-20°C~+60°C
最大外形寸法	101×102×173mm (幅×高さ×奥行き)
本体質量	本体 約770g (バッテリーパック、リチウム電池、テープ 含まず。)
撮影時総質量	約920g (バッテリーパックNP-500、 リチウム電池CR2025、 テープE6-120HMED 含む。)
内蔵マイクロホン	ステレオエレクトレットコンデンサーマイク

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。



## 必ずお読みください

録画内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラレコーダーやテープなどの不具合により録画や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています。

このビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

## 保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。

所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

## アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを“故障?と思ったら”の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへお買い上げ店、または添付の“サービス窓口・ご相談窓口のご案内”にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

## 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。








## 保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

## 部品の保有期間について

当社はビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店、ソニーのサービス窓口、またはお客様相談センターにお問い合わせください。ファインダーや表示窓に見慣れない表示が出たときは、86ページをご覧ください。

	こんなときは	これが原因です。	次のことを点検してください。	ページ
撮 影 中	スタート/ストップボタンを押してもテープが走行しない。	・電源スイッチが「カメラ」になっていない。 ・テープが終わりになっている。 ・カセットが誤消去防止状態になっている。 ・テープがヘッドにはりついている(結露)。	・「カメラ」にする。 ・新しいカセットを入れる。 ・そのカセットで撮るなら赤い窓を元に戻す。または新しいカセットを入れる。 ・カセットを取り出して、しばらくしてもう1度入れ直す。	22 18 70 76
	電源が途中で切れる。	撮影スタンバイ状態が5分以上続いた。	1度、スタンバイカバーを開けてからもう1度開ける。	23
	ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調節が正しくない。	視度調節する。	19
	手振れ補正が働かない。	手振れ補正が解除されている。	手振れ補正ボタンを押して、  を出す。	25
	ファインダー内で  が点滅している。	・エフェクトでフラッシュ・モザイク・スローシャッターのどれかを選んでている。 ・ワイドモードでフルを選んでている。	・手振れは補正が自動的に解除される。 ・手振れは補正が自動的に解除される。	57 51
	オートフォーカスが働かない。	・手動ピント合わせになっている。 ・オートフォーカスが働きにくい状態で影響している。 ・エフェクトで、スローシャッターを選んでている。	・フォーカスボタンを押して、  表示を消す。 ・手動でピント合わせをして撮影する。 ・オートフォーカスが自動的に解除されるため、手動ピント合わせをする。	41 40 57
	手動ピント合わせができない。	オートロックスイッチが上がっている。	下げてから、フォーカスボタンを押す。	40
	画像が実際より縦長に圧縮されて映る。	・ワイドモードで、フルを選んでている。  ・エフェクトでスタイル1~4のどれかを選んでている。	・故障ではない。撮影後、横長テレビで再生すると、画面いっぱい、圧縮されていない画像になる。 ・スタイル0にする。または、デジタルピクチャーダイヤルを緑色の  マークに合わせる。	51 56
	画像の輪郭がギザギザになっている。	・20×ズームを選んでている。 ・エフェクトで、スタイルがエキスバンドを選んでている。	故障ではない。20×ズームや、スタイル、エキスバンドを選ぶとすることがある。デジタルピクチャーダイヤルを緑色の  マークに合わせる。	55・56
	ファインダー内で画像に白点が出る。	エフェクトで、スローシャッターを選んでている。	故障ではない。スローシャッターを選ぶと出ることがある。デジタルピクチャーダイヤルを緑色の  マークに合わせる。	57
	ファインダー内で  が点滅している。	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	78
	ろうそくの火やライトなどを暗い背景で撮ると、帯状の縦線が出る。	背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象。	故障ではない。	—
	高速シャッタースピードモードで明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。	スマア現象。	故障ではない。	—

# 故障?と思ったら(つづき)

	こんなときは	これが原因です。	次のことを点検してください。	ページ
再生中	テープ走行ボタンが動かない。	・電源スイッチが「ビデオ」になっていない。 ・テープが終わりになっている。	・「ビデオ」にする。 ・テープを巻き戻す。	34 34
	画像がぼやけたり、映らなくなったりする。	・テレビのビデオ用チャンネルが正しく調整されていない。 ・メニューの「エディット」が「●入」になっている。 ・ビデオヘッドが汚れている。	・調整し直す。 ・「●切」にする。 ・別売りのクリーニングカセットできれいにする。	— 58 78
	ハンディカムステーションに取り付けて再生したが、映像も音声も出ない。	RFUアダプターがハンディカムステーションにもつないである。	本機につないだRFUアダプターを取りはずす。	—
	音声小さい。または聞こえない。	メニューの「バイリンガル」を「●サブ」にしてステレオで記録されたテープを再生している。	「●切」にする。	58
	画像が実際より縦長に圧縮されている。	ワイドモードで、フルを選んで撮影した。	故障ではない。横長テレビでないふつうのテレビで再生すると、縦長に圧縮された画像になる。	51
撮影中・再生中	電源スイッチをビデオ/カメラにしても動作しない。	・バッテリーが消耗している 入っていない。消耗が近い。 ・ACパワーアダプターのプラグや接続コードがはずれている。	・充電したバッテリーを入れる。 ・正しく差し込む。	12
	バッテリーの消耗が早い。	・温度が低い所(10°C以下)で撮っている。 ・充電量が少ない。 ・バッテリーそのものの寿命。	————— ————— ・新しいバッテリーに交換する。	17 12 —
	カセットが取り出せない。	・電源(バッテリーやACパワーアダプター)がはずれている。 ・バッテリーが消耗している。	・電源をきちんと接続する。 ・充電したバッテリーを入れる。	15・36 12
	ファインダー内で●と▲が点滅してカセット取り出しボタン以外動かない。	結露	カセットを取り出し、約1時間放置する。	76
	付属のチケトリモコンが動かない。	・リモコンのホールドスイッチが、矢印の方向(ホールド)の位置になっている。 ・メニューの「リモコン」を「●切」にしている。 ・リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。 ・リチウム電池そのものの寿命。 ・リモコンのリチウム電池の+極と-極が、正しく入っていない。	・矢印と反対の位置に戻す。 ・「●入」にする。 ・障害物を取り除く。 ・新しいリチウム電池に交換する。 ・+と-の向きを正しく入れる。	9 58 9 72 72
その他	メニュー設定をテレビ画面に出して行おうとしたが、表示が出ない。	—————	リモコンの画面表示ボタンを押す。	35
	電源スイッチが「切」のとき、本機を振ると、レンズがカタカタと鳴る。	故障ではない。	—————	—

## 五十音順



行

### 撮影スタンバイ…22ページ

「撮影を待機する・準備する」という意味。スタンバイカバーを開け、撮影一時停止で次の撮影を待機している状態。

### 視度調節…19ページ

ビューファインダー内の接眼レンズの位置を動かし、撮る人の視力に合わせて、ファインダーの画像がはっきり見えるように調節すること。



行

### ノイズ…35ページ

静止画やピクチャーサーチの画像などに出る、横すじ状の線や画像の乱れ。



行

### プログラムAE…44ページ

より被写体や撮影状況に適した撮影を可能にする機能。本機では3つのプログラムAEモードから選べる。

### ヘッド…76・78ページ

映像や音声信号をテープに記録したり、テープに記録されている信号を読み取ったりする本機の心臓部分。使っているうちに汚れて、きれいに再生できなくなったときは、クリーニングカセットを使い、きれいにする。



行

### マツハ…5ページ

本書では、音速（マツハ）のように「すばやい」という意味で使っている。



行

### リモコンモード…9ページ

リモコン信号の種類。ソニー製ビデオ機器間でのリモコンによる誤動作を防ぐために、VTR1・VTR2・VTR3の3種類ある。本機はVTR2。編集時は、他のソニー製ビデオデッキをVTR1とVTR3のどちらかに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

## アルファベット順

エーエフエム ハイファイ

### AFM Hi-Fiステレオ…5・71ページ

スタンダード方式8ミリビデオでAFM Hi-Fiモノラル方式である標準音声トラックをステレオ化したもの。臨場感にあふれ、立体感のある明瞭度の高いステレオ音声。

エヌティーエスシー

### NTSC方式…80ページ

日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式。NTSC方式で記録されたテープは、ヨーロッパなどで使われているPALやSECAM方式のビデオでは再生できない。

海外で本機を使うときは、ご注意ください。

アールエフユー

### RFUアダプター…33ページ

ビデオの映像・音声信号をテレビ電波と同じ信号に変換して、テレビの1または2チャンネル(国内仕様の場合)で再生できるようにするもの。

エス

### S映像端子…32ページ

映像信号を構成する色信号と輝度(白黒)信号を分離して、より鮮明な映像を再現する端子。Hi8(ハイエイト)方式に最適。

## 本機のズーム機能について

### ズーミング (24ページ)

光学レンズで8倍まで連続的にズームアップできる機能。

### 20×ズーム (55ページ)

光学レンズで8倍までズームアップしたものをさらに、デジタル処理をして20倍まで連続的にズームアップできる機能。

### エキスパンド (57ページ)

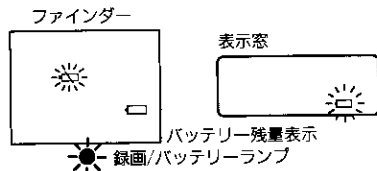
デジタル処理をして64倍まで断続的に拡大できる機能。

故障と思ったら(つづき)用語解説

# ファインダーと表示窓の表示

**説明** ファインダーと表示窓には、次のような表示が出ます。同名の表示は、いっしょに出ます。

## 警告表示

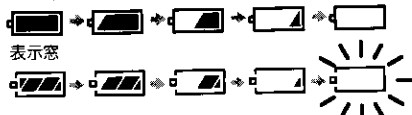


### バッテリー残量 (17ページ)

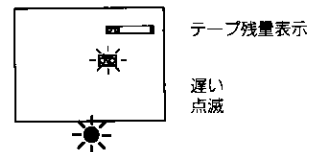
遅い点滅：消耗間近 速い点滅：完全に消耗

バッテリー残量表示

ファインダー



(残量表示が□になるとファインダーに☉マークが点滅する。)



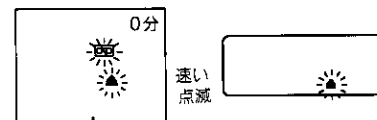
### テープ残量

テープ残量表示

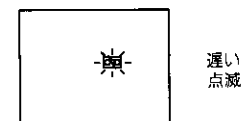


→あと5分 →あと1分 →あと0分

(残量表示が「あと5分」になると☉マークが点滅する。)

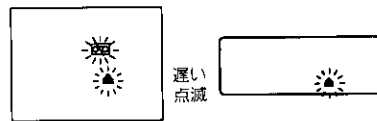


### テープの終わり

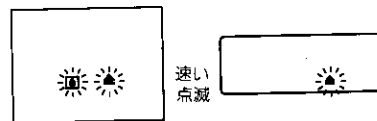


詳しい説明は、( ) 内のページにあります。

ファインダーに出る表示は、実際には白色です。

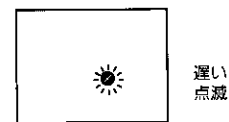


### カセット誤消去防止 (70ページ)



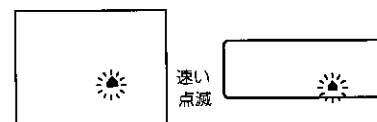
### 結露 (76ページ)

テープを取り出し、カセット入れを開けたまま約1時間放置する。



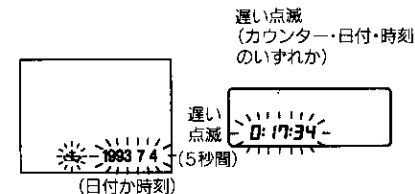
### ヘッド汚れ (78ページ)

クリーニングカセットできれいにする。



### その他の異常

1度電源を切り、バッテリーを取りはずす。再びバッテリーを取り付け、電源を入れる。それでも、表示が消えないときは、お買い上げ店か、ソニーのサービス窓口にご相談ください。



リチウム電池の消耗/リチウム電池が入っていない (73ページ)

## 撮影・再生などのときの表示

### ファインダー

#### ハイエイト表示 (22ページ)

Hi8 (ハイエイト)方式のとき出る。

#### 手動ピント合わせ表示 (40ページ)

#### プログラムAEモード表示 (44ページ)

(44ページ)

#### 手振れ補正表示 (25ページ)

(25ページ)

#### デジタルピクチャー表示 (48~57ページ)

(48~57ページ)

#### フェーダー表示 (46ページ)

(46ページ)

#### ズーム表示 (24, 55, 57ページ)

(24, 55, 57ページ)

#### 明るさ表示 (42ページ)

(42ページ)

#### ナレーション表示 (23ページ)

(23ページ)

#### 警告表示 (86ページ)

(86ページ)

#### 録画/バッテリーランプ (22ページ)

(22ページ)

### 表示窓

#### 手振れ補正表示 (25ページ)

(25ページ)

#### ハイエイト表示 (22ページ)

(22ページ)

#### テープカウンター、日付または時刻 (23, 26, 47, 60, 68, 74ページ)

(23, 26, 47, 60, 68, 74ページ)

#### LPモード表示 (71ページ)

#### 撮影スタンバイ・撮影中表示 (22ページ)

(22ページ)

#### テープ走行表示 (34ページ)

▶：正方向再生 ●：録画

◀：逆方向再生 ■●：録画一時停止

▶▶：早送り

◀◀：巻き戻し

||：一時停止

⏪：ピクチャーサーチ (正方向)

⏩：ピクチャーサーチ (逆方向)

#### テープカウンター (23, 47, 68ページ)

(23, 47, 68ページ)

#### テープ残量表示 (86ページ)

(86ページ)

#### ゼロメモリー表示 (47, 68, 69ページ)

(47, 68, 69ページ)

#### バッテリー残量表示 (17, 22, 86ページ)

(17, 22, 86ページ)

#### 世界時計 (60ページ)

(60ページ)

#### 日付または時刻表示 (26, 60ページ)

(26, 60ページ)

#### 世界時計表示 (60ページ)

(60ページ)

#### ゼロメモリー表示 (47, 68, 69ページ)

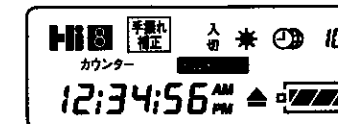
(47, 68, 69ページ)

#### バッテリー残量表示 (17, 22, 86ページ)

(17, 22, 86ページ)

#### 警告表示 (86ページ)

(86ページ)



# 索引

## 五十音順

### ア行

明るさ調節	42
エキスパンド	57
エディット	64
エディットサーチ	28・47
エフェクト	56
エリア	59
お手入れ	77
オートフォーカス	22
オートロックスイッチ	39
オーバーラップ	54
押フォーカス固定	27
音声多重放送テープ	71

### カ行

海外で使うとき	80
海外の現地時間に合わせる	60
外部マイク(別売り)	7
カウンター	23
カセットの入れかた	18
画面表示	35
カラーテレビ方式	80
記録、再生方式について	70
グリップベルト	20
警告表示	86
結露	76
広角	24
高速アクセス	35
高速シャッタースピードモード	45
故障?と思ったら	83

### ク行

再生	34
撮影が終わったら	30
撮影する	22
撮影内容の確認	28
撮影の準備	11
サブ(音声)	59
サマータイム	60
三脚	21
シーンチェンジ	52
時刻合わせ	74
時差表	62
自動調節	39

視度調節	19
シネマ	51
充電	12
充電確認マーク	15
主音声	71
手動明るさ調節	42
手動調節	39
手動ピント合わせ	40
ズームング	24
スタイル	57
スタンダード8ミリ方式	70
ステップスライド	54
ステレオ放送テープ	71
スポーツモード	45
スローシャッター	57
世界時差表	62
接続(テレビで見るとき)	32
(編集のとき)	64
ゼロメモリー	47・68
センターワイプ	54
ソラリ	57

### ケ行

チケットリモコン	9
使えるビデオカセットテープ	70
つなぎ撮り	23
テープ残量表示	86
テープの終わり表示	86
デジタルピクチャー	48
手振れ補正	25
テレビで見る	34
電源(家庭用コンセント)	36
(自動車の電源)	37
(バッテリーバック)	12・38
時計合わせ	74
撮る姿勢	20

### キ行

ナレーション	23
二重音声放送テープ	71
20xズーム	55

### ク行

バイリンガル	59
バッテリー残量表示	86
バッテリーバック	12
ハンディカムステーション	12・16・31

ピクチャーサーチ	35
日付・時刻合わせ	75
日付・時刻の記録	26
表示窓の表示	87
ピント合わせ	40
ピントを固定する	27
ファインダーの表示	87
フェーダーボタン	46
フェードイン・フェードアウト	46
フォーカス	40
フォーカス固定	27
副音声	71
ブラインド	54
フラッシュ	57
フル	51
フルスライド	54
プログラムAE	44
ヘッド	78
ヘッドホン端子	7・29
ヘッド汚れ表示	78・86
編集	64
望遠	24
ポートレートモード	45

### コ行

マクロ	41
メニュー	58
モザイク	57
モザイクフェーダー	46
モノラル	71

### サ行

リチウム電池	72
リチウム電池消耗表示	86
リモート端子	6・7
リモコン受光部	9
リモコンホルダー	10
レックレビュー	28

### セ行

ワイドモード	50
--------	----

## アルファベット順

ACパワーアダプター	14・36
AFM Hi-Fiステレオ方式	71
AV接続ケーブル	32
DCパワーアダプター	37
Hi8(ハイエイト)方式	70
Hi8 オート/切	59
NTSC方式	80
RFUアダプター	33
S映像端子	32

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

●東京(03)3448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)251-5111

SONY

Handycam

CCD-TR2

Hi8

© 1996 Sony Electronics Inc.

思いがけない 出会い ふれあい

見たり 食べたり 体験したり

そんな旅の感動を

そのままビデオに残したい…

ハンディカムなら

そんな思い出づくりに ぴったり

旅はグ〜ンと楽しいもの

この冊子は 出発から帰郷まで  
旅に役立つ情報を たっぷり提供しています。

# もくじ



📷：とにかく早く撮りたいとき  
📅：海外旅行するとき

出発前の準備はOK? .....	4
📷 何はともあれ充電しよう .....	5
持ちものチェック!! .....	6
時計を確認しておこう!! .....	9
📅 海外旅行、知っておくと安心 .....	10
旅が始まる さあ撮るぞ .....	13
📷 カセット入れなきゃ始まらない .....	14
📷 とにかく撮ってみよう .....	16
日付や時刻も入れてみたい .....	19
📅 気分はお先に! —— 世界時計 .....	20
📅 世界時差表 .....	22
旅の撮影テクニック .....	24
安定した画面が第一条件 .....	24
流れる景色を車内から .....	26
山も 森も 湖も .....	26
高くそびえる建造物 .....	27
小枝の小鳥をズームアップ .....	28
人が横切ってもピントはピッタリ .....	29

たとえば こんなシーンでは .....	30
夜景や花火やディナーショー .....	30
ゲレンデは まるで別世界 .....	30
テニスに ゴルフに 遊園地! .....	31
肌はこんがり まぶしい太陽 .....	32
旅の始めと終わりの演出に .....	33

## 遊び感覚いっぱいのおもしろ画面 ——デジタルピクチャー .....

ホテルに戻ったら .....

## さっそく見てみよう .....

明日のために充電を .....

まだまだ楽しい帰り道 .....

みんなが寝てても .....

時計の合わせ直しかた .....

えっ!? どうしよう... —— 困ったときに .....

故障?と思ったら .....

ボタンを押しても動かない! —— 結露 .....

このマークは何?!

ファインダー内表示/警告表示 .....

砂や海水がかかってしまった!! —— 応急処置 ...

手振れ補正について .....

必ずお読みください .....

メモしておこう .....

索引 .....



## 出発前の準備はOK?

旅のプランはできました?

わくわくドキドキ?

ちょっと不安?

でも大丈夫。

今度の旅行はきっと楽しくなりますよ。

だって、ハンディカムがいっしょだから。



## 何はともあれ 充電しよう

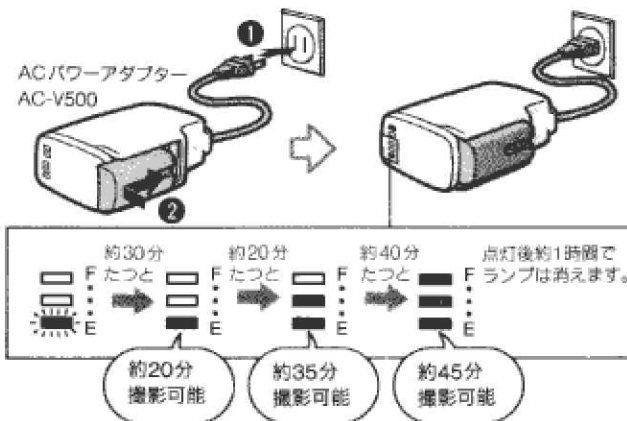
ハンディカムの電源「バッテリーパック」は充電しなければ使えません。

1度使っても、再び充電すれば繰り返し使えます。

旅行の前には、フル充電しておきましょう。

### 充電完了まで約1時間半

ACパワーアダプターにバッテリーパックを取り付けて、約1時間30分で充電完了(約45分撮影可能)。



このように、ACパワーアダプターはハンディカムステーションがなくても使えます。

## 持ちものチェック!!

バッテリーパックを充電している間に、  
忘れものがないか、もう1度確認しましょう。

### チェックリスト

	国内		海外
	日帰り	宿泊	
ビデオ撮影用	ハンディカム		
	チケットリモコン		
	8ミリビデオカセットテープ		
	バッテリーパック NP-500		
	AC/パワーアダプター		
	接続コード(42ページ参照)		
	電源変換プラグ(10ページ参照)		
	カーアダプター		
	ショルダーベルト		
	キャリングバッグ		
	スポーツバッグ		
	AV接続ケーブル		
	柔らかい布(お手入れ用)		
	クリーニングカセット(乾式)		

6

必需品

あると便利/必要に応じて

	国内		海外
	日帰り	宿泊	
パスポート・現金など	パスポート		
	航空券・乗車券		
	現金		
	クレジットカード		
	トラベラーズチェック		
	写真2枚(パスポート再発行用)		
	(国際)運転免許証		
	保険証		
その他	洗面用具		
	常備薬		

空欄はメモをしてお使いください。

7



## テープは余裕をみて

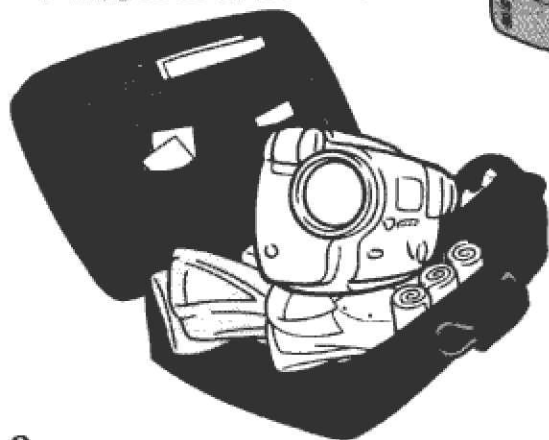
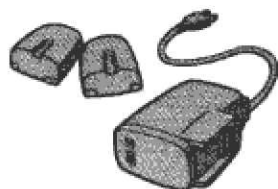
持っていくビデオテープは「1日1時間の撮影ができるくらい」というのが目安。旅の目的に合わせて、余裕をみて持っていきましょう。

きれいな画像で残すなら、やっぱりHi8(ハイエイト)テープ。もしも足りなくなったら、スタンダード8ミリテープや海外で売っている8ミリテープも使えます。

## バッテリーパックは撮影時間の2~3倍分

ハンディカムは電源がなければ撮影できません。バッテリーパックは必需品。撮影予定時間の2~3倍くらい持っていけば安心。予備も含めて2~3個くらいは準備しましょう。

海外旅行ならば、電源変換プラグも用意しましょう。(10ページ)



# 時計を確認しておこう!!

飛行機や列車、待ち合わせに遅れたら大変…。

腕時計の時計合わせはしますよね。

そのとき、いっしょに

ハンディカムの時計を確認してください。

ハンディカムは、撮影しながら

そのときの日付や時刻も記録できます。

## ボタンを押すだけ

日付は日付(+ )ボタンを、時刻は時刻(送り)ボタンを押すだけ。表示窓で確認しましょう。

合わせ直したいときは44ページを見てください。



世界時計機能を使えば、簡単に現地時間に合わせられます。(20ページ)

# 海外旅行、知っておくと安心

出発前から楽しみな海外旅行。

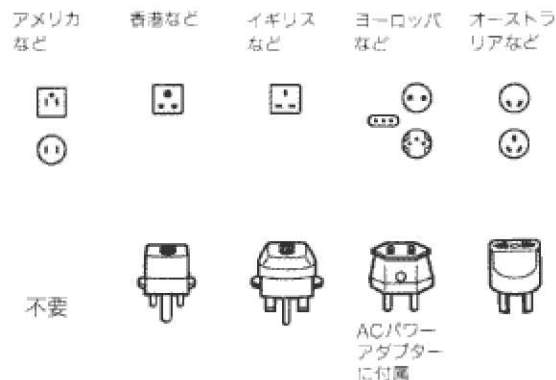
ところで、「ハンディカムは海外でも使えるの？」

そんな不安はかたづけてしまいましょう。

## コンセントが違う!?

アメリカやカナダのほとんどの地域では日本の電源プラグがそのまま使えます。ヨーロッパの国々など、日本の電源プラグが使えない国もあります。そんなとき必要なのが電源変換プラグ。あらかじめ旅行代理店などで形状をチェックして、適切なものを用意しましょう。旅行用品店や空港ロビーの売店などで購入できます。

電源変換プラグの形状



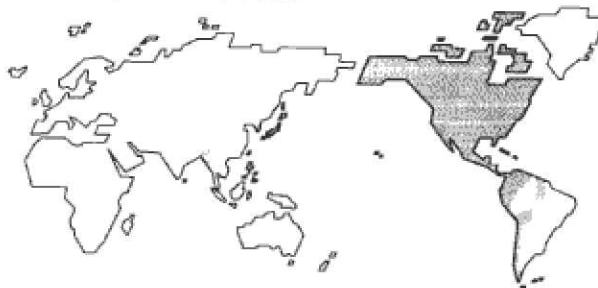
## 海外のテレビでも見られる?

世界にはいろいろなカラーテレビ方式があります。日本と同じカラーテレビ方式(NTSC)の地域では、テレビにつないで再生画を見られます。テレビが映像/音声入力端子付きならば、AV接続ケーブル(付属)でつなげます(41ページ)。

は、AV接続ケーブルでつなげばテレビで再生画を見られる国(NTSC方式)。



- |         |            |        |
|---------|------------|--------|
| (五十音順)  | 大韓民国       | プエルトリコ |
| アメリカ合衆国 | 台湾         | ベネズエラ  |
| エクアドル   | チリ         | ペルー    |
| エルサルバドル | ドミニカ       | 米領サモア  |
| カナダ     | トリニダード・トバゴ | ボリビア   |
| キューバ    | ニカラガ       | ホンジュラス |
| グアテマラ   | ハイチ        | ミクロネシア |
| グアム     | パナマ        | ミャンマー  |
| コスタリカ   | パプアニューギニア  | メキシコ   |
| コロンビア   | パラバドス      |        |
| スリナム    | フィリピン      |        |
| セントルシア  |            |        |
- (NHK 支那月報による)



## 飛行機にハンディカム

ハンディカムは機内に持ち込もう

安全のためにも、ハンディカムは機内に持ち込みましょう。

手荷物チェックではすぐに見せられるように

ハンディカムは金属探知機に反応することがあるので、すぐに見せられるようにしておきましょう。8ミリテープは、カメラフィルムのようにX線検査で感光してしまうかも…という心配はいりません。空港内は撮影禁止の場合があるので注意してください。

## トラブルは避けたい

プライバシーにご注意を

見知らぬ人を許可なく撮らないようにしましょう。モデル料を請求されることもあります。特にヨーロッパでは、個人のプライバシーを尊重します。



盗難には細心のご注意を

海外に行って、日本と同じつもりでいると大変。海外でのトラブルの多くは盗難です。ハンディカムを海辺においたまま泳ぎに行くなって、まさに危険。撮影やおしゃべりに夢中になって、そばに置いたバッグを盗まれたなどというケースもあります。楽しい旅にするためにも、盗難には特に注意しましょう。



# 旅が始まる さあ

さあ、いよいよ旅の  
一歩外へ出たら、  
どんなビデオチャ  
待ちかまえている  
大切な旅の感動を  
ためし撮りをして  
確認しておきまし

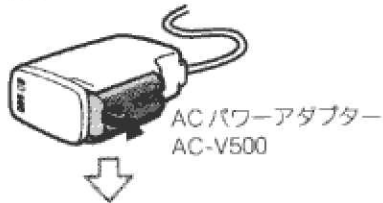


# カセット入れなきゃ始まらない

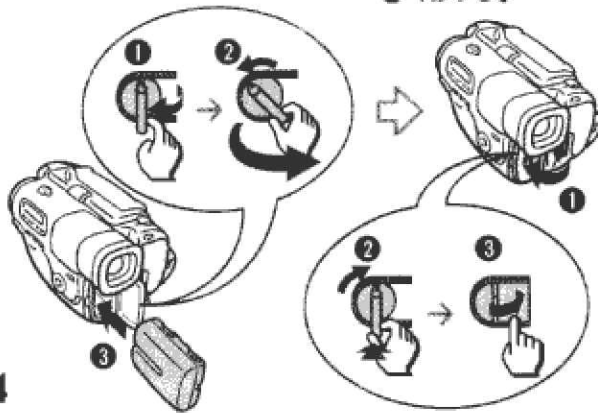
まずは用意しておいたカセットを、ハンディカムに入れましょう。

## 1 充電したバッテリーパックを入れる。

1 取りはずす。



2 開けて、入れる。



3 閉める。

14

## 2 カセットを入れる。

1 スライドつまみをずらしながら、図の■部分をちょっと持ち上げて、パカッと開ける。



2 カセット取出しボタンを押す。

3 カセットを入れる。



4 押マークを押して、カセット入れを閉める。



5 ふたを閉める。



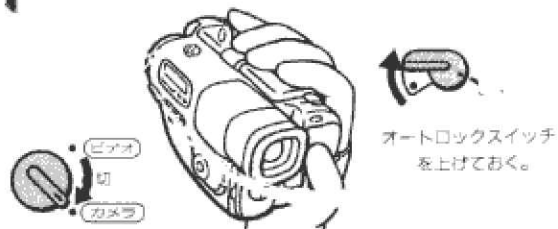
取り出すときも、同じように操作します。

15

# とにかく撮ってみよう

「カメラ」にして、赤いボタンを押すだけでOK!!

1 電源スイッチを「カメラ」にする。

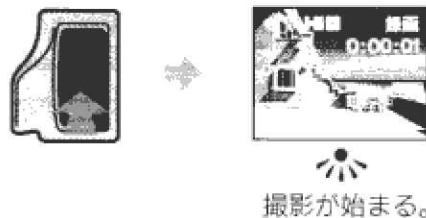


2 スタンバイカバーを開ける。



16

3 スタート/ストップボタンを押す。



4 もう1度押すと撮影が止まる。



もう1度押すと、再び撮影が始まります。

ファインダーのピント合わせは

ファインダー内の表示がはっきり  
見えないときは、


視度調節つまみを動か  
して調節します。

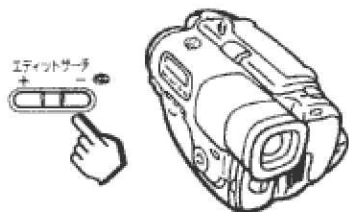


17

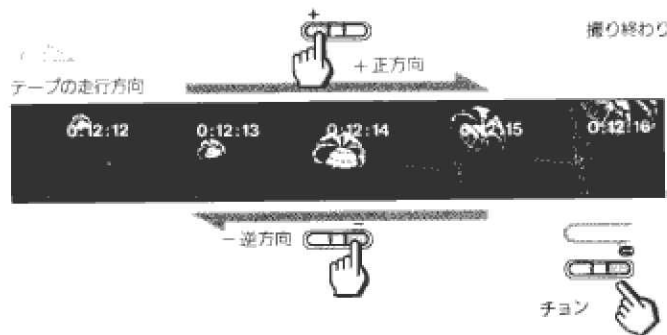


## きちんと撮れたかちょっと確認

録画を止めたら、エディットサーチボタンの  を“チョン”と押してみてください。最後に撮影した場面がちょっとだけ、ファインダーで確認できます。

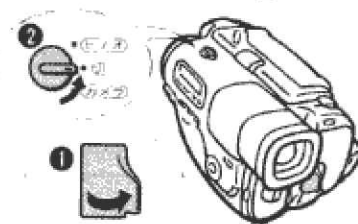


もっと見たいときは、ボタンを押し続けます。押している間、-ボタンのときは逆方向で、+ボタンのときは正方向で確認できます。指を離したところから次の撮影が始まります。だから、-ボタンを押し続けたときは、+ボタンを押して戻さないと、次の撮影で消えてしまうのでご注意ください。




## 撮影が終わったら、カバーを閉めて「切」にする

思いがけない誤動作や故障を防ぎ、バッテリーの消耗をおさえるためにも、撮影が終わったら、スタンバイカバーを閉めて、電源スイッチを「切」にしておきましょう。



ファインダー内にはバッテリーとテープの残量表示が出ます。交換時期の目安にしてください。

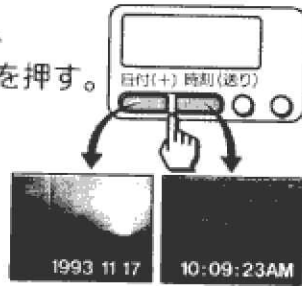


ファインダー内に  マークが点滅したら、バッテリーの消耗が間近です。早めにバッテリーパックを交換しましょう。

## 日付や時刻も入れてみたい

日付は日付(+)  
時刻は時刻(送り)ボタンを押す。

消すときは、もう1度  
同じボタンを押す。



## 気分はお先に! —世界時計

出国手続きが終わったら、気分はもう海外。  
ハワイ? ロンドン? ニューヨーク?  
ハンディカムの時計は、簡単に現地時間に  
合わせられます。

1 ファインダーにメニューを出す。

1 電源スイッチを「ビデオ」にする。



2 ふたを開けて、メニューボタンを押す。



メニュー			
▶エリア		トウキョウ	
サマータイム	●切		入
H/8	●オート		切
リモコン	●入		切
エディット	●切		入
バイリンガル	●切	メイン	サブ
[メニュー]で終了			

2 設定ボタンで都市表示を選ぶ。

都市表示は22ページの世界時差表を見てください。

20



メニュー			
▶エリア		ニューヨーク	
サマータイム	●切		入

3 現地がサマータイムのときは

サマータイムでないときは手順4に進んでください。

1 項目ボタンを押して「サマータイム」に▶を合わせる。



メニュー			
エリア		ニューヨーク	
▶サマータイム	●切		入

2 設定ボタンを押して「入」に●を合わせる。



メニュー			
エリア		ニューヨーク	
▶サマータイム		切	●入

4 メニューを消して、電源を切る。



日付・時刻の確認は9ページと同じです。

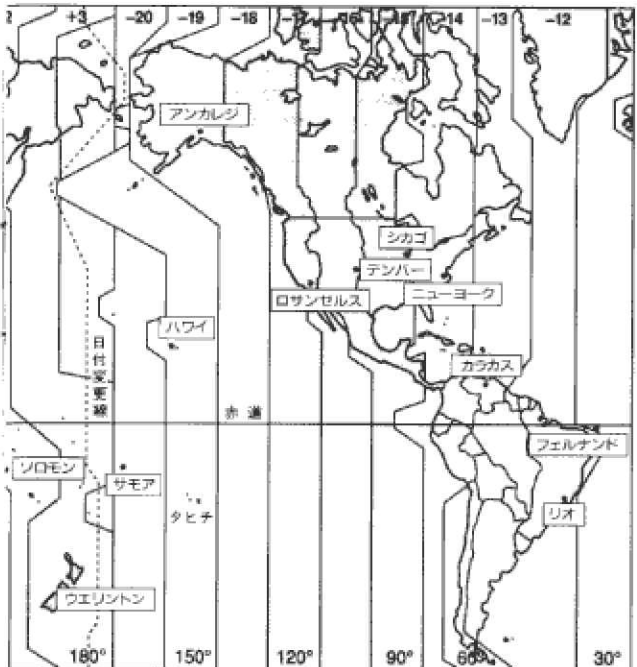
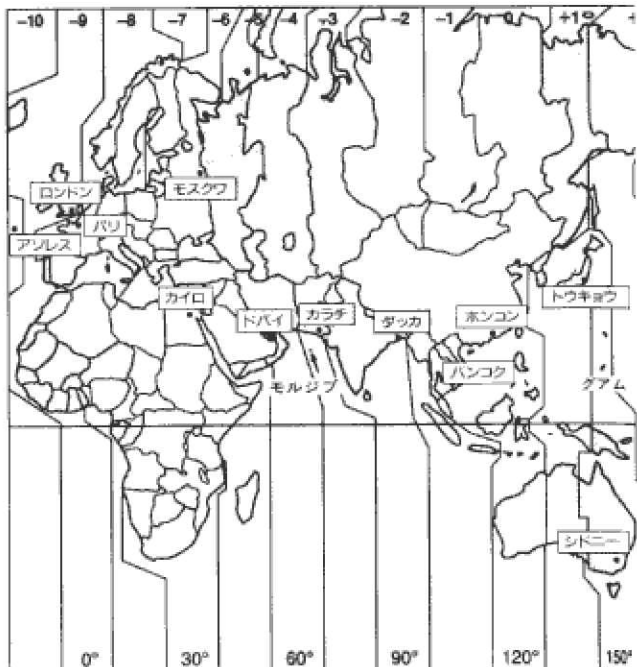
日本時間に戻すとき

「エリア」で「トウキョウ」を選び、「サマータイム」は「●切」にする。

21

# 世界時差表

都市表示は地図中の  
で囲まれた都市名です。



エリ 示 義	24	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23
日本の 時差	-10	-9	-8	-7	-6	-5	-4	-3	-2	-1	0	+1	+2	+3	-20	-19	-18	-17	-16	-15	-14	-13	-12	-11
代表的な 都市名	アンソレス ホルトガル	イネリス・ ホルトガル	イネリス・ ホルトガル	イネリス・ ホルトガル	イネリス・ ホルトガル	イネリス・ ホルトガル	アラバ 首長国連邦	ハキスタン・ モルジブ	インド・ ミャンマー	インドネシア・ タイ・ ベトナム	カンボジア・ タイ・ ベトナム	インドネシア・ ジャカルタ	インドネシア・ ジャカルタ	インドネシア・ ジャカルタ	インドネシア・ ジャカルタ	インドネシア・ ジャカルタ	インドネシア・ ジャカルタ	インドネシア・ ジャカルタ	インドネシア・ ジャカルタ	インドネシア・ ジャカルタ	インドネシア・ ジャカルタ	インドネシア・ ジャカルタ	インドネシア・ ジャカルタ	インドネシア・ ジャカルタ

# 旅の撮影テクニック

アイカップを目にしっかりあてる

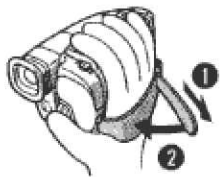
カメラを水平にする

ベルトをしっかりしめる

左手をそえる

右ひざをしめる

ベルトのしめかた



ふらつかないように足を少し開く



## プロの映像づくりも基本は「固定」

必要以上にカメラをふりまわしては、画面がぶれたり、何を撮りたいのかがはっきりしなくなったりします。ひとつの場面に10秒くらいはほしいところ。

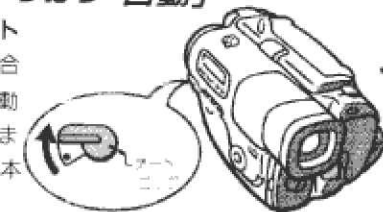
## 見やすい画面は「広角」でつくる

広角(ワイド: W側)で撮ると、ぶれが少なくなります。自動ピント合わせも合いやすくなるんです。望遠(テレ: T側)にするほど、ちょっとした揺れが目立ってしまいます。

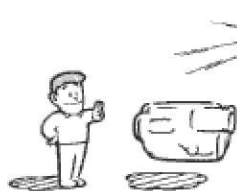


## 簡単に撮りたいからやっぱり「自動」

ハンディカムは自動調節(オートロック)にしておけば、ピント合わせも明るさ調節も全自動。手動調節したほうがいいときもありますが(30~32ページ参照)、基本的には自動でOK。



## 撮りたいものに光をあてる



太陽を背にして(順光)撮りましょう。逆光で撮ってしまうと、友達顔も暗く写ってしまいます。どうしても逆光になってしまうときは32ページを見て……。

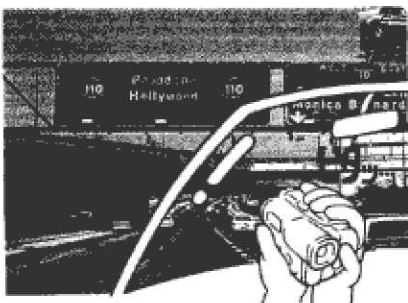
## 流れる景色を車内から

ドライブや列車での旅は、やっぱり車外の景色を撮りたいもの。構図(方向や角度)を決めたらそのまま「固定」で撮りましょう。

自然な感じに写ります。

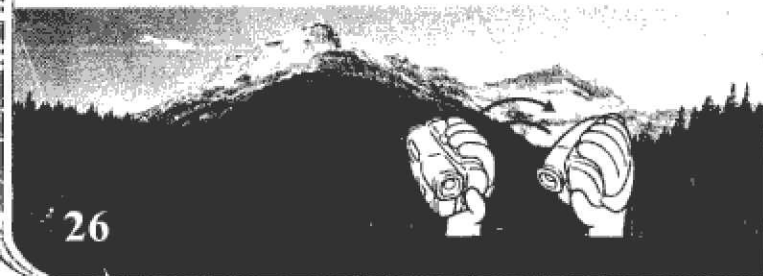
場所を知らせる標示は、案外ポイント。

雨が降っていたりして、窓ガラスやワイパーにピントが合ってしまうときは、手動で合わせましょう。(30ページ)



## 山も 森も 湖も

抜けるような青空に広大な大自然の眺望。広角・自動を基本に、ハンディカムを水平に動かす「パンニング」を試みましょう。足先は撮り終わりの方に向け、体をゆっくり回して撮る。ポイントは、始めと終わりで数秒止めることと、撮っている画面を説明できるくらいゆっくりと動かすこと。



26

## 高くそびえる建造物

自由の女神やエッフェル塔など、高さを表現したいときは「ティルティング」。

カメラをゆっくりと上に向けたり、下に向けていく撮りかたです。

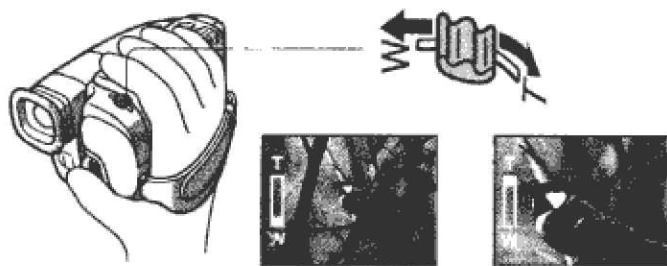
背景に明るい空があったり、逆光では撮りたいものが暗くなりがち。そんなときは32ページを見て、明るさを調節しましょう。



27

## 小枝の小鳥をズームアップ

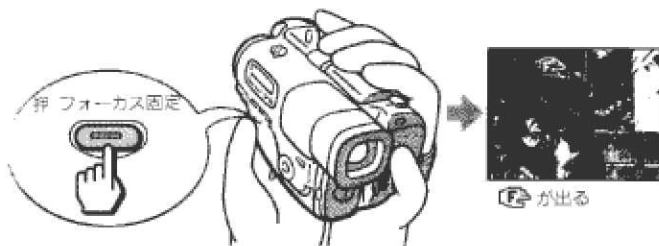
アップで撮りたい場面って、いろいろありますよね。カメラの位置はそのまま、ぐーんと望遠(T側)で撮ることができます。ズームレバーをちょっと動かせばゆっくりと、グッと動かすと高速でズームします。近くのを大きく撮るときに、広角(W)にして自分が近づいたほうが、きれいに撮れます。



パンニング、ティルトイング、ズームは「ここ！」というときのテクニック。使いすぎないのがコツ。  
基本はあくまで**固定・広角・自動**です。

## 人が横切ってもピントはピタリ

観光地は人がいっぱい。撮ってる前を人が行き来して、ピントがいまひとつ安定しない。そんなときは、押フォーカス固定ボタンを押し続けます。押してる間、撮ってる被写体にピントが合ったまま固定されます。指を離せば、自動ピント合わせに戻ります。



## 夜景や花火やディナーショー

夜の摩天楼や高速道路、打ち上げ花火やディナーショーも撮影OKならば撮っておきたい。でもちょっとピントが合いにくいなぁと思ったときは、手動でピントを合わせましょう。

- 1 オートロック  
スイッチを下げる。



- 2 フォーカスボタンを  
押して を出す。



- 3 ズームレバーをT側  
にして、フォーカス  
リングを回し、ピン  
トを合わせる。



自動調節に戻すときは、フォーカスボタンを押して を消すか、オートロックスイッチを上げます。

## ゲレンデはまるで別世界

白銀の世界、スキー場！でもゲレンデはまぶしいし、スキーヤーの動きは早いし、どうしよう。こんなときは、プログラムAEでスポーツモード を選びましょう。寒いとバッテリーの消耗が早いので、予備をお忘れなく。バッテリーは、撮影直前までポケットなどに入れて、あたたかくしておきましょう。

30

## テニスにゴルフに遊園地！

被写体だけを引き立たせたい、すばやい動きやはじける水しぶきをくっきり残したい。そんなときはプログラムAEで、3つのモードの中から選ぶだけ。むずかしい調節はいりません。



ポートレートモード

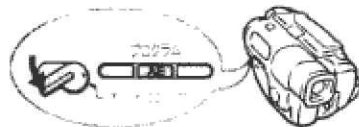


スポーツモード

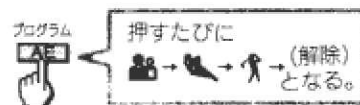


高速シャッタースピードモード

- 1 オートロック  
スイッチを下げる。



- 2 目的の表示が  
出るまでAE  
ボタンを押す。



自動調節に戻すときは、AEボタンを押して表示を消すか、オートロックスイッチを上げます。

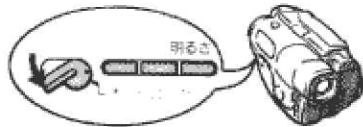
31



## 肌はこんがり まぶしい太陽

青い海、澄んだ空、まぶしい太陽。海辺のシーンも残したい。でも、逆光…。明るすぎて撮りたいものが暗くなる…。そんなときは明るさ調節。海水や砂も、スポーツバックがあれば安心です。

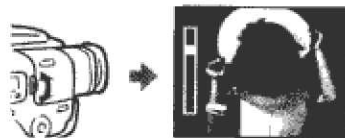
- 1 オートロック  
スイッチを下げる。



- 2 明るさボタンを押して  
明るさ表示を出す。



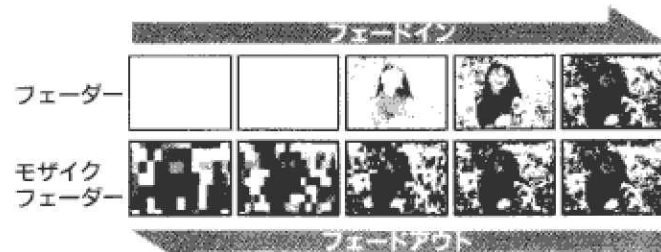
- 3 明るさ調節ダイヤル  
を回して調節する。



自動調節に戻すときは、明るさボタンを押して明るさ表示を消すかオートロックスイッチを上げます。

## 旅の始めと終わりの演出に

旅の始めや終わり、場面の転換などにフェードインやフェードアウトでちょっとした演出をしてみましょう。画像と音を徐々に出したり消したりして、余韻を残すテクニック。使いすぎは見づらくなるのでご注意ください。



**フェードインのとき**  
フェーダーボタンを押してから撮影を始める。  
**フェードアウトのとき**  
撮影中にフェードボタンを押してから撮影を止める。

押すたびに  
フェーダー→モザイクフェーダー→解除  
となる。

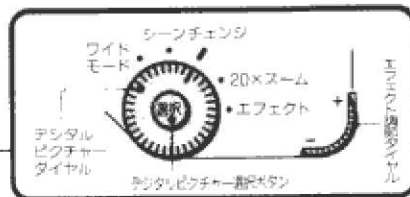
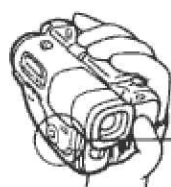
行う前に解除するときは

フェーダーボタンを押して、フェーダー表示を消します。

# 遊び感覚いっぱいのおもしろ画面

## デジタルピクチャー

ただ撮るだけじゃもの足りない。もっとおもしろい画面にしたい！ そんなときは、デジタルピクチャーで、遊び感覚いっぱいの画面を作ってみましょう。



項目	種類	おもしろ画面の例
デジタルピクチャーダイヤルで合わせる。	デジタルピクチャー選択ボタンを押して選ぶ。	
ワイドモード (36ページ)	シネマフル	
シーンチェンジ (38ページ)	オーバーラップ	
	センターワイプ フルスライド ステップスライド ブラインド	

34 デジタルピクチャーでは、画像をデジタル処理するため、画質が低下します。

項目	種類	おもしろ画面の例
デジタルピクチャーダイヤルで合わせる。	デジタルピクチャー選択ボタンを押して選ぶ。	
20×ズーム (36ページ)	—	
エフェクト (37ページ)	スタイル ←4~0~:4	
	エキスパンド 0~6 フラッシュ0~4 モザイク0~4 スローシャッター 0~4 ソラリ 0~3	

35

## ワイドモード

1 デジタルピクチャーダイヤルを「ワイドモード」に合わせる。



2 デジタルピクチャー選択ボタンを押して、希望の種類を選ぶ。



## 20×ズーム

1 デジタルピクチャーダイヤルを「20×ズーム」に合わせる。



2 ズームレバーを左右に動かす。



## エフェクト

1 デジタルピクチャーダイヤルを「エフェクト」に合わせる。



2 デジタルピクチャー選択ボタンを押し続けて、希望の種類で離す。



繰り返し押すと、ボタンを離すたびに画像が変わります。

エフェクト調節ダイヤルで効果の度合いを調節する。



デジタルピクチャーを解除するときはデジタルピクチャーダイヤルを緑色の / マークに合わせます。

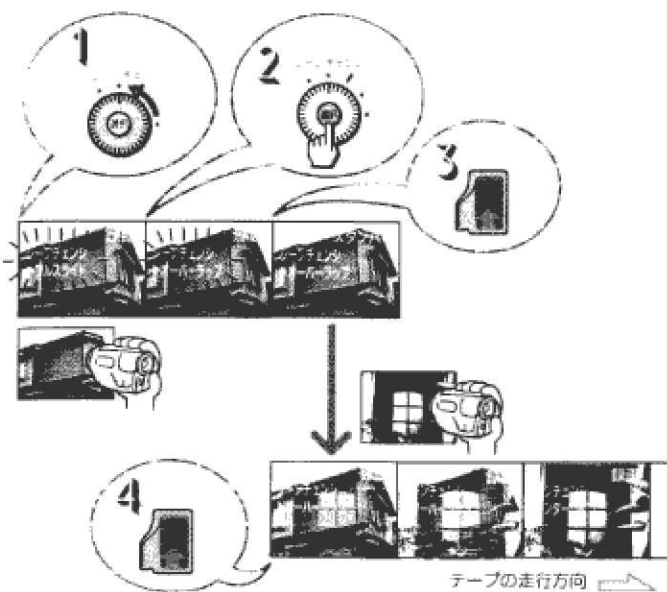
## シーンチェンジ




- 1 撮影中に、デジタルピクチャーダイヤルを「シーンチェンジ」に合わせる。
- 2 デジタルピクチャー選択ボタンを繰り返し押して、希望のシーンチェンジを選ぶ。
- 3 スタートストップボタンを押して、撮影スタンバイにする。  
最後の場面が記憶される。
- 4 5分以内にスタート/ストップボタンを押して、次の場面の撮影を始める。  
シーンチェンジが始まる。

④ 1と4の間に、次のことをしないでください。記憶が消えて、シーンチェンジできません。ファインダー内の「シーンチェンジ」が点滅します。

- ・スタンバイカバーを閉める。
- ・電源を切ったり、バッテリーを取りはずしたりする。
- ・デジタルピクチャーダイヤルを回す。
- ・エディットサーチボタンを押す。



デジタルピクチャーを解除するときは  
デジタルピクチャーダイヤルを緑色の  マークに合わせます。

# ホテルに戻ったら...

## さっそく見てみよう

ハンディカムはビデオデッキとしても使えます。  
さっそく、今日撮った内容を見てみましょう。

## カラービューファインダーで見る

接続なんてしなくても、ハンディカムのファインダーで見られます。ファインダーはカラーだし、ヘッドホン端子にヘッドホンステレオなどのヘッドホンをつなげば音もステレオも聞けるし...

(音量は調節できません。)



1 電源スイッチを「ビデオ」にする。



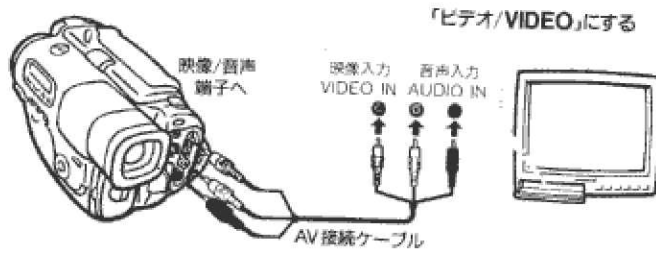
2 巻き戻してから再生する。



## テレビに黄色い端子があったらラッキー!

テレビ前面にあるふたの中などに黄色い接続端子があれば、AV接続ケーブルでテレビにつないで見ることができます。

準備 下の絵のようにハンディカムをつなぐ。

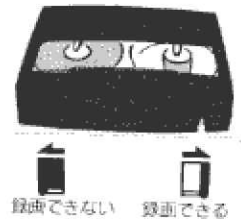


テレビに、赤い端子がないときは、赤いプラグは、両方ともつながらない。

操作は左ページと同じです。

## まちがって消さないために

最後まで撮り終わったテープは、まちがって消さないように、カセットの背にあるツマミをずらして「赤」にしておきましょう。



## 明日のために充電を

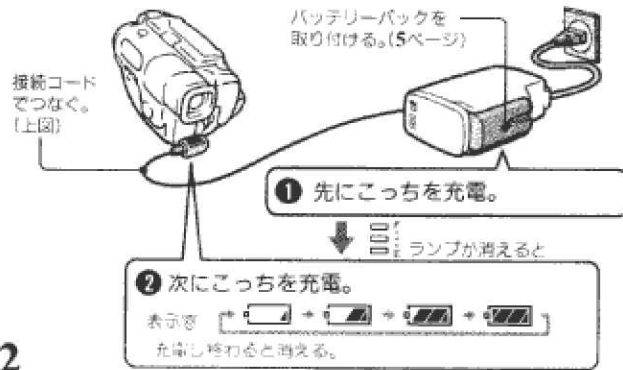
明日もきっと楽しい1日…明日の撮影のために、バッテリーパックの充電をお忘れなく…。(5ページ)  
接続コードを使えば、バッテリーパックを本体に入れたままでも充電できます。(充電完了まで約5時間30分)  
ハンディカムの本体やレンズは柔らかい布などできれいにしておきましょう。



「カメラ」や「ビデオ」にして使うこともできます。  
そのときは、充電されません。

## 2個連続充電

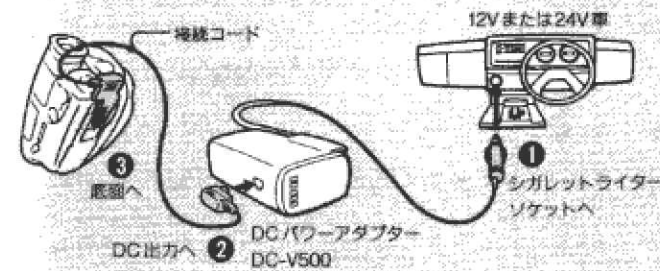
眠っている間に2個連続で充電することもできます。(約8時間)



## まだまだ楽しい帰り道

### みんなが寝てても…

いよいよ旅も終わり。  
みんなは疲れて眠ってますか？  
それとも、いっそう騒いでますか？  
ビデオチャンスはまだあるかも…。  
もしも「暇だなあ」なんて思ったら、ハンディカムで、  
今回の旅行をプレイバック！(40ページ)  
車なら、  
DCパワーアダプター(DC-V500)で電源がとれます。



日本に戻ったら、世界時計も日本時間に戻しましょう。(20ページ)

次の旅にもハンディカムをお忘れなく！ 43

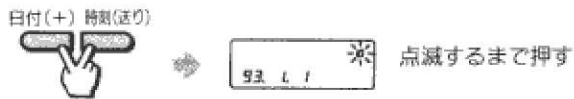
# 時計の合わせ直しかた

表示窓で確認しながら、次の手順で合わせ直しましょう。  
合わせたい数字より行き過ぎてしまっても大丈夫。  
日付(+)ボタンを押し続ければもとに戻ります。  
途中でまちがえたら、手順2からやり直しましょう。

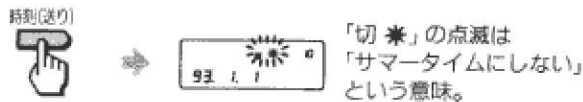
- 1 ハンディカムをコンセントにつなぐ。  
バッテリーパックでもOKです。(入れかたは14ページ)



- 2 日付ボタンと時刻ボタンを同時に2秒以上押す。



- 3 時刻(送り)ボタンを押す。

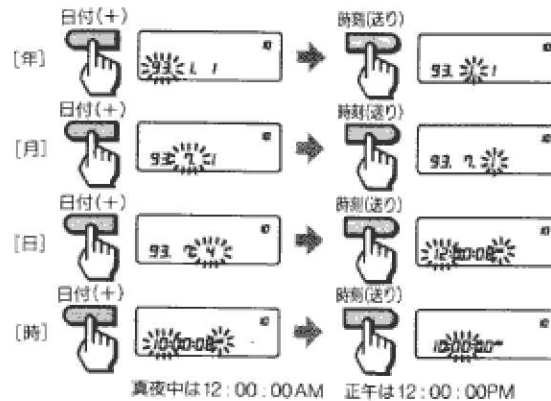


- 4 時刻(送り)ボタンを押す。



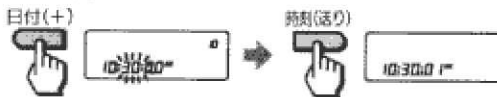
- 5 年(西暦の下2けた)・月・日・時の順に合わせる。

点滅している数字を日付(+)ボタンを押して合わせたら、時刻(送り)ボタンを押す。点滅の場所が変わるので、同様の操作を繰り返す。



- 6 最後に分と秒を合わせる。

日付(+)ボタンを押して合わせたら、時報と同時に時刻(送り)ボタンを押す。




これで時計合わせができました。



# えっ!? どうしよう...困ったときに

## 故障?と思ったら


もう1度、正しく操作しているか点検しましょう。



それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店か56ページにあるお問い合わせ先にお問い合わせください。

	こんなときは	これが原因です。	次のことを点検してください。
撮影中	・スタートストップボタンを押してもテープが走行しない。	・電源スイッチが「カメラ」になっていない。 ・テープが終わっている。 ・カセットが誤消去防止状態になっている。	・「カメラ」にする。 ・新しいカセットを入れる。 ・赤い窓をもとに戻す(41ページ)。または新しいカセットを入れる。
	・電源が途中で切れる。	・撮影スタンバイ状態が5分以上続いた。	・1度、スタンバイカバーを閉め、再び開ける。
	・ファインダーの画像がはっきりしない。	・視度調節が合っていない。	・視度調節つまみで合わせる。(17ページ)
	・手振れ補正が働かない。	・手振れ補正が解除されている。	・手振れ補正ボタンを押して、  を出す。

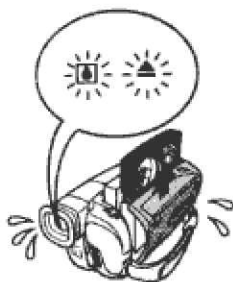
	こんなときは	これが原因です。	次のことを点検してください。
撮影中	・ファインダー内で  が点滅している。	・エフェクトでフラッシュ・モザイク・スローシャッターのどれかを選んでいる。 ・ワイドモードでフルを選んでいる。	・手振れ補正が自動的に解除され、補正できない。 ・手振れ補正が自動的に解除され、補正できない。
	・画像が実際より縦長に圧縮されて映る。	・ワイドモードでフルを選んでいる。	・故障ではない。撮影後、横長テレビで再生すると、画面いっぱいの通常の画像になる。
	・オートフォーカスが働かない。	・エフェクトで、スタイル1~4のどれかを選んでいる。 ・手動調節になっている。 ・オートフォーカスが働きにくい状況での撮影。 ・シーンチェンジまたはエフェクトのスローシャッターを選んでいる。	・スタイル0にする。 ・デジタルピクチャーダイヤルを「  」に合わせる。 ・自動にする。(25ページ) ・手動で合わせる。(30ページ) ・オートフォーカスが解除される。手動で合わせる。





	こんなときは	これが原因です。	次のことを点検してください。
撮影中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手動ピント合わせができない。</li> <li>・ファインダー内で  が点滅している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オートロックスイッチが上がっている。</li> <li>・ビデオヘッドが汚れている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・下げてから、フォーカスボタンを押す。(30ページ)</li> <li>・クリーニングカセットできれいにする。</li> </ul>
再生中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テープ走行ボタンが働かない。</li> <li>・画像が実際より縦長に圧縮されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源スイッチが「ビデオ」になっていない。</li> <li>・テープが終わっている。</li> <li>・ワイドモードで、フルを選んで撮影した。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ビデオ」にする。</li> <li>・テープを巻き戻す。(40ページ)</li> <li>・故障ではない。横長テレビでないふつうのテレビで再生すると、縦長に圧縮された画像になる。</li> </ul>
撮影・再生中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電源を入れても動作しない。</li> <li>・カセットが取り出せない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バッテリーが消耗している。</li> <li>・コンセントからはずれている。</li> <li>・電源がはずれている。</li> <li>・バッテリーが消耗している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・充電したバッテリーパックを入れる。</li> <li>・コンセントに正しく差し込む。</li> <li>・電源をつなぐ。</li> <li>・充電したバッテリーパックを入れる。</li> </ul>

	こんなときは	これが原因です。	次のことを点検してください。
撮影・再生中	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バッテリーの消耗が早い。</li> <li>・ と  マークが点滅してボタンが働かない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・寒冷地(10℃以下)のため。</li> <li>・充電量が少ない。</li> <li>・バッテリーの寿命。</li> <li>・結露</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(5ページ)</li> <li>・新しいVバッテリーに交換する。</li> <li>・(49ページ)</li> </ul>

### ボタンを押しても動かない! — 結露



ファインダーに  と  マークが点滅していませんか? 点滅していたら内部に水滴がついたのが原因です(結露)。急に、寒いゲレンデから暖房のきいた部屋に入ったり、冷房のきいた車から暑い太陽の下に出たりするとなることがあります。

カセットが入っているときは、すぐに取り出しましょう。カセット入れを開けたまま、電源を切って1時間くらい放置しておきます。内部が乾燥し、点滅していた2つのマークが消えればもどおり動きます。

# このマークは何?!



手動ピント合わせ表示  
(30ページ)

プログラムAEモード表示  
(31ページ)

手振れ補正表示  
(54ページ)

デジタルピクチャー表示  
(34ページ)

フェーダー表示  
(33ページ)

ズームイン表示  
(28ページ)

明るさ表示  
(32ページ)

ナレーション表示

スタート・ストップボタン  
左横のナレーションボタン  
を押している間だけ点灯。  
撮っている人の声を、はっ  
きり記録できる。音声はス  
テレオではありません。

警告表示  
(51ページ)

50

ハイエイト表示  
Hi8 (ハイエイト)方式のとき出る。

LPモード表示  
LPモードで記録したテープを  
再生すると出る。

撮影スタンバイ・撮影中表示  
テープ走行表示

テープカウンター  
時：分：秒をあらわす。  
0：00：00にするときは  
表示窓下のリセットボタン  
を押す。

テープ残量表示  
(19ページ)

ゼロメモリー表示

バッテリー残量  
表示 (19ページ)

世界時計  
(20ページ)

日付または時刻表示  
(19ページ)

録画/バッテリーランプ  
(17・51ページ)

ハイエイト表示  
Hi8 (ハイエイト)  
方式のとき出る

手振れ補正表示  
(54ページ)

世界時計表示  
(20ページ)

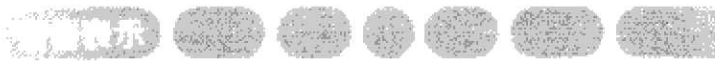
ゼロメモリー表示



テープカウンター、日付または時刻  
(19ページ)

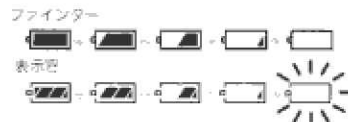
警告表示  
(51ページ)

バッテリー残量表示



**バッテリー残量**  
遅い点滅：消耗間近  
速い点滅：完全に消耗

**バッテリー残量表示**



51

テープ残量表示

テープ残量表示  
 + あと5分 + あと1分 + あと0分  
 (残量表示が「あと5分」になるとマークが点滅する)

テープの終わりが近い

0分

テープの終わり

カセットが入っていない

カセット誤消去防止 (41ページ)

結露 (49ページ)

ヘッド汚れ

その他の異常

リチウム電池の消耗/リチウム電池が入っていない

速い点滅

カセットを取り出し、開けたまま約1時間放置する。

速い点滅

乾式のクリーニングカセットできれいにする。

速い点滅

速い点滅

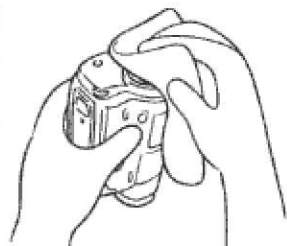
速い点滅 (カウンター・日付・時刻のいずれかが)

速い点滅 (5秒間)

(日付が時刻)

## 砂や海水がかかってしまった!! 一応急処置

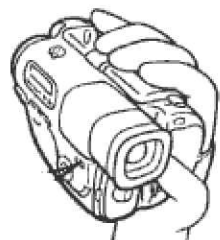
砂や海水は大敵。ハンディカムを直接、砂の上に置くのは避けましょう。また、雨や海水に濡らさないように注意してください。もしも濡らしてしまったら、できるだけ早く拭き取ってください。1日海辺で過ごしたら、真水で固くしぼった柔らかい布で、ハンディカムをよく拭いてから、乾いた柔らかい布でからぶきしておきましょう。



## 手振れ補正について

☺☺が出ているときは手振れ補正が働いています。手振れ補正の入/切は、手振れ補正ボタンを押して行います。

手振れ補正



ファインダー



## 必ずお読みください

### ためし撮り

事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

### 録画内容の補償はできません

万一、ビデオカメラレコーダーやテープなどの不具合により録画や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

### 著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や、興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

### 保証書は国内に限られています

このビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

## メモしておこう

パスポート番号

---

パスポート発行年月日

---

パスポート発行地

---

国際運転免許証番号

---

名前

---

住所

---

電話番号

---

# 索引

 行		充電 ..... 5・42
明るさ調節.....	32	手動調節
エディットサーチ.....	18	明るさ調節..... 32
エフェクト.....	37	ピント合わせ..... 30
オートロック.....	25	ズーム..... 28
押フォーカス固定.....	29	世界時計..... 20
 行		接続..... 41
海外時間に合わせる.....	20	 行
カウンターリセット.....	50	手振れ補正..... 54
カセットの入れかた.....	15	テレビで見る..... 41
逆光.....	32	時計合わせ..... 44
警告表示.....	51	 行
結露.....	49	ナレーション..... 50
誤消去防止用ツマミ.....	41	20×ズーム..... 36
コンセント(海外).....	10	 行
コンセントにつなぐ.....	42・44	ピント合わせ..... 30
 行		ファインダーのピント合わせ..... 17
再生.....	40	ファインダー表示..... 50
撮影する.....	16	フェードイン・フェードアウト..... 33
サマータイム.....	21	プログラムAE..... 31
シーンチェンジ.....	38	 行
自動調節.....	25	ワイドモード..... 36
視度調節.....	17	

## 機種名：ビデオカメラレコーダー CCD-TR2

ソニー株式会社 〒141 東京都品川区北品川 6-7-35

お問い合わせはお客様相談センターへ

●東京(03)3448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)251-5111